

**営業本部** 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6003 FAX 03-6895-0200

**開発部** 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6005 FAX 03-6895-0220

**新木場試験場** 東京都江東区新木場1-4-4 (株ケイ・ユーシステム内)  
〒136-0082 ☎ 03-3521-1180 FAX 03-3522-7977

**葛西試験場** 東京都江戸川区中葛西1-10-10  
〒134-0083 ☎ 03-5667-5916 FAX 03-5667-5917

**東京ショールーム** 東京都江戸川区中葛西1-10-10  
〒134-0083 ☎ 03-5667-5916 FAX 03-5667-5917

**北海道支店** 札幌営業所 北海道札幌市北区北7条西1-1-2(SE 札幌ビル2F)  
〒060-0807 ☎ 011-558-2218 FAX 03-6888-6599

**東北支店** 仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区港1-1-17  
〒983-0001 ☎ 022-388-6880 FAX 03-6888-6936

● 盛岡営業所 岩手県盛岡市菜園1-3-6 (農林会館ビル2F 212室)  
〒020-0024 ☎ 019-618-1028 FAX 03-6888-6936

青森駐在所 青森県青森市橋本2-13-5 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒030-0823 ☎ 017-721-2790 FAX 017-721-2791

● 郡山営業所 福島県郡山市喜久田町御3-18 (福島東部運輸倉庫株式会社2F)  
〒963-0547 ☎ 024-983-8505 FAX 03-6888-6936

● 東北サポートセンター 宮城県仙台市宮城野区港1-1-17  
〒983-0001 ☎ 022-388-6880 FAX 03-6888-6936

**北関東支店** 大宮営業所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-242 (鐘塚ビル8F)  
〒330-0854 ☎ 048-657-2228 FAX 03-6772-0741

● 水戸営業所 茨城県水戸市酒門町3285-10  
〒310-0841 ☎ 029-304-6551 FAX 03-6772-0742

● 横浜サポートセンター 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-242 (鐘塚ビル8F)  
〒330-0854 ☎ 048-657-2228 FAX 03-6772-0741

**東京支店** 東京第一営業所 東京都品川区西五反田7-16-1 (アーベイン未広4F)  
〒141-0031 ☎ 03-3493-3062 FAX 03-3493-3061

● 東京第二営業所 東京都品川区西五反田7-16-1 (アーベイン未広4F)  
〒141-0031 ☎ 03-3493-3063 FAX 03-3493-3061

● 横浜営業所 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-9 (新横浜ブジカビル3F)  
〒222-0033 ☎ 045-470-4811 FAX 045-471-7076

● 新潟営業所 新潟県新潟市中央区紫竹山1-7-1  
〒950-0914 ☎ 025-243-0320 FAX 03-6888-5148

長野出張所 長野県長野市七瀬2-1 (長野東口ビル402)  
〒380-0922 ☎ 025-243-0320 FAX 03-6772-0740

● イベーショングループ 東京都品川区西五反田7-16-1 (アーベイン未広2F)  
〒141-0031 ☎ 03-5437-1250 FAX 03-5437-1251

● サポートセンター 東京都品川区西五反田7-16-1 (アーベイン未広3F)  
〒141-0031 ☎ 03-5745-5704 FAX 03-6672-6464

**中部支店** 名古屋第一営業所 愛知県名古屋市東区東大曾根町12-19 (OZヒメノビル1F)  
〒461-0022 ☎ 052-979-7270 FAX 03-6388-2697

● 名古屋第二営業所 愛知県名古屋市東区東大曾根町12-19 (OZヒメノビル1F)  
〒461-0022 ☎ 052-979-7270 FAX 03-6388-2697

● 静岡営業所 静岡県静岡市駿河区西脇550-1  
〒422-8044 ☎ 054-282-4500 FAX 03-6388-2789

● 北陸営業所 石川県金沢市湊2-7-2  
〒920-0211 ☎ 076-238-1171 FAX 03-6778-3509

福井出張所 福井県福井市上中町25-12-1  
〒910-0826 ☎ 0776-57-7311 FAX 03-6778-3510

● 中部技術推進グループ 愛知県名古屋市東区東大曾根町12-19 (OZヒメノビル1F)  
〒461-0022 ☎ 052-979-7270 FAX 03-6388-2697

**関西支店** 関西第一営業所 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17 (商工中金船場ビル12F)  
〒542-0081 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7325

● 関西第二営業所 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17 (商工中金船場ビル12F)  
〒542-0081 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7326

● 関西住建営業所 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17 (商工中金船場ビル12F)  
〒542-0081 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7325

● 関西技術推進グループ 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17 (商工中金船場ビル12F)  
〒542-0081 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7325

● 関西サポートセンター 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17 (商工中金船場ビル12F)  
〒542-0081 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7325

● 大阪ショールーム 大阪府大阪市大正区南恩加島4-1-27  
〒551-0021 ☎ 06-6260-7321 FAX 06-6260-7325

## 取扱店

**中国支店**  
 ● 広島営業所 広島県広島市南区金屋町2-15 (KDX広島ビル10F)  
〒732-0825 ☎ 082-568-8260 FAX 03-6778-3164

● 岡山営業所 岡山県岡山市北区中山下1-8-45 (NTTクレド岡山ビル12F)  
〒700-0821 ☎ 086-221-6077 FAX 03-6778-3165

山陰出張所 鳥取県米子市和田町600 (服島運輸株内)  
〒683-0102 ☎ 0859-48-2222 FAX 03-6778-3165

● 高松営業所 香川県高松市松縄町1083-13 (松縄Sビル)  
〒760-0079 ☎ 087-815-1033 FAX 03-6778-3114

**九州支店**  
 ● 福岡第一営業所 福岡県福岡市博多区御供所町1-1 (西鉄祇園ビル7F)  
〒812-0037 ☎ 092-263-9700 FAX 03-6778-3411

● 福岡第二営業所 福岡県福岡市博多区御供所町1-1 (西鉄祇園ビル7F)  
〒812-0037 ☎ 092-263-9708 FAX 03-6778-3415

サテライトオフィス 福岡県北九州市小倉南区下城野1-9-18 (KM第5ビル4F)  
〒802-0804

大分出張所 大分県大分市大字皆春1589-2 (成和ビル2F)  
〒870-0131 ☎ 097-527-7580 FAX 03-6778-3415

● 熊本営業所 熊本県熊本市中央区渡鹿6-7-46 (第2鶴田ビル2F)  
〒862-0970 ☎ 096-375-8530 FAX 03-6778-3416

● 鹿児島営業所 鹿児島県鹿児島市東千石町1-3 (ISM鹿児島8F)  
〒892-0842 ☎ 099-805-8151 FAX 03-6778-3421

宮崎出張所 宮崎県宮崎市中西町42 (ステラコート2B)  
〒880-0853 ☎ 0985-35-2728 FAX 03-6778-3421

● 沖縄営業所 沖縄県豊見城市字豊崎3-59 (トヨブラン202)  
〒901-0225 ☎ 098-851-3493 FAX 03-6778-3426

● 九州技術推進グループ 福岡県福岡市博多区御供所町1-1 (西鉄祇園ビル7F)  
〒812-0037 ☎ 092-263-9700 FAX 03-6778-3411

**フロア事業部**  
 ● 東京床営業所 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6007 FAX 03-6772-0743

● 中部床営業所 愛知県名古屋市東区東大曾根町12-19 (OZヒメノビル1F)  
〒461-0022 ☎ 052-979-7270 FAX 03-6388-2697

● 床営業推進グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6008 FAX 03-6772-0855

● 床開発グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6008 FAX 03-6772-0855

● 加タマーサポートセンター 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6007 FAX 03-6772-0743

**戸建事業部**  
 ● 戸建開発グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6009 FAX 03-6778-3748

● 戸建営業グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6009 FAX 03-6778-3748

**プラットフォーム推進部**  
 ● EC化推進グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6009 FAX 03-6778-3748

● 戰略物流推進グループ 東京都千代田区丸の内1-9-2 (グラントウキヨウサウスタワー 5F)  
〒100-6605 ☎ 03-4345-6009 FAX 03-6778-3748

● 札幌工場 北海道札幌市東区北丘珠5条4-7-24  
〒007-0885 ☎ 011-785-2260 FAX 011-785-0639

● 株KMC 東北工場 〒983-0001 ☎ 022-781-6481 FAX 022-781-6482

● 茨城工場 茨城県稻敷市西代491  
〒300-0726 ☎ 0299-78-3421 FAX 0299-78-3248

● 北関東工場 群馬県太田市新田市野倉町106-2 (株ヨシカワ内)  
〒370-0306 ☎ 0276-57-2121 FAX 0276-57-3480

● 株浦安建材 千葉県浦安市鉄鋼通り3-1-12  
〒279-0025 ☎ 047-381-1700 FAX 047-381-1750

● 横浜工場 神奈川県横浜市中区錦町9 (NSM-イルセントー株横浜事業所内)  
〒231-0812 ☎ 045-628-7214 FAX 045-622-5411

● 株KMC 中部工場 大阪府大阪市大正区南恩加島4-1-27  
〒551-0021 ☎ 06-6555-1460 FAX 06-6555-1458

● 株KMC 大阪工場 広島県広島市南区出島2-14-7  
〒734-0013 ☎ 082-256-5600 FAX 082-256-5601

● 九州工場 福岡県北九州市若松区響町1-63-1  
〒808-0021 ☎ 093-771-6700 FAX 093-771-6769

● 香港桐井有限公司 No. 9 Dai Fu Street, Tai Po Industrial Estate,  
Tai Po, New Territories Hong Kong  
☎+852-2797-2026 FAX +852-2341-2618

● 佛山市三水桐井建築材料有限公司 No. 13 Yongye Road, Yundonghai Street, Sanshui,  
Foshan, GuangDong, China  
Postal Code: 528100  
☎+86-757-8782-6438 FAX +86-757-8782-6330

本書からの無断の複製はかたくお断りします。  
このカタログの記載内容は2025年12月現在のものです。  
商品等改良のため予告なしに規格その他を変更する  
ことがあります。ご了承ください。



100年の安心に、こたえる  
**KIRI**

**Steel Furrings**  
鋼製下地

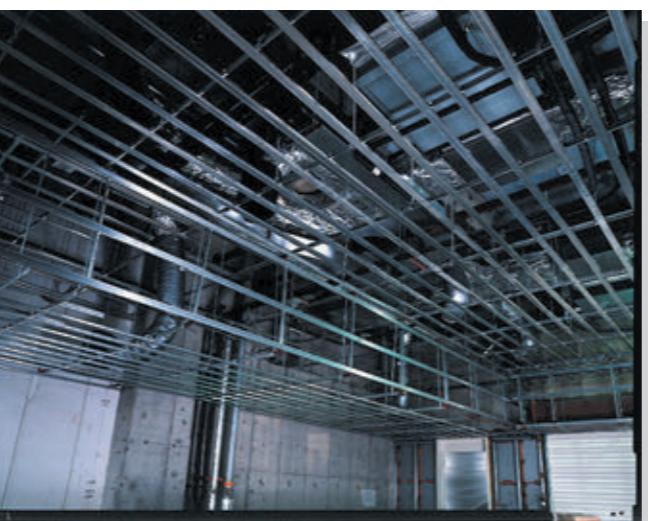
# コストパフォーマンスに優れた豊富なラインアップ

当社の製品は、内装工事用材料として、お客様にご満足をいただけますよう、全工場ともJIS品質管理規定に基づき、十分に安全性を考慮し製造しております。当社製品のご使用にあたりましては、カタログに記載された使用目的をご確認の上、必ず安全荷重の範囲内でご使用いただきますようお願い申し上げます。また、取り扱いにあたりましては、手袋等を着用していただき、素手で取り扱うことなどは絶対になされないよう重ねてお願い申し上げます。

## CEILING & WALL

### 鋼製天井・壁下地材

業界トップクラスのシェアを誇り**KIRII**ブランドの礎となる建築用鋼製下地材。施工精度の向上、工期短縮といった目的を果たすために最新鋭の製造ラインを導入し、従来のロールフォーミングでは加工が難しいとされていた複雑な形状や高い寸法精度を実現しました。また、新製品を開発することにより、品質とコストパフォーマンスの向上に取り組んでいます。



## SQ-BAR

### 角型スタッド

亜鉛めっき鋼板を角型に折り曲げ、閉鎖型のスタッドを形成しているため、木軸工法の同等サイズと比較して軽量で高い断面性能を有します。更に在来工法より施工が簡単で、作業工程及びそれに伴う全体の延べ人工を減少させることができます。



## 関連製商品

内装建築資材を幅広く取扱う専門商社として、当社で製造していない商品も含めて調達・配送が可能です。これまで培ってきたあらゆる建材の取扱機能を一層向上させ、お客様の利便性と満足度を高めていきます。

## CONTENTS

鋼製下地製品について ..... 1

### CEILING & WALL 天井・壁工法

建築用鋼製天井下地材	3、4
建築用鋼製壁下地材	5~8
高耐食性下地材	9、10
耐風圧天井TOBAN	11、12
耐風圧天井TOBAN(耐震・防振タイプ)	13、14
防振製品	15

### SQ-BAR 鋼製角型スタッド・その他壁工法

SQ-BAR SYSTEM	17、18
SQ-BAR天井システム	19、20
SQ-BAR壁システム	21、22
SQ-PowerBar	23~26
SQ-WALL2500工法	27、28
ソリーダ耐火25	29、30
SQスリムシーリング工法	31
SQスリムウォール工法	32
カビノン工法	33

関連パーツ一覧 ..... 35~68

関連商品 ..... 69~71

### 技術資料

日本産業規格適合認証書	73
建築用鋼製下地材(壁・天井)取扱注意事項	74
JIS A6517:2010	75、76
建築用鋼製下地材(壁・天井)概要	75、76
JIS G3302:2019	77
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯概要	77
JIS G3323:2019	78
溶融亜鉛—アルミニウムマグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯概要	78
公共建築工事標準仕様書	79、80
建築工事編(抜粋、令和7年版)概要	79、80
天井の標準的な施工手順	81
壁の標準的な施工手順	82
天井・壁納まり図	83~86
天井野縁割付例／天井・壁標準使用数量	87、88
断面性能一覧	89、90
社内試験概要	91、92

## 天井

JIS19形 / JIS25形 / 一般普及材

## 建築用鋼製天井下地材

## KIRIIブランドの確となる建築用鋼製下地材

鋼製下地を用いた工法の基礎であり、施工精度の向上と工期短縮を支える、内装仕上げ材用の鋼製天井下地材です。

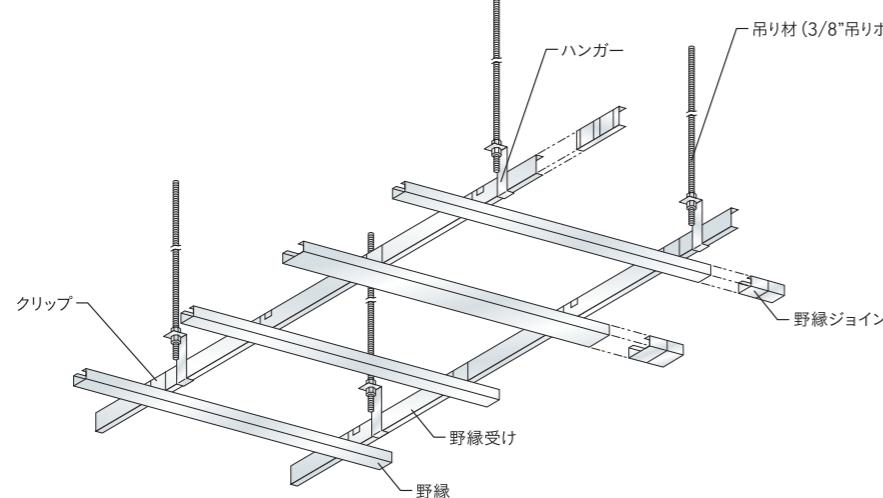
## 主な用途

公共建築、学校、他

■ JIS19形/JIS25形 「JIS A 6517」に規定された部材を使用し、公共建築工事標準仕様書に則って組み上げる天井工法です。

■ 一般普及材 当社規格の部材を使用し、公共建築工事標準仕様書に則って組み上げる天井工法です。

## 天井姿図



## 天井下地材の形状・寸法及び許容差 (JIS規格材のみ)

JIS A 6517 (JIS 19形 / JIS 25形)			寸法				許容差	
			A	B	t	L	A・B	L
19形	シングル野縁	CS-19	25	19	0.5	4000 5000	A (±1.5) B (±0.5)	+40 0
	ダブル野縁	CW-19	50	19	0.5	4000 5000	A (±1.5) B (±0.5)	+40 0
	野縁受け	CC-19	38	12	1.2	4000 5000	A (±0.5) B (±1.5)	+40 0
	シングル野縁	CS-25	25	25	0.5	4000 5000	A (±1.5) B (±0.5)	+40 0
	ダブル野縁	CW-25	50	25	0.5	4000 5000	A (±1.5) B (±0.5)	+40 0
	野縁受け	CC-25	38	12	1.6	4000 5000	A (±0.5) B (±1.5)	+40 0

備考:1.A及びB寸法は、部材の端部から200mm以上内側の部分で測る。 2.厚さtの許容差は、JIS G 3302 又はJIS G 3321による。

## 部材一覧 JIS A 6517:2010

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

## JIS19形

材料規格		野縁受け CC-19	CC-19用 ハンガー	3/8"吊りボルト・3/8"ナット													
本体・附属金物	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・SGCC 一般用 ・SGHC 一般用	ボルト・ナット・JIS G 3505 軟鋼線材 同等以上															
防錆処理	・めっき 両面付着量:Z12	・JIS H 8610に規定する1級以上、 ・JIS H 8625に規定する1級CM1A以上															
CW-19用 クリップ	t 0.6	CS-19用 クリップ	t 0.6	CW-19用 ジョイント	t 0.5 (下面)	CS-19用 ジョイント	t 0.5 (下面)	CC-19用 ジョイント	t 1.0	ダブル野縁 CW-19	サイズ:19×50×0.5	シングル野縁 CS-19	サイズ:19×25×0.5	野縁受け CC-19	サイズ:38×12×1.2	CC-19用 ハンガー	3/8"吊りボルト・3/8"ナット
製造工場	茨城工場	札幌工場	九州工場	KMC東北工場	浦安建材総合センター	KMC中部工場	KMC大阪工場	KMC広島工場	ヨシカワ	八千代建工							
JIS認証番号	TC0308142	TC0108036	TC0808064	TC0211004	TC0308210	TC0424001	TC0507041	TC0608076	TC0308270	TC0322001							
刻印	TC KIRII-I	TC KIRII-III	TC KIRII-IV	TC KMC-T KIRII	TC UKSC KIRII	TC KMC-C	TC KMC-O KIRII	TC KMC-H KIRII	TC YO KIRII	TC YKC KIRII							
部材											規						
部品																	

## JIS25形

材料規格		野縁受け CC-25	CC-25用 ハンガー	3/8"吊りボルト・3/8"ナット													
本体・附属金物	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・SGCC 一般用 ・SGHC 一般用	ボルト・ナット・JIS G 3505 軟鋼線材 同等以上															
防錆処理	・めっき 両面付着量:Z12	・JIS H 8610に規定する1級以上、 ・JIS H 8625に規定する1級CM1A以上															
CW-25用 クリップ	t 0.8	CS-25用 クリップ	t 0.8	CW-25用 ジョイント	t 0.5 (下面)	CS-25用 ジョイント	t 0.5 (下面)	CC-25用 ジョイント	t 1.0	ダブル野縁 CW-25	サイズ:25×50×0.5	シングル野縁 CS-25	サイズ:25×25×0.5	野縁受け CC-25	サイズ:38×12×1.6	CC-25用 ハンガー	3/8"吊りボルト・3/8"ナット
製造工場	茨城工場		KMC中部工場														
JIS認証番号	TC0308142	TC0424001															
刻印	TC KIRII-I	TC KMC-C									規						
部材																	
部品																	

## 部材一覧 一般普及材

材料規格		野縁受け C38チャンネル	ハンガー*	3/8"吊りボルト・3/8"ナット							
本体・附属金物	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・SGCC 一般用 ・SGC 340~570 高強度一般用 ・SGHC 一般用	ボルト・ナット・JIS G 3505 軟鋼線材 同等以上									
防錆処理	・めっき 両面付着量:Z08 (※Z12)	・JIS H 8610に規定する1級以上、 ・JIS H 8625に規定する1級CM1A以上									
Wクリップ		Sクリップ	Wジョイント	Sジョイント	チャンネルジョイント	野縁19形Sバー	野縁19形Wバー	野縁受け C38チャンネル	サイズ:38×12	ハンガー*	3/8"吊りボルト・3/8"ナット
						19 25 25 25	19 25 25 25	野縁受け C38チャンネル	サイズ:19×25		
						スリット付野縁 (ダイクトSバー)	スリット付野縁 (ダイクトWバー)	野縁受け C38チャンネル	サイズ:19×50		
野縁受け C19チャンネル	19 10 サイズ:19×10×1.0	野縁受け C25チャンネル	25 10 サイズ:25×10×1.0	野縁受け C40×20チャンネル	40 20 サイズ:40×20×1.6	野縁受け C40×20リップ付チャンネル	40 10 サイズ:40×20×10×1.6	野縁受け C19チャンネル	野縁受け C25チャンネル	野縁受け C40×20チャンネル	野縁受け C40×20リップ付チャンネル

単位:mm

単位:mm

単位:mm

単位:mm

技術資料

4

# 建築用鋼製壁下地材

## KIRIIブランドの礎となる建築用鋼製壁下地材

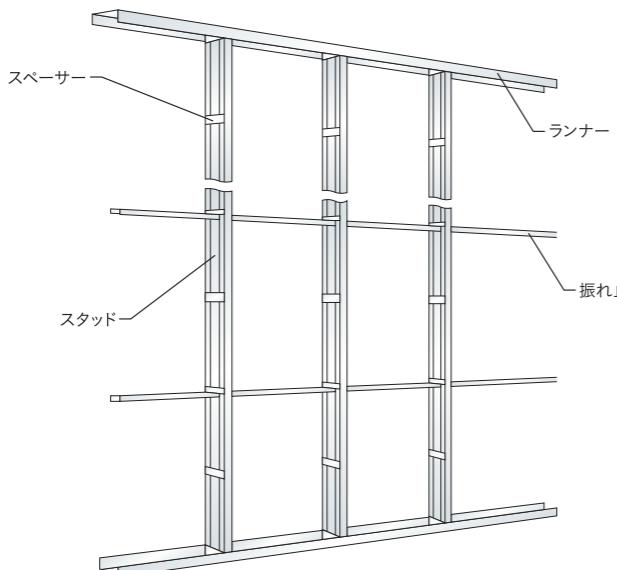
鋼製下地を用いた工法の基礎であり、施工精度の向上と工期短縮を支える、内装仕上げ材用の鋼製壁下地材です。

### 主な用途

公共建築、学校、他

- JIS材 「JIS A 6517」に規定された部材を使用し、公共建築工事標準仕様書に則って組み上げる壁工法です。
- 一般普及材 当社規格の部材を使用し、公共建築工事標準仕様書に則って組み上げる壁工法です。

### 壁姿図



### 形状・寸法及び許容差

JIS A 6517 (JIS材)		種類					許容差		A+B L(長さ)	A (±0.5)、 B (±1)	+40 0			
		50形	65形	75形	90形	100形	A+B	L(長さ)						
スタッド	記号	WS-50	WS-65	WS-75	WS-90	WS-100	A (±0.5)、 B (±1)	2400, 2700 2700, 3000, 3500, 4000 3000, 3500, 4000	A (±0.5)、 B (±1)	+40 0				
	A×B×t	50×45×0.8	65×45×0.8	75×45×0.8	90×45×0.8	100×45×0.8								
	L(長さ)	2400, 2700	2700, 3000, 3500, 4000	3000, 3500, 4000	4000, 4500	4500, 5000								
ランナー	記号	WR-50	WR-65	WR-75	WR-90	WR-100	A (±0.5)、 B (±1)	4000	A (±0.5)、 B (±1)	+40 0				
	A×B×t	52×40×0.8	67×40×0.8	77×40×0.8	92×40×0.8	102×40×0.8								
振れ止め	記号	WB-19	WB-25				A, B (±1.5)	4000, 5000	A, B (±1.5)	+40 0				
	A×B×t	19×10×1.2	25×10×1.2											
	L(長さ)	4000, 5000												

備考:1.A及びB寸法は、部材の端部から200mm以上内側の部分で測る。 2.厚さtの許容差は、JIS G 3302 又はJIS G 3321による。

JIS認証番号・刻印等についてはP4を参照

### 部材一覧 JIS A 6517:2010

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

※製品により在庫状況が異なりますので、最寄の営業所にご相談いただきますようお願いいたします。  
※JIS G 3350適合品をご発注の際は、一般普及材との区別のためJIS規格品であることをご明記いただきますようお願いいたします。

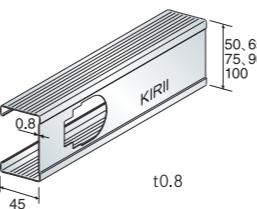
#### JIS材(壁)

#### 材料規格

本体・附属金物 JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
・SGCC 一般用  
・SGHC 一般用

防錆処理・めっきの両面付着量:Z12

#### スタッド



50形 WS-50

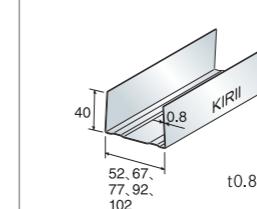
65形 WS-65

75形 WS-75

90形 WS-90

100形 WS-100

#### ランナー



WR-50

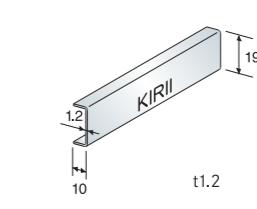
WR-65

WR-75

WR-90

WR-100

#### 振れ止め

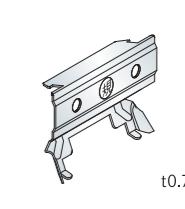


WB-19

WB-25

WB-25

#### スペーサー



WS-50スペーサー

WS-65スペーサー

WS-75スペーサー

WS-90スペーサー

WS-100スペーサー

単位:mm

### 部材一覧 JIS G 3350:2017

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

#### 一般構造用軽量形鋼(リップ溝形鋼)

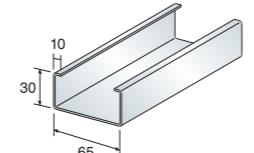
単位:mm

本体 JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼  
・SSC400

防錆処理・めっきの種類:溶融亜鉛めっき  
・めっきの表面付着量:Z12

#### 一般構造用軽量形鋼

製造工場	茨城工場	KMC大阪工場
JIS認証番号	TC0317003	TC0517001



60形 60×30×10×1.6 60×30×10×2.3 \*1

65形 65×30×10×1.6 \*1 65×30×10×2.3 \*1

75形 75×45×15×1.6 75×45×15×2.3

90形 90×45×15×2.3

100形 100×50×20×1.6 100×50×20×2.3

単位:mm

JIS G 3350 (一般構造用軽量形鋼)	種類					許容差	
	60形	65形	75形	90形	100形	H	A
一般構造用軽量形鋼	60×30×10×1.6	65×30×10×1.6 *1	75×45×15×1.6	90×45×15×2.3	100×50×20×1.6	±1.5	±1.5
H×A×C×t	60×30×10×2.3 *1	65×30×10×2.3 *1	75×45×15×2.3	90×45×15×2.3	100×50×20×2.3	±1.5°	±1.5°
L(長さ) <sup>※2</sup>	4000	(3000)	4000	4000	6000	C	±2.0
	6000					L(長さ)	+40 0
						曲がり <sup>※3</sup>	全体の0.2%以下
						t	1.6mm以上2.0mm未満
							±0.22
							2.0mm以上2.5mm未満
							±0.25

\*JIS G 3350より抜粋

\*1茨城工場・KMC大阪工場両工場で製造

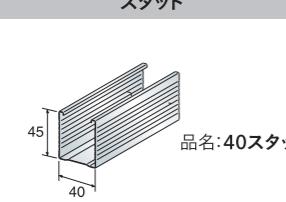
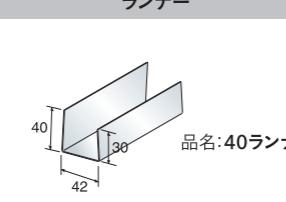
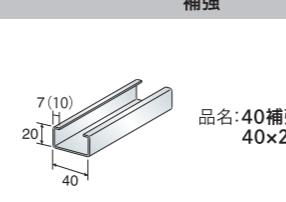
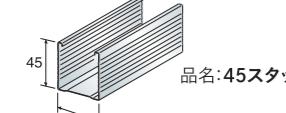
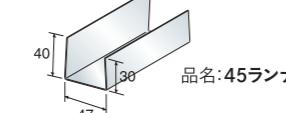
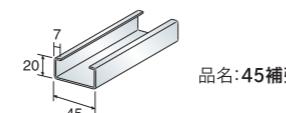
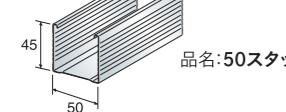
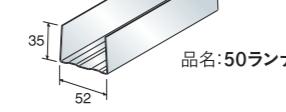
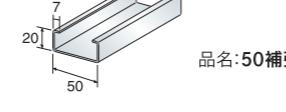
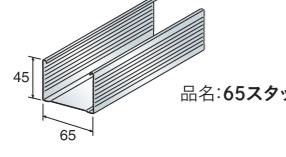
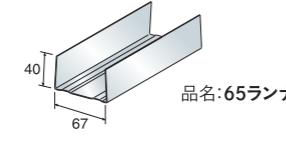
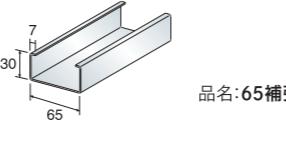
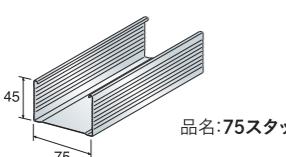
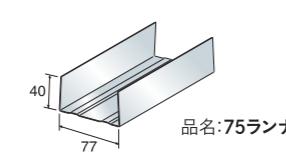
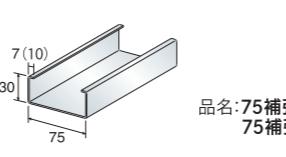
\*2当社の標準在庫長さ

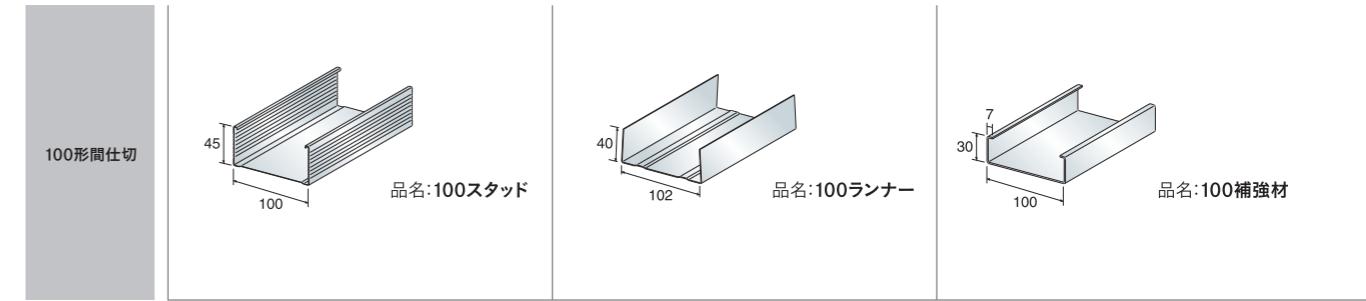
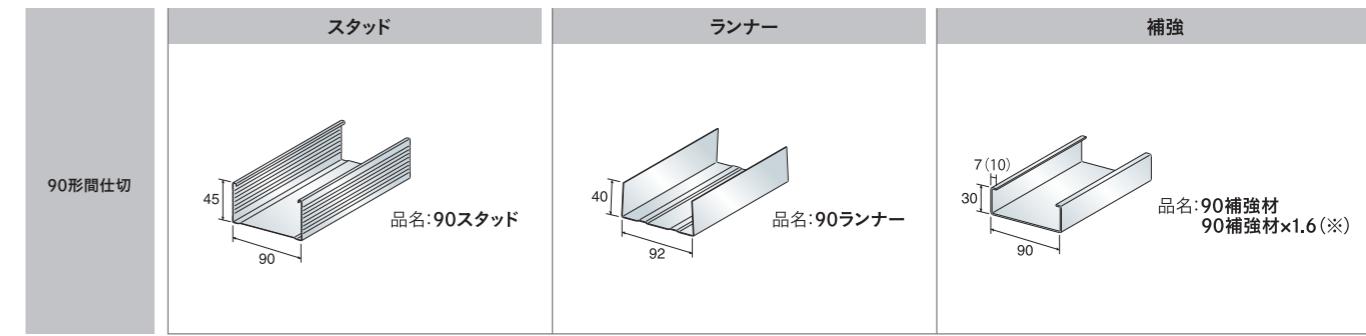
\*3平板部分の長さ方向の上下及び左右の曲がりに適用する。

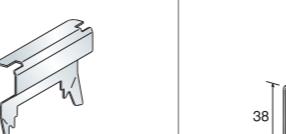
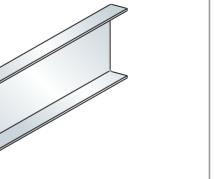
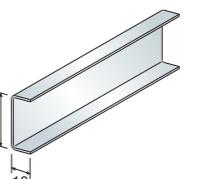
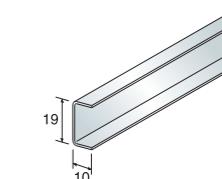
# 建築用鋼製壁下地材

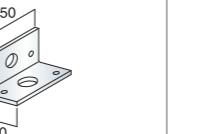
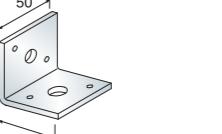
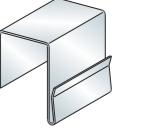
## 部材一覧

※製品によっては受注生産となりますので、最寄りの営業所に相談いただきますようお願いします。

一般普及材			
一般普及材(スタッド、ランナー、補強材)			
材料規格			
<b>本体</b> JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・SGCC、SGHC 一般用 ・SGC340～570、SGH400 高強度一般用			防錆処理 めっきの両面付着量:Z08 (※)印:Z12
40形間仕切	スタッド  品名:40スタッド	ランナー  品名:40ランナー	補強  品名:40補強材 40×20×10×1.6
45形間仕切	スタッド  品名:45スタッド	ランナー  品名:45ランナー	補強  品名:45補強材
50形間仕切	スタッド  品名:50スタッド	ランナー  品名:50ランナー	補強  品名:50補強材
65形間仕切	スタッド  品名:65スタッド	ランナー  品名:65ランナー	補強  品名:65補強材
75形間仕切	スタッド  品名:75スタッド	ランナー  品名:75ランナー	補強  品名:75補強材 75補強材x1.6(※)



一般普及材(附属金物)			
スペーサー金具	振れ止め用チャンネル		
	C38 チャンネル  入数 40形 1500個	C25 チャンネル  入数 40形 1500個	C19 チャンネル  入数 40形 ○
	45形 1500個	50形 ○	○
	50形 1500個	65形 ○	○
	65形 800個	75形 ○	○
	75形 600個	90形 ○	○
	90形 500個	100形 ○	○
	100形 400個		

アンダルピース			SQスペーサー
L-t3.2×30×30L	L-t3.2×30×50L	L-t4.5×50×50L	SQスペーサー
 入数 200個	 入数 200個	 入数 100個	
50形 ○	50形 ○	50形 ○	使用方法:千鳥組みの隙間にれる金物 入数 W10 800個
65形 ○	65形 ○	65形 ○	W15 500個
75形 ○	75形 ○	75形 ○	W20 500個
90形 ○	90形 ○	90形 ○	W25 400個
100形 ○	100形 ○	100形 ○	W30 400個
			W35 400個

# 高耐食性下地材

## 耐食性を付加した素材を使用

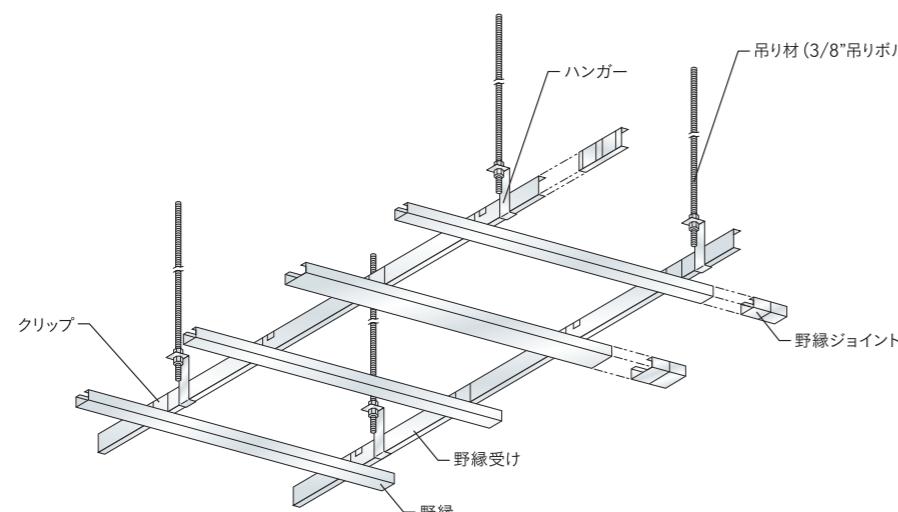
屋外や湿気の多い場所に最適な高耐食性下地材です。

### 主な用途

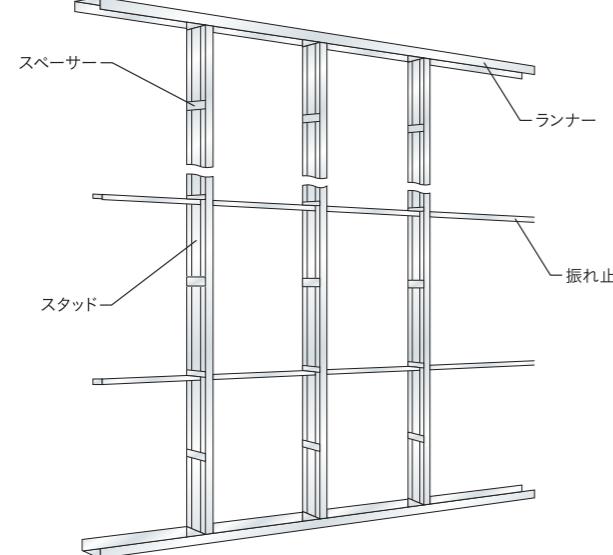
駅舎ホーム、駅舎コンコース、ペントハウス、化学工場、臨海地帯、工場施設、他

用途に合わせてご検討いただけるよう、溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板からなる高耐食天井・壁下地材、ステンレス製の天井・壁下地材の2種類のラインアップをご用意しております。

### 天井姿図



### 壁姿図



## 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

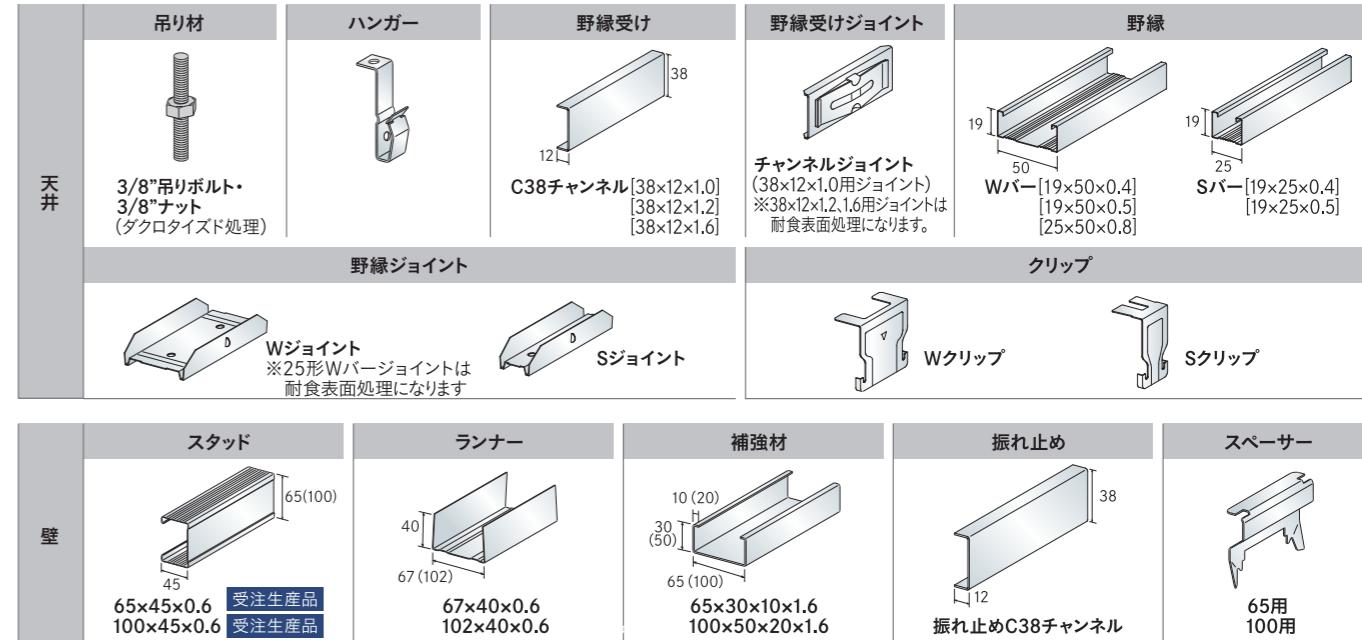
### 高耐食天井・壁下地材

単位:mm

#### 素材特性

溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板を下地に採用

- 添加元素の複合効果で耐食性が向上
- 優れた耐疵付き性
- 切断端面部は保護皮膜が覆うことにより、端面耐食性が向上
- 厳しい加工に耐えるめっき密着性



【ご使用にあたって】・壁下地材の在庫は都度お問い合わせ願います。溶接箇所への銷止めには専用の亜鉛系鍛止め塗料をご使用願います。

・ボード類等の留めつけには高耐食表面改質処理である「サスガード®」処理を施されたビスの使用を推奨します。

・ボルト及びナットは高耐食表面処理であるダクロタイズ処理をされた製品をご使用願います。

### ステンレス製天井・壁下地材

単位:mm

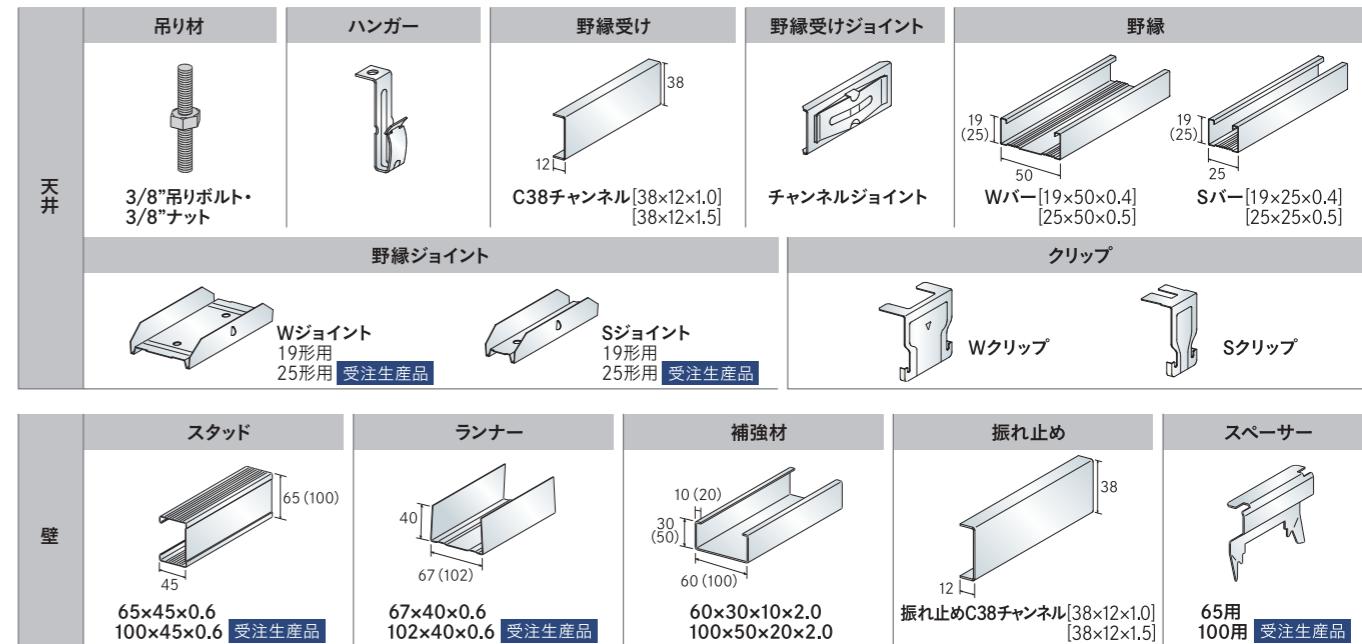
#### 素材特性

##### SUS304

オーステナイト系ステンレス。ステンレスの中でも最も普及した汎用品である。耐食性、耐熱性に優れる。  
家庭用品、建設材料、食品設備、一般化学設備、原子力設備用に使用されている。  
主成分は0.08C-18Cr-8Ni

##### オーステナイト系ステンレス

常温においても、オーステナイト組織を示すステンレス鋼。熱処理によって硬化せず、一般に非磁性である。18%クロム8%ニッケル(18-8)鋼がその代表的なものである。粘り強く、柔らかく、成形性と耐食性に優れた性質を示す。  
また、溶接も良好であるが、切削性に劣り焼入硬化性はない。



【ご使用にあたって】・壁下地材は受注生産となります。溶接箇所への銷止めには専用の鍛止め塗料をご使用願います。

・製造過程の加工により磁性を帯びる可能性があります。

注意事項 塩化物、硫化物を多く含む場所でのご検討の場合は、別途ご相談願います。

# 耐風圧天井TOBAN

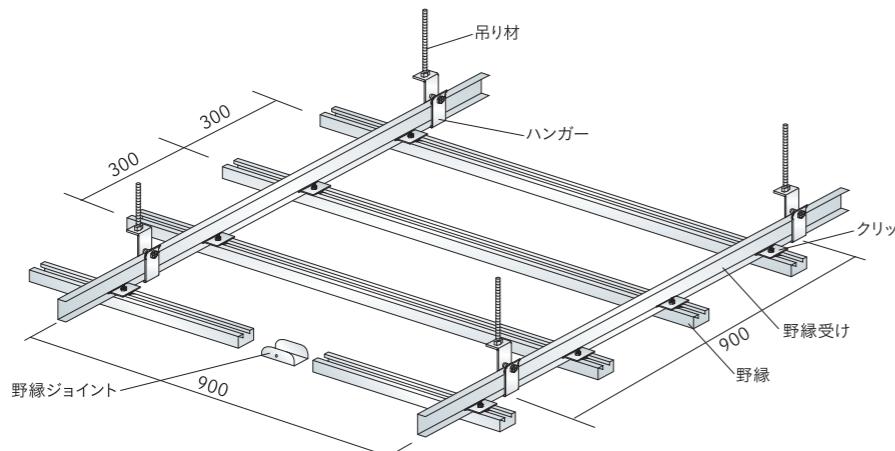
## 屋外の天井・風圧のかかる天井に対応可能

軒天井やピロティの天井、消火設備を設置する部屋の天井に対応した天井下地工法です。

主な用途 パルコニー、ピロティ、他

クリップやハンガーの補強、吊りボルトの圧縮補強材などにより、風圧力に対応することができます。ご検討の風圧力に合わせ、下地材を検討いたします。

## 天井姿図



## 耐風圧仕様目安表

設計・施工の注意点は指針をご確認ください。

名称	耐風圧天井TOBAN5000		耐風圧天井TOBAN4000		耐風圧天井TOBAN3000	
	参考風圧力	5000Pa (500kgf/m <sup>2</sup> )	4000Pa (400kgf/m <sup>2</sup> )	3000Pa (300kgf/m <sup>2</sup> )		
使用部材	野縁受け	CC-25	CC-25	C-40×20×1.6	CC-25	CC-25
	野縁	25形Wバー(0.8)	25形Wバー(0.8)	25形Wバー(0.8)	25形Wバー(0.8)	25形Wバー(0.8)
	ハンガー	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C40用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C40用)
	クリップ	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C40用)	RP-Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C40用)
施工仕様	インサートピッチ	600	750	900	750	900
	野縁受ピッチ	600	600	600	900	750
	野縁ピッチ	300	360	360	227	227
天井ふきごとく	3分ボルト	380以下	380以下	350以下	360以下	410以下
	4分ボルト	690以下	690以下	630以下	650以下	730以下
	角P1.2×19×19	1830以下	1830以下	1670以下	1730以下	1940以下
	角P1.6×19×19	2010以下	2010以下	1840以下	1910以下	2130以下
	角P1.6×25×25	3180以下	3180以下	2910以下	3020以下	3370以下

必ず  
ご確認ください

建築工事監理指針 令和4年版(下巻)14.4.3(3)

軒天井、ピロティ天井等屋外の野縁等の間隔は、地域性、個別性等の諸要件により風荷重が異なるので「標示」では特記によるとしている。したがって、設計担当者が構造計算等によって

野縁等の間隔を定めることになる。なお、監督職員は、施工計画書で、実際に使用する部材の断面性能等を使った構造計算により確認された工法であることを確かめて、承認することになる。

## 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

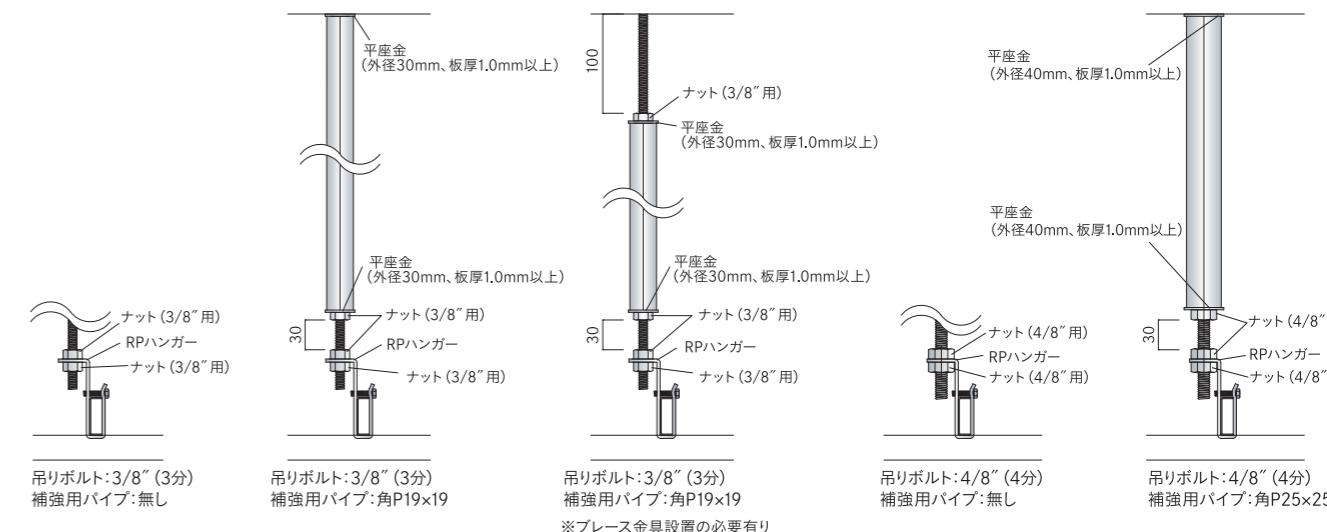
単位:mm

吊りボルト	ハンガー	野縁受け	野縁受けジョイント
3/8"吊りボルト・3/8"ナット 1/2"吊りボルト・1/2"ナット	RPハンガー[t3.2] (C38用、C40用)	RPフリーハンガー[t3.2] (C38用、C40用)	CC-25[C-38×12×1.6] C-40×20×1.6
野縁	野縁ジョイント	クリップ	クリップ
CW-25[25×50×0.5] 25形Wバー(0.8)[25×50×0.8]	CS-25[25×25×0.5] 25形Sバー(0.8)[25×25×0.8]	RP-Wクリップ (C38用)	RP-Sクリップ (C38用)
圧縮補強材	水平補強材	セルフドリーリングビス	ナットゆるみ止め・脱落防止金具
□-19×19×1.2 ※1 □-19×19×1.6 ※1 □-25×25×1.6 ※2	CC-25[C-38×12×1.6] C-40×20×1.6	KIRII耐震ビス (PAN:4.2×16以上) KIRII耐震ビス (PAN:HEX:4.8×25以上)	インスタントロック ※3分ボルト・3分ナットで使用可能

※1 ワッシャー(外径30mm以上 板厚1.0mm以上)を使用

※2 ワッシャー(外径40mm以上 板厚1.0mm以上)を使用

## 耐風圧天井工法のハンガー取付等詳細図



※緩み止め対策を施す場合、ばね座金やナットゆるみ止め・脱落防止金具(インスタントロック:3分ボルトのみ)を使用してください。

鋼製角型ダッシュド・その他壁工法

関連パーソナル

技術資料

耐風圧天井TOBAN2500		耐風圧天井TOBAN2000			耐風圧天井TOBAN1500		耐風圧天井TOBAN1000
2500Pa (250kgf/m <sup>2</sup> )		2000Pa (200kgf/m <sup>2</sup> )			1500Pa (150kgf/m <sup>2</sup> )		1000Pa (100kgf/m <sup>2</sup> )
CC-25	C-40×20×1.6	CC-25	CC-25	C-40×20×1.6	CC-25	CC-25	CC-25
CW-25	25形Wバー(0.8)	CW-25	CW-25	25形Wバー(0.8)	CW-25	25形Wバー(0.8)	CW-25
RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C40用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C40用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C38用)	RPハンガー(C38用)
RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)	RP-Wクリップ(C38用)
耐風圧Wクリップ(C40用)	耐風圧Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C40用)	耐風圧Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C38用)	耐風圧Wクリップ(C38用)
900	900	900	900	900	900	900	900
750	900	750	900	900	900	900	900
227	300	300	227	360	300	360	360
400以下	370以下	450以下	410以下	410以下	480以下	480以下	600以下
720以下	660以下	800以下	740以下	740以下	860以下	860以下	1070以下
1900以下	1740以下	2130以下	1950以下	1950以下	2270以下	2270以下	2820以下
2100以下	1920以下	2350以下	2150以下	2150以下	2500以下	2500以下	3110以下
3310以下	3030以下	3720以下	3400以下	3390以下	3950以下	3960以下	4910以下

⚠ ボルトの吊り元に関しては、基本を埋込み式インサートとしています。あと施工アンカー及び金具を使用する場合は、別途協議が必要となります。

注意 ※各仕様は仕上重量を6kg/m<sup>2</sup>程度とし一定条件により算出した参考例です。仕上材の仕様により下地ピッチが変わる場合があります。

※耐震性を考慮したプレースの設置は別途検討が必要です。公共建築工事標準仕様書に準じた吊りボルトの水平補強、斜め補強の設置に関しては監理者と協議の上決定ください。

# 耐風圧天井TOBAN(耐震・防振タイプ)

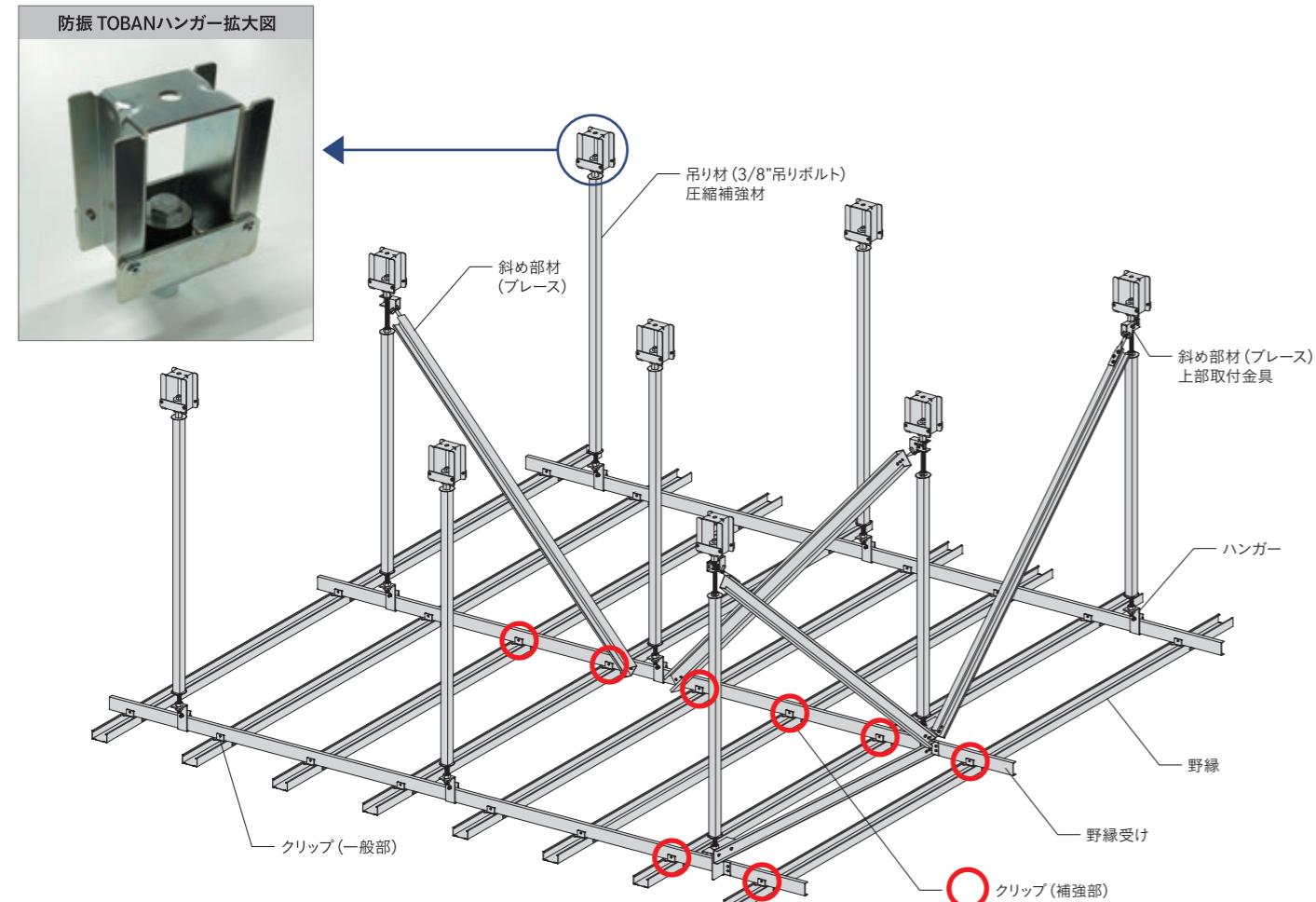
異なる3つの性能を1つに…新たな天井へ

防振性能と耐震、耐風圧性能を兼ね備えた天井の計画が可能です。

**主な用途** 駅舎ホーム、駅舎コンコース、高架下通路、他

(株)桐井製作所とヤクモ(株)で共同開発した防振TOBANハンガーにより、防振性能と耐風圧、耐震性能を兼ね備えた天井が実現しました。

## 天井姿図



## 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

単位:mm

吊り材	ハンガー	野縁受け	野縁受けジョイント	野縁
3/8吋吊りボルト・3/8吋ナット	RPハンガー[t3.2] RPフリーハンガー[t3.2]	CC-19[C38x12x1.2] CC-25[C38x12x1.6]	CC-19用ジョイント[t1.0] CC-25用ジョイント[t1.0]	RPチャンネルジョイント(C38)[t1.6]
CW-19 CW-25 25形Wバー(0.8)	CS-19 CS-25 25形Sバー(0.8)	KIRII	KIRII	KIRII
CW-19 CW-25 25形Wバー(0.8)	CS-19 CS-25 25形Sバー(0.8)			
野縁ジョイント	クリップ	クリップ	クリップ補強	防振ハンガー
CW-19ジョイント CW-25ジョイント 25形Wバー(0.8)用ジョイント	CS-19ジョイント CS-25ジョイント 25形Sバー(0.8)用ジョイント	RP-Wクリップ RP-Sクリップ	RP-Wカバー RP-Sカバー	防振TOBANハンガー
(下面)				
斜め部材(プレース) 下部取付金具	斜め部材(プレース) 上部取付金具	圧縮補強材	セルフドリーリングビス	ナットゆるみ止め・脱落防止金具
プレース金具RP プレース金具RP(勾配用) 要注生産品	UE-box (適用角度:030°~60°)	□-19x19x1.2 ※1 □-19x19x1.6 ※1 □-25x25x1.6 ※2	プレース金具KF (適用角度:015°~60°)	KIRII耐震ビス (PAN:4.2x16以上) KIRII耐震ビス (HEX-PAN:4.8x25以上)
斜め部材(フレース)	インスタントロック			
CC-19 CC-25 C-40x20x1.6 LG60x30x10x1.6	AS-25x19x5x1.0 AS-40x20x7x1.0 AS-65x30x7x1.0 LG60x30x10x1.6			

※1 ワッシャー(外径30mm以上 板厚1.0mm以上)を使用

※2 ワッシャー(外径40mm以上 板厚1.0mm以上)を使用

## 防振TOBANハンガーの特性

耐風圧天井TOBAN(耐震・防振タイプ)を実現するために開発しました。「防振TOBANハンガー」は耐震性と防振性を兼ね備えた「防振ハンガー」です。

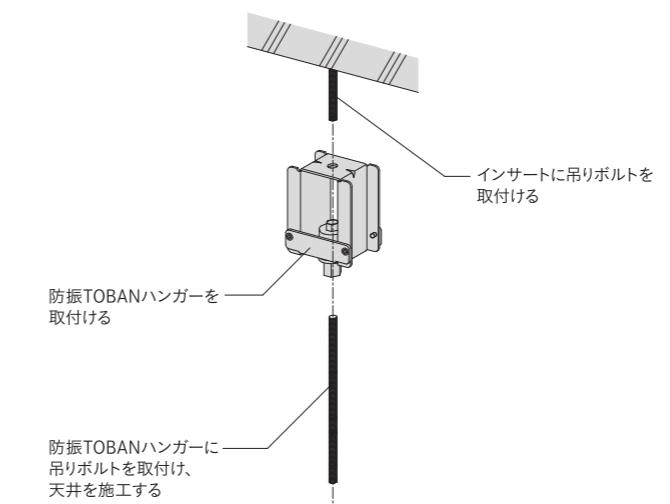
タイプ	防振性能				1箱数量
	使用荷重	許容荷重	静的ばね定数	動的倍率	
YH-15ST	50N~130N	150N	40N/mm	1.1	20ヶ
YH-30ST	120N~250N	300N	64N/mm	1.4	

$$f_n = \frac{1}{2\pi} \sqrt{\frac{K_s \times d \times g}{W}}$$

Ks: 静的ばね定数(N/mm)  
g: 重力加速度(9800mm/sec<sup>2</sup>)  
W: 防振ハンガーにかかる荷重(N)  
d: 動的倍率

防振ハンガーにより天井の固有振動数を10Hz程度に設定すると、固体伝搬音に対して高い遮音効果が期待できます。

## 防振TOBANハンガーの取付け



工法	耐風圧天井TOBAN2000(耐震・防振タイプ)
参考風圧力例	2000Pa (200 kgf/m <sup>2</sup> )
野縁受け	CC-25
野縁	CW-25
ハンガー	RPハンガー(C38用)
クリップ	RP-Wクリップ(C38用)
クリップ補強	RP-Wカバー
プレース材	AS-40
プレース上部取付金具	UE-box
プレース下部取付金具	プレース金具RP
防振ハンガー	防振TOBANハンガー
吊りボルト	3分ボルト+□19x19x1.2
インサートピッチ	900
野縁受けピッチ	900
野縁ピッチ	227

\*仕様は仕上げ材をケイカル6mmとした場合の参考例です。

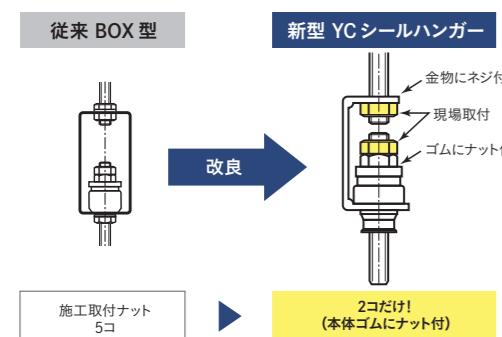
\*ボルトの吊り元に関しては、基本を埋込み式インサートとしています。

\*あと施工アンカーおよび金具を使用する場合は別途協議願います。

\*天井仕様や要求性能によりプレースの設置数量が変わることがありますので、別途ご相談ください。

\*防振ハンガーを使用すると、水平方向の変位量が大きくなりますのでクリアランスの算出には別途協議願います。

## 圧縮型防振ハンガー (YCシールハンガー)



### 施工の省力化を強力にサポート

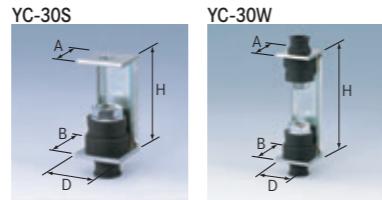
取付け簡単	C型フレームの採用により、ボルト・ナットの締結作業が簡単にできます。更に、フレーム・防振ゴムにネジ機能を付加することで、従来品に比べて部品点数・作業工程数を約1/3に軽減できます。また、メートルねじM10、インチねじ3/8"両規格に共通対応しています。
安全設計	吊りボルトは防振ゴムを通してフレームに固定されているため、接触・脱落がなく安全です。また、コンパクト設計のため、天井窓を狭くすることができます。
高性能	特殊なゴム形状により、防振ゴム部は振動(固体音・衝撃音)に対して有効な防振効果を発揮します。

寸法表

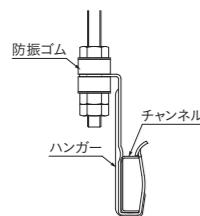
タイプ	寸法 (mm)				適用ボルト (共通)		推奨荷重 N	静的バネ定数 N/mm (kgf/cm)	許容荷重 N
	A	B	H	D	メートルねじ	インチねじ			
YC-30S	30	35	60	30	M10	3/8"	110~250	100(102)	300
YC-30W	35	35	90	30	M10	3/8"	110~250	50(51)	

動的倍率 1.5

※ハンガー1個あたりにかかる荷重を確認の上、使用する防振ハンガーのタイプを選定してください。



## 桐井防振ハンガー (直吊りタイプ)



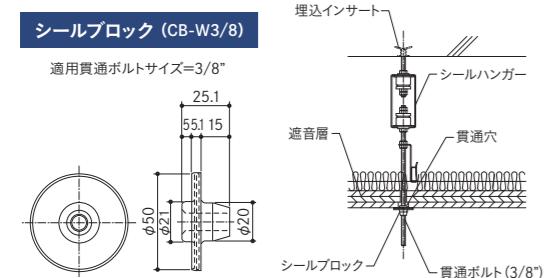
### 特長

ハンガーと防振ゴムの一体化により、通常のハンガー取付けと同様に野縁受けを簡単に直吊りできます。

### 使用荷重

~98N (10kgf)

## 二重天井等の吊りボルト貫通穴ふさぎ部材 (シールブロック)



### 取付け簡単

取付け方法はシールブロックを遮音層貫通ボルトに差し込み、押し上げるだけです。

### 安全設計

プッシュイン方式で脱落防止もそなえた優れものです。

### 高性能

特殊なゴム形状により、ボード面への密着性は抜群です。また、遮音層穴面と貫通ボルトとはゴムを介しますので、固体音の発生等はありません。

【注意】この商品は貫通穴ふさぎ部材ですので荷重を支持することはできません。

# 鋼製角型スタッド・その他壁工法

- SQ-BAR SYSTEM ━━━━━━ 17, 18
- SQ-BAR天井システム ━━━━━━ 19, 20
- SQ-BAR壁システム ━━━━━━ 21, 22
- SQ-PowerBar ━━━━━━ 23~26
- SQ-WALL2500工法 ━━━━━━ 27, 28
- ソリーダ耐火25 ━━━━━━ 29, 30
- SQスリムシーリング工法 ━━━━━━ 31
- SQスリムウォール工法 ━━━━━━ 32
- カビノン工法 ━━━━━━ 33

天井 壁

CEILING SYSTEM / WALL SYSTEM

# SQ-BAR

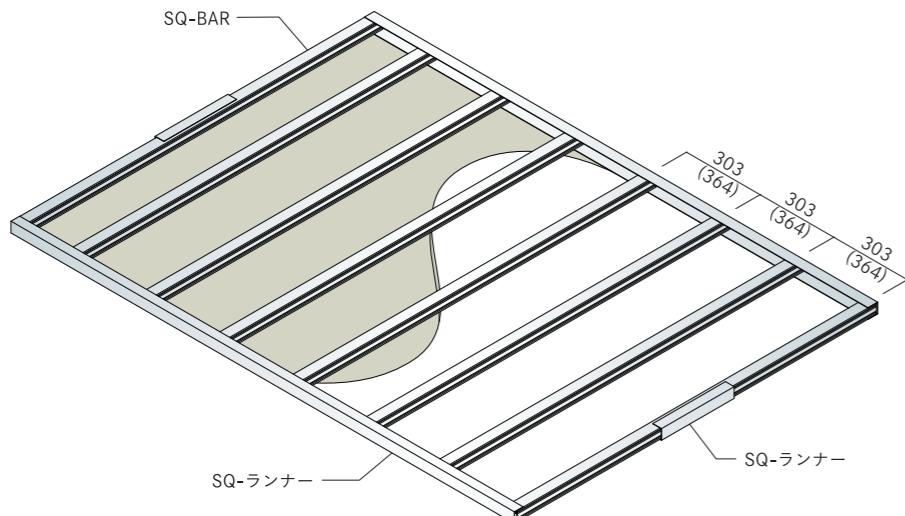
## 工程の省力化を実現

集合住宅等の内装下地材に最適な角型鋼製下地材です。

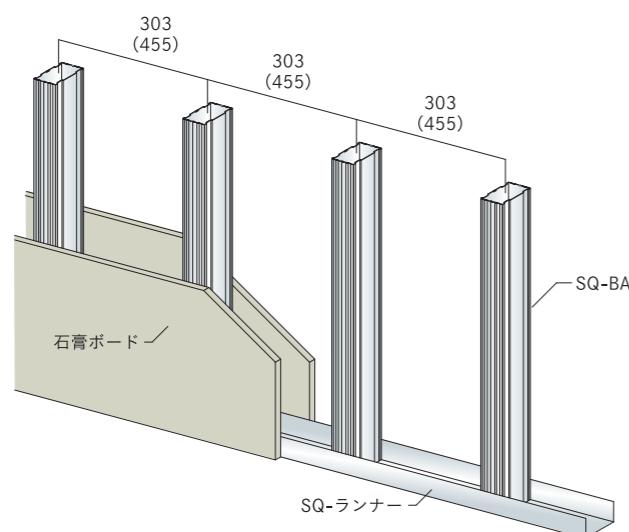
主な用途 集合住宅住戸内、ホテル客室、他

施工精度の向上・工事の省力化によるコストダウンを目的とした内装鋼製下地工法です。小規模空間に従来用いられてきた木軸工法に対して、角型鋼製下地材を用いることで強度評価を可能になりました。天井及び壁下地材で同一形状を使用するため、システムティックな施工を実現します。

天井姿図



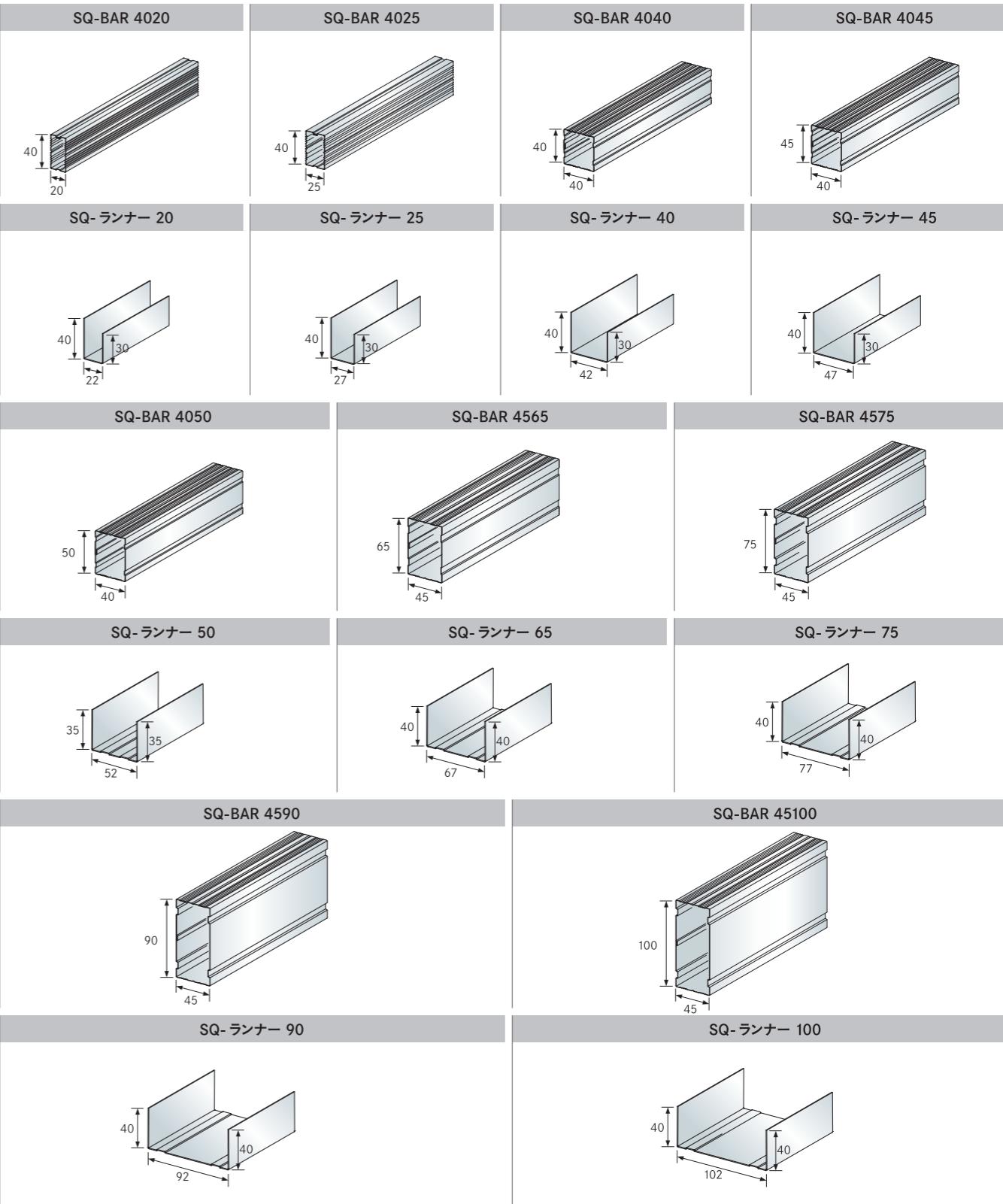
壁姿図



## 共通部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。  
※予告なく仕様、形状等は変更することがありますのでご了承ください。

単位:mm



### 【SQ-BAR SYSTEM 施工についての基本的なご注意事項】

- 天井壁共にSQ-BARの長さは軸側より10mm程度短いものを限度とします。
- 天井施工に当たって両端ランナーの取付けには取付けする壁体によってそれぞれの壁体に適応した留金具とランナーをご使用ください。
- SQ-BAR4040に各SQバーペースを使用する場合はかならずハゼ折り面を側面にして取付けてください。
- SQ工法は溶接を用いない施工を特徴とした工法です。溶接を用いた施工を採用する際は監理者の指示と確認の下、適切な溶接を実施ください。
- 詳細は施工要領書をご参照ください。

- SQ-BARのハゼ折り面へのボード貼りはさせてください。従って施工時天井・壁共仕上面SQ-BARのハゼ折り面がこないようご注意ください。



# SQ-BAR CEILING SYSTEM

## 特徴

### ●集合住宅住戸内、ホテル客室に最適です。

- ・梁型や下り壁の施工が簡単。
- ・ダクト下の補強やインサーの埋込み不良によるアンカーホルダの不要になる。
- ・溶接不要のため搬入経費、養生費や溶接箇所のタッチアップが不要。
- ・吊りボルト長さの現場計測が不要になる。
- ・天井のふところが深ければ深い程、価格構成率の高い吊りボルト不要の為コストの削減につながる。
- ・天井のふところが極端に浅い場合でも、特殊な施工はいらない。
- ・溶接不要のため搬入経費、養生費や溶接箇所のタッチアップが不要。
- ・鋸止め塗装費用が節約される。

## CEILING SYSTEM 使用部材

	SQクリップ	新SQハンガー	新SQ-Tクリップ	SQ-BYJ
SYSTEM	野縁受口使用天井	SQ-BAR直吊り天井	開口補強	開口補強
材質	溶融亜鉛めっき鋼板	溶融亜鉛めっき鋼板	溶融亜鉛めっき鋼板	溶融亜鉛めっき鋼板
用途	野縁受け口-19×10～口-38×12とSQ-BAR各種を緊結する留金具。開口部の補強にも適応出来ます。	SQ-BARをクロスに組む場合の緊結金具。天井・壁組に利用ください。	SQ-BARをクロスに組む場合の緊結金具。天井・壁組に利用ください。	点検口の開口補強にSQ-BARを重ね合わせる金具。
備考	P.19参照	P.19参照	P.20参照	P.20参照

## 天井適用スパンの目安

	材軸方向	PB9.5		PB12.5	
		303	364	303	364
SQ-BAR4020	弱軸	1500	1200	1300	1100
SQ-BAR4025	弱軸	1800	1500	1600	1300
SQ-BAR4040	弱軸	2100	1900	2000	1800
SQ-BAR4045	強軸	2200	2000	2100	1900
SQ-BAR4050	強軸	2600	2300	2500	2200
SQ-BAR4565	強軸	2800	2500	2700	2400

- ・SQ-BAR4020、4025、4040は仕上げ材面側が弱軸になります。  
 ・天井スパンの目安は、集合住宅住戸内を想定し、当社基準により定めた値です。  
 ・断面性能による計算結果と異なる場合があります。  
 ・建築物の用途が異なる場合や、仕上げ材が異なる場合には、別途検討が必要になる場合があります。  
 例) プラスター板12.5mm 1枚貼りの場合、プラスター板12.5mm → 8kg/m<sup>2</sup> SQ-BAR4045(強軸) 303mmピッチ 2200mm/<sup>4</sup>√(8/7)=2128mm → 2100mm以下  
 但し、仕上げ材重量がプラスター板9.5mm 1枚貼りよりも少ない場合は適用スパンを大きくすることは出来ません。

## 納まり図

SQ-CEILING SYSTEM SQ-BAR直吊りの場合 (適用スパン以上の場合)		SQ-CEILING SYSTEM 野縁受け使用の場合 (適用スパン以上の場合)	
仕様材: 4020 4025 4040 4045 4050	単位:mm	仕様材: 4040 4045	単位:mm
<small>※4040に新SQハンガーを使用する場合は、かならずハゼ折り面を側面にして取付けてください。</small>		<small>※4040にSQクリップを使用する場合は、かならず図通りハゼ折り面を側面にして取付けてください。</small>	

## 納まり図

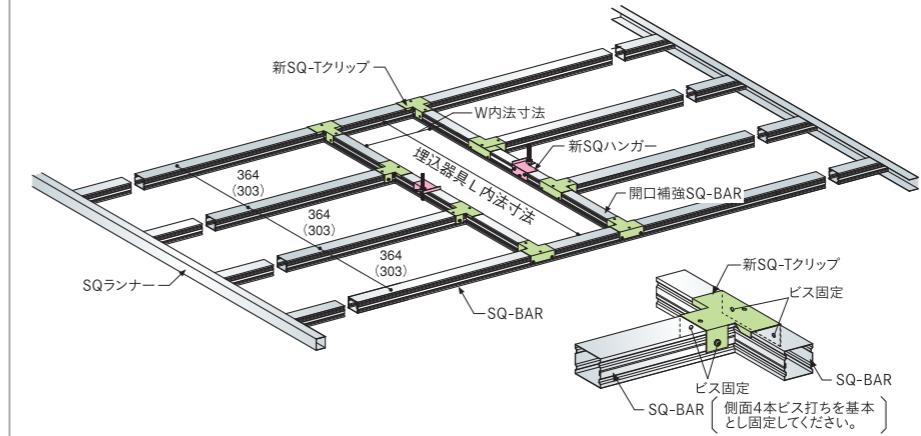
### SQ-CEILING SYSTEM 埋込器具、点検口及び開口補強 取付仕様

仕様材: 4020 4025 4040 4045 4050

※4040に各SQバーツを使用する場合は、かならずハゼ折り面を側面にして取付けてください。

単位:mm

#### ■器具の長手方向がSQ-BARの方向と直角の場合



#### 施工例



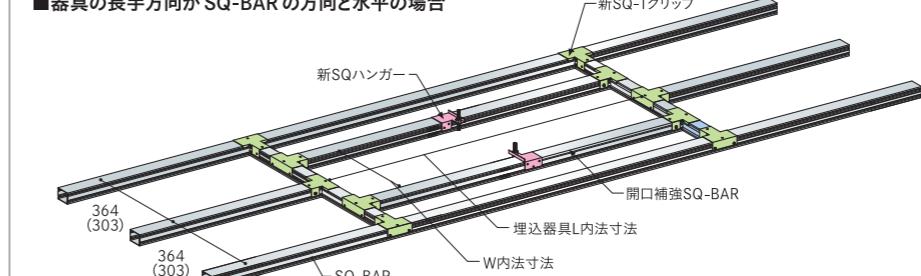
天井・壁工法

鋼製角型ラミネート・その他壁工法

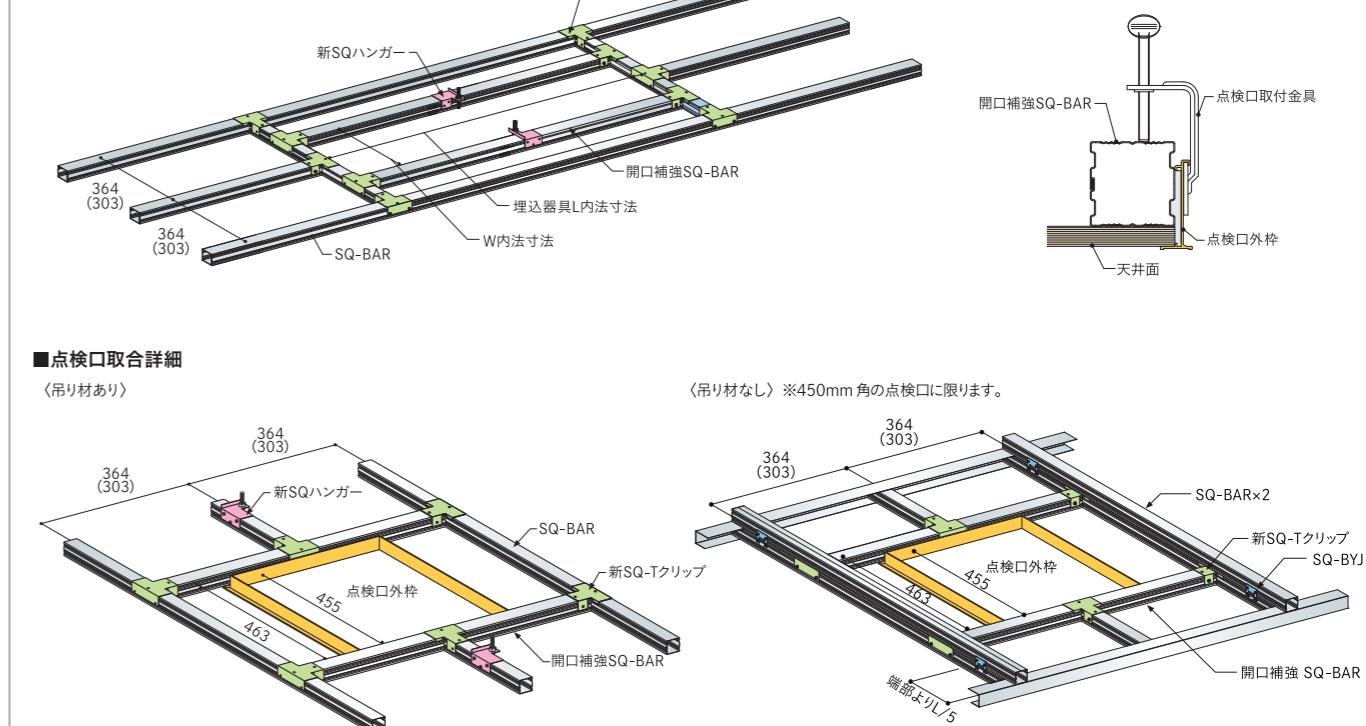
関連パーツ一覧

技術資料

#### ■器具の長手方向がSQ-BARの方向と水平の場合



#### ■点検口外枠取付詳細



#### SQ-CEILING SYSTEM SQランナー取付金具仕様

相手壁面	留金具
コンクリート	建設用鉄、コンクリート用アンカー及びプラグ
ALC、PC	ALCアンカー、専用ターボアンカー等
軽鉄骨仕切	薄板鉄板用固定ビス

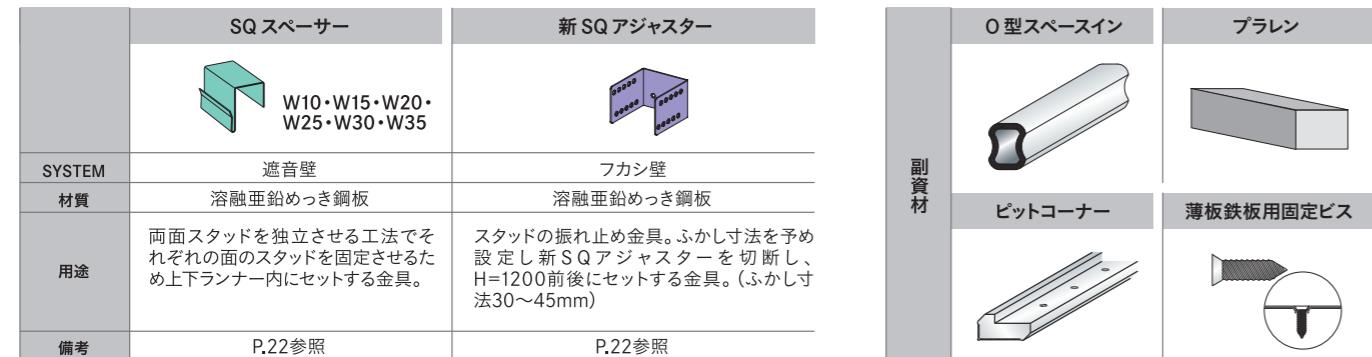
# SQ-BAR WALL SYSTEM

## 特徴

- 一般仕切壁 ●遮音間仕切り壁 ●フカシ壁、柱型廻り、ユニットバス廻り ●集合住宅、一般住宅、テナントに最適です。

スタッドの角型形状により、振れ止め、スペーサーの省略が可能になり、従来の鋼製下地材より効率的な施工が可能です。  
天井と同一の部材で施工が可能のため、小規模空間において施工性が向上します。

## WALL SYSTEM 使用部材

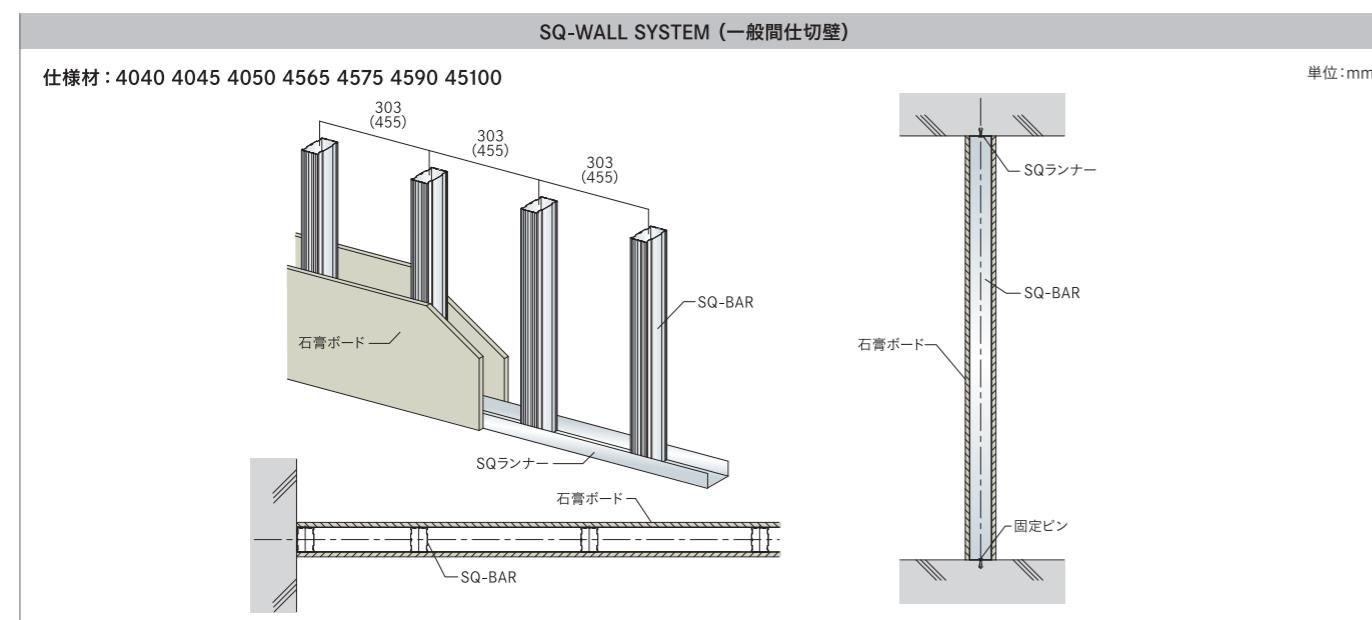


## 壁高さ(支持スパン)の目安

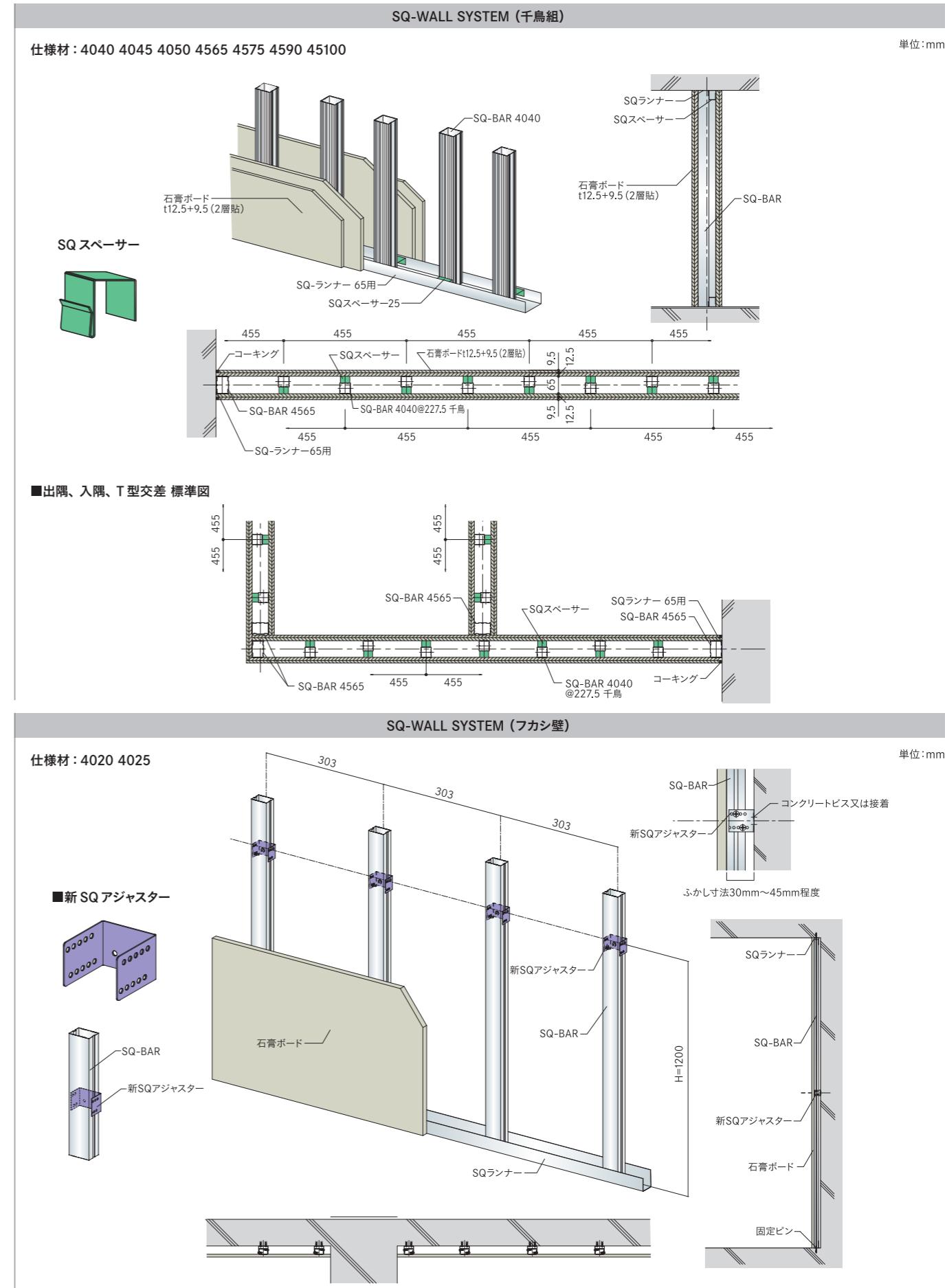


- ・SQ-BAR4040は仕上げ面側が弱軸になります。
  - ・内装壁の強度、剛性に公的な制限はありません。
  - ・支持スパンの目安は、集合住宅戸内を想定し、当社基準により定めた値です。
  - ・断面性能による計算結果と異なる場合があります。
  - ・片面仕上げの壁の場合は、SQ-BARのサイズを1つ大きいものにするか、施工ピッチを一段階狭くし、上表の数値をご採用ください。
  - ・支持スパンは床、天井に挟まる場合には床仕上げ面から天井仕上げ面までを壁高さと考えます。
- ※1 隣り合う部屋で床、天井のレベルが異なる場合には支持スパンの長い方を壁高さとします。

## 納まり図



## 納まり図



# SQ-PowerBar

## 振止め付角型スタッド

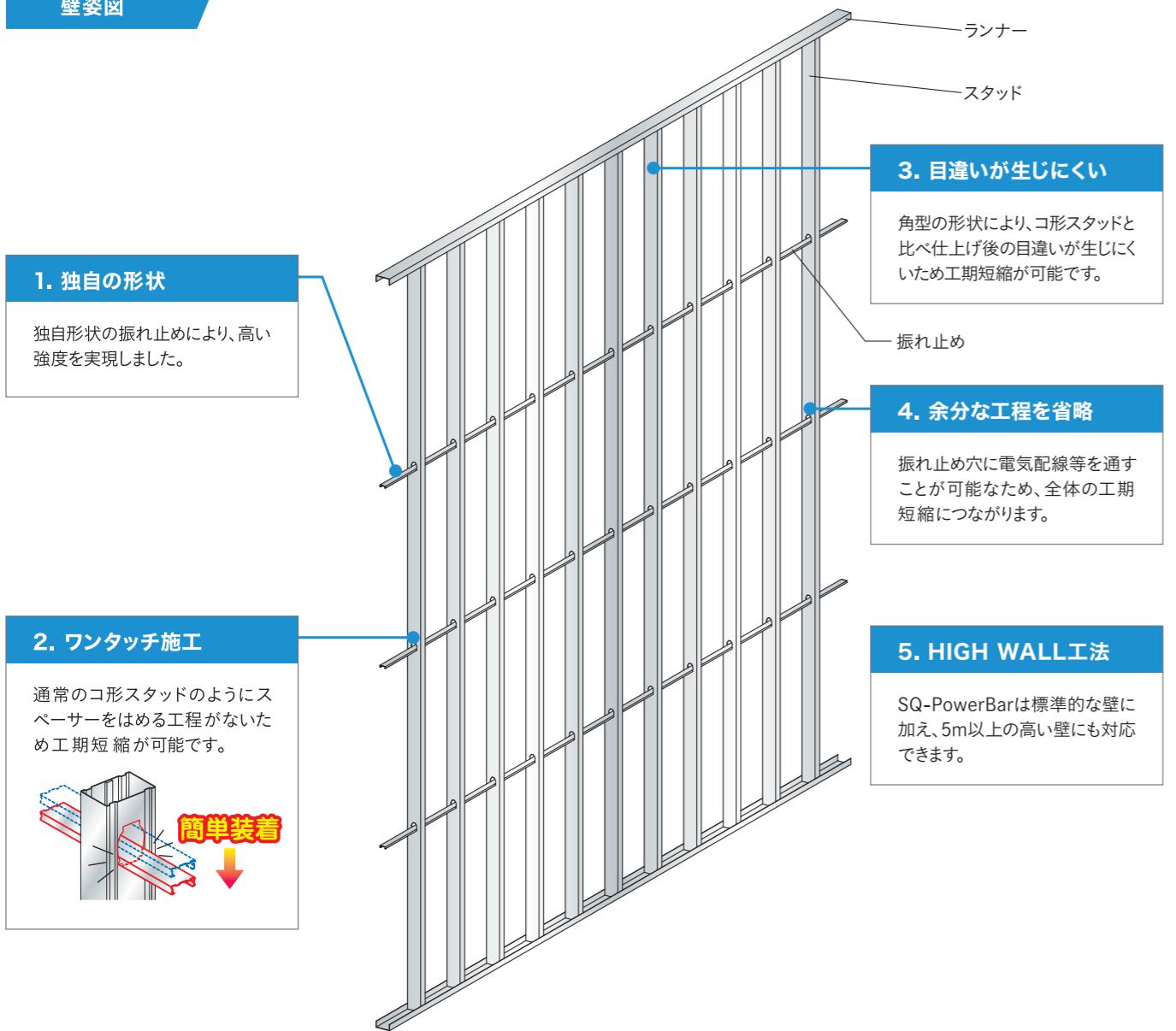
振止めの設置により壁下地の一体性を向上させた角型鋼製下地工法です。

### 主な用途

ホール・講堂・マンション等のエントランスホール、工場・倉庫、他

- 高い壁下地に対応
- 角型形状により、コ型形状と比べて仕上げ後の目違いが生じにくいため、工期短縮が可能です。

### 壁姿図

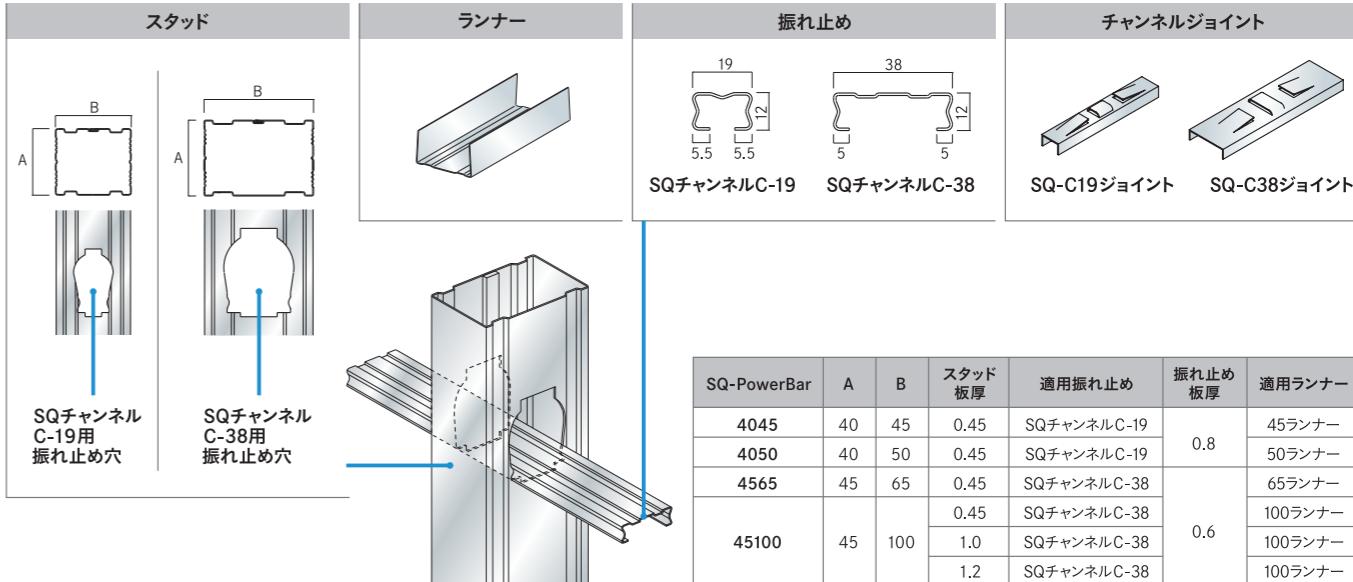


特許登録済

### 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

単位:mm



- ・SQ-PowerBar45100(1.0)及び(1.2)は断面形状が異なります。
- ・耐火仕様で振止めの板厚0.9mm以上の仕様は、別途ご相談ください。
- ・製造長さ、納期等については都度ご確認ください。
- ・ランナー板厚1.0mmの場合は、亜鉛鉄板折り曲げ加工又は、100CN10となります。
- ・ランナー板厚1.0mmの場合は、定尺が異なります。

### 施工例



# SQ-PowerBar

## 施工要領

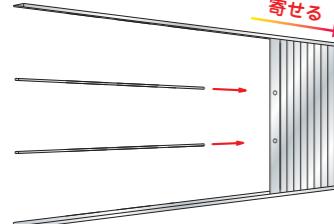
通常の施工は公共建築工事標準仕様書に準じて行います。

墨出しをする → ランナーを取付ける → SQ-PowerBarを建て込む → 振れ止めを通す → SQ-PowerBarに振れ止めを固定する

左右が壁の場合の施工の一例です。

1

ランナーと同じ長さ分の  
振れ止めを用意します。

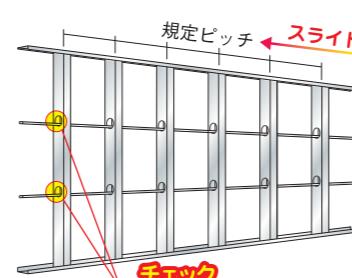


2

壁にSQ-PowerBarを建込み、  
端に寄せます。

3

振れ止めを通し、寄せてあつた  
SQ-PowerBarを規定のピッチに  
スライドさせます。



4

振れ止めを  
SQ-PowerBarの  
振れ止め穴に  
しっかりとめ込みます。  
(ワンタッチ施工)

※最後に振れ止めが全てしっかりと  
め込まれているか確認します。

## 一般事項

施工における一般的な事項については、「SQ工法施工要領書」および「標準施工要領書」に準じます。

なおSQ-PowerBarはJIS規格外品です。建築図書にJIS規格が指定されている場合や公共建築工事標準仕様書が採用されている場合にSQ-PowerBarを使用するには管理者の事前の承認が必要です。

またSQ-PowerBarによる工法では溶接による接合は不可とします。

## 部材の選定

5mを超える壁の施工に当たっては、事前に計算を行い、使用する部材、ピッチを選定します。

計算を行う際には、管理者と設計用水平震度、許容変位量等の指示をもらい、また計算結果については管理者の承認後に材料の発注を行います。

壁の許容変形量については仕上げ材の剥落を考慮して変形追従性について確認するようしてください。

なお特に指示がない場合は下記の条件で計算します。

設計用水平震度 1.0

地震時の慣性力による変形の許容変形量 壁高さの1/200以下

耐面外力 150kgf/m

耐面外力による変形の許容変形量 壁高さの1/200以下

## ランナーの固定

計算結果より選定されたランナーおよび固定ピッチを守ってランナーを軸体に固定します。

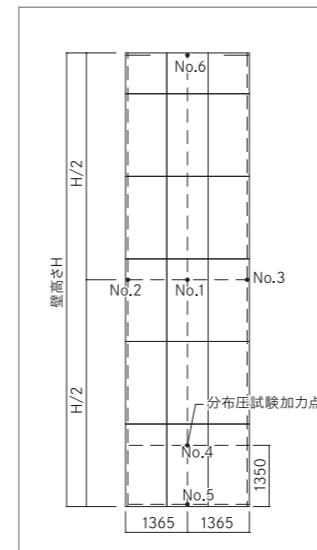
ランナーを固定するビスは計算に規定してある強度のものを使用します。

下部ランナーを固定する場合は所定の強度があれば打ち込みビンを使用して構いませんが、

上部ランナーについては、留め付け先の経年劣化等による外れを対策したい場合は、アンカーやビス等の引き抜き防止効果があるものを推奨します。

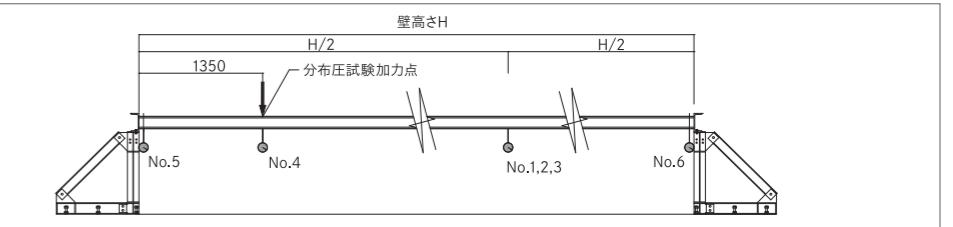
推奨品として日本パワーファスニング社「タップスター」をあげます。

## 試験結果



### 計測点

- No.1 試験体中央部  
No.2,3 試験体中間部両端部  
No.4 分布圧試験加力点  
No.5,6 ランナー固定部中央  
No.2,3,5,6は壁端部より  
50mm内側とする。



## 結果

### 試験仕様

試験体	内装壁(SQ-PowerBar45100 t1.0)	内装壁(SQ-PowerBar45100 t1.2)
寸法	高さ6000mm 幅2727mm 厚さ125mm	高さ8000mm 幅2727mm 厚さ125mm
スタッド	材種:SGCC(t1.0mm) 幅45mm 奥行100mm 間隔303mm	材種:SGCC(t1.2mm) 幅45mm 奥行100mm 間隔303mm
ランナー	材種:SGCC(t0.8mm) 幅102mm 立上り40mm JIS100ランナー	材種:SGCC(t0.8mm) 幅102mm 立上り40mm JIS100ランナー
面材	石膏ボード 厚さ12.5mm(両面張り)	石膏ボード 厚さ12.5mm(両面張り)
振れ止め	材種:SGCC(t0.6mm) 幅38mm 高さ12mm 間隔1200mm	材種:SGCC(t0.6mm) 幅38mm 高さ12mm 間隔1200mm
備考	振れ止めの製品名「SQチャンネルC-38」	振れ止めの製品名「SQチャンネルC-38」

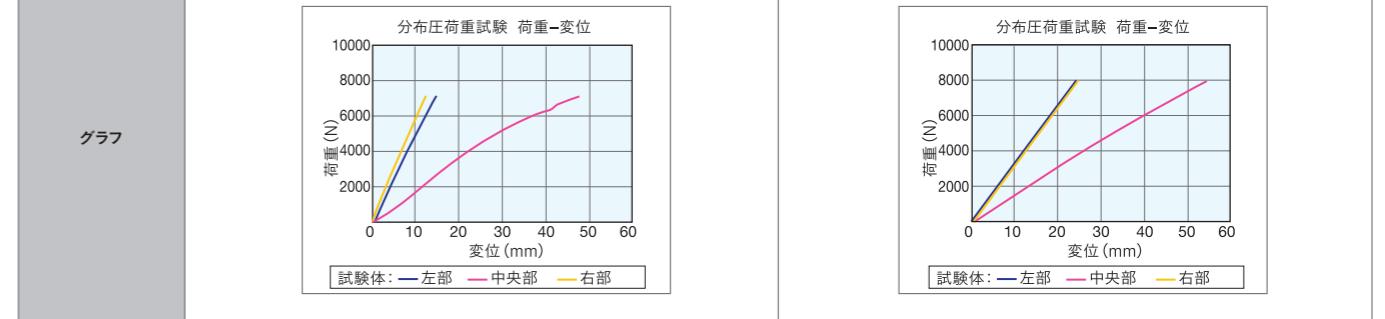
### 水平加速度1G 対応試験結果

試験体	内装壁(SQ-PowerBar45100 t1.0)			内装壁(SQ-PowerBar45100 t1.2)			
	変位位置	試験体左	中央部	試験体右	試験体左	中央部	試験体右
変位	7.8	21.0	6.1	30.0	31.8	29.3	
高さに対する比率	(1/769)	(1/286)	(1/984)	(1/267)	(1/252)	(1/273)	
備考	試験体:高さH=6000(mm)、幅W=2727(mm)						試験体:高さH=8000(mm)、幅W=2727(mm)

### 分布圧強さ試験結果

試験体	SQ-PowerBar45100(t1.0)		SQ-PowerBar45100(t1.2)	
	1765N時変位(mm)	10.0(1/600)	10.9(1/734)	
残留変位(mm)	0.8(1/7500)		1.0(1/8000)	
1765N時状況	異常なし		異常なし	
最大荷重(N)	7100Nまで載荷したが破壊しなかった		8000Nまで載荷したが破壊しなかった	
破壊状況	破壊なし		破壊なし	
備考	試験体:高さH=6000(mm)、幅W=2727(mm) 最大荷重は試験器具の関係により7100Nで終了 (括弧内の値は、高さに対する比率を表す)		試験体:高さH=8000(mm)、幅W=2727(mm) 最大荷重は試験器具の関係により8000Nで終了 (括弧内の値は、高さに対する比率を表す)	

### グラフ



# SQ-WALL2500工法(ソリーダ)

## 振れ止めなし角型スタッド

倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)に規定される2500N/m<sup>2</sup>の荷重に対応した振れ止め無しスタッド工法です。

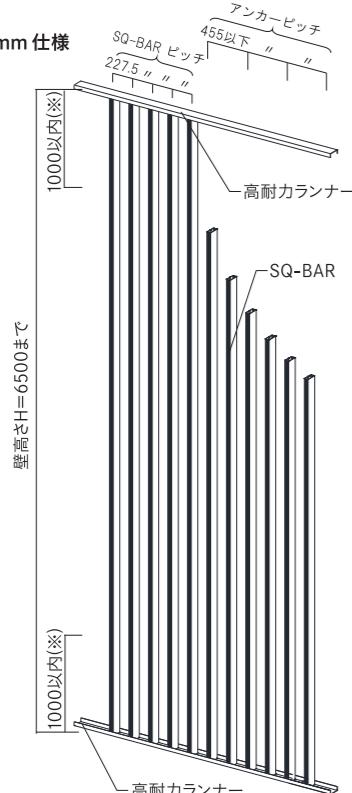
### 主な用途

倉庫、工場、エントランスホール、他

- おもりを載せて試験を行い、2500N/m<sup>2</sup>で重大な損傷、変形、外れがないことを確認しています。
- 壁高さ7.5m<sup>※2</sup>の下地として対応可能です。

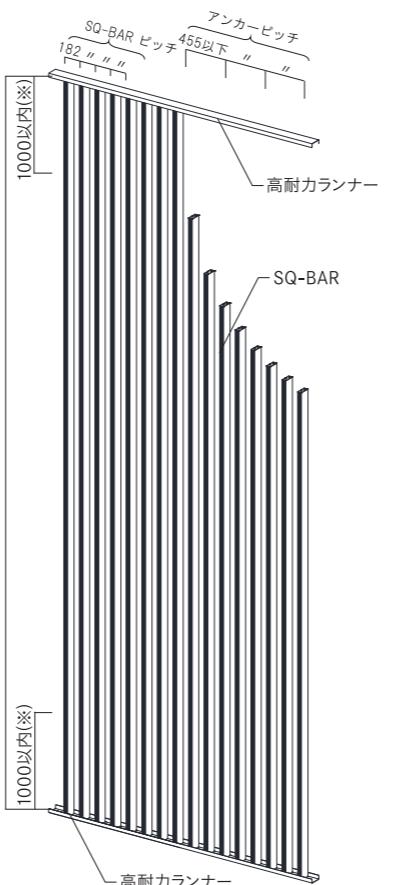
### 壁姿図

■SQ-BARピッチ227.5mm仕様  
壁高さ6500mm以下



\*電気配線等のためにSQ-BARに貫通孔を開ける際は、孔径や孔数、位置などの制限を標準図にてご確認ください。(壁姿図に一部記載)

■SQ-BARピッチ182mm仕様  
壁高さ7500mm以下



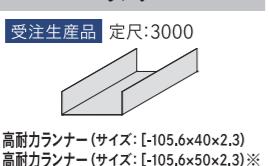
### 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

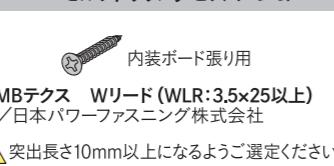
#### SQ-BAR



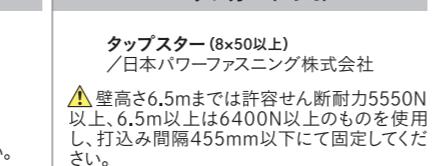
#### ランナー



#### セルフドリーリングビス(ご参考)



#### アンカー(ご参考)



単位:mm

倉庫業法(則第3条の4第2項第2号) 2500N/m<sup>2</sup>対応

SQ-BARピッチ227.5mm仕様

壁高さ 6500mm 以下

SQ-BARピッチ182mm 仕様

壁高さ 7500mm 以下

## 特徴

### 倉庫業法<sup>※1</sup>に対応

倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)に規定されている2500N/m<sup>2</sup>以上の積載荷重に耐えられる強度を有することを確認しました。

※1 倉庫業法とは、倉庫業の適正な運営が図られるべく制定されているものであり、平成14年4月には、物流の効率化、競争力の強化を図るべく、許可制から登録制への変更、料金事前届出制度の廃止、トランクルーム認定制度の法制化等、倉庫業法の一部が改正されました。(国土交通省ホームページより一部抜粋)

### 7.5m<sup>※2</sup>までの壁下地に対応 (7.5mまでの性能を確認しています。)

倉庫や工場、マンションやオフィスビルのエントランスホールでは壁高さが求められます。本工法はSQ-BARのピッチを狭め、密に配置することにより、7.5mまでの高さの壁下地として対応できます。

※2 壁高さが6.5mを超える際は、SQ-BARのピッチが182mmになります。

### 耐火構造工法にも対応

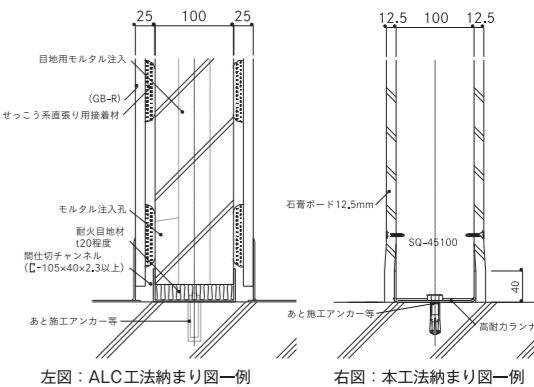
せっこうボードメーカーが取得している各種耐火認定工法と組み合わせることが可能です<sup>※3</sup>。また強化せっこうボード21mm片面2層張りの耐火認定工法を想定した試験体にて載荷試験を行い、2500N/m<sup>2</sup>で重大な損傷、変形、外れがないことを確認しています。

※3 耐火認定などの利用時は、各メーカーの認定仕様をご確認ください。

### 振れ止め無しで施工性UP

試験にて性能を確認しているため、振れ止めは必要ありません。これにより施工効率UPと全体工期の短縮に繋がります。

またALCで検討されている場合、せっこうボード貼になることで意匠性や設備設計の自由度が広がります。



軽量鉄骨下地材のみになるため、工事区分を同一とする事が可能です。

### 【施工上のご注意】

- 倉庫業法に対応する仕様は、壁姿図および部材一覧に示したものです。
- その他ご不明な点については、各支店やお問合せ窓口にお問合せください。

## 技術データ

### 試験1

#### 【試験方法】

壁を水平な状態に設置し、壁面上部に2500N/m<sup>2</sup>以上のおもりを載せ、重力により下方向に加力しました。

#### 【試験体概要】

- 幅455mm × 長さ6500mm SQ-BARピッチ227.5mm
- 幅455mm × 長さ7500mm SQ-BARピッチ182mm



表1 中央部たわみ測定結果

中央部たわみ( $\delta$ ) mm	
6500mm (@227.5mm)	7500mm (@182mm)
2503N/m <sup>2</sup> 載荷時	2506N/m <sup>2</sup> 載荷時
173.4 (1/37.5)	43.6 (1/149)

表1の通り、2500N/m<sup>2</sup>以上載荷時および除荷後のたわみの量を測定し、構成部材に重大な損傷、変形および外れの無いことを確認しました。これにより本壁下地組工法は倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)に規定されている2500N/m<sup>2</sup>以上の荷重に対して耐えられる強度を有していることを確認しました。

### 試験2

#### 【試験方法】JIS A 6517の規定に準じて載荷・衝撃試験を行いました。

#### 【試験体概要】幅910mm × 長さ5000mm

表2に示す通り、SQ-BARの配置ピッチを狭めたことにより、振れ止め無しでも従来のSQ-PowerBar工法と同等の性能を有していることを確認しました。

表2 たわみ測定結果

試験部材	振れ止め	耐衝撃荷重	
		載荷荷重	残留
SQ-PowerBar45100 (1.2)	SQチャネルC-38	0.3	2.1
SQ-WALL2500工法@227.5	無し	0.3	2.4
JIS規格値		2mm以下	10mm以下

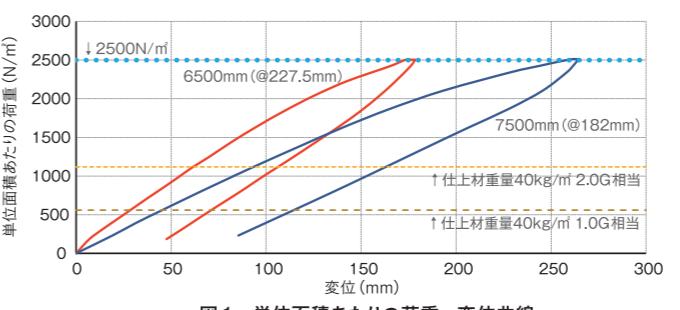


図1 単位面積あたりの荷重-変位曲線

# ソリーダ耐火 25

仕上げ材と組み合わせた仕様で耐火構造認定を取得

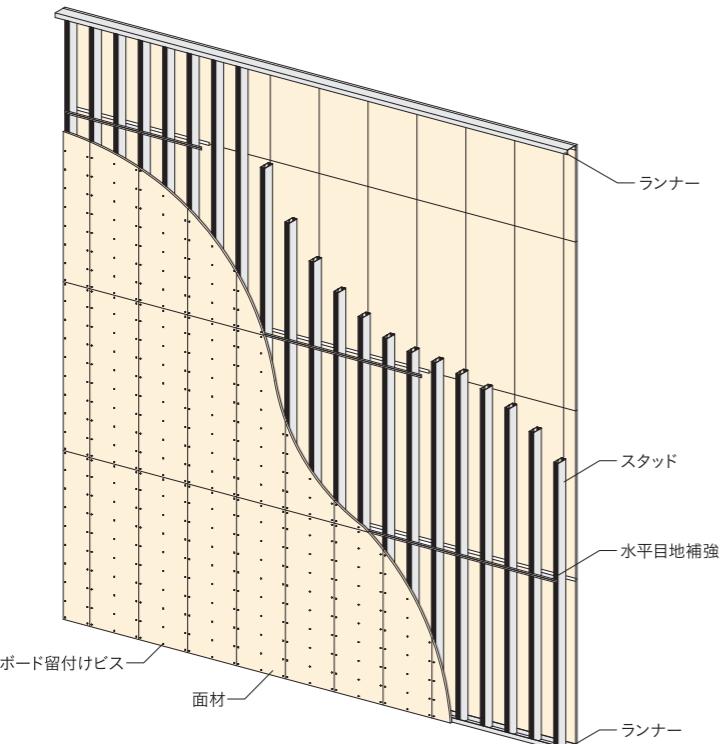
倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)に規定される2500N/m<sup>2</sup>の荷重に対応した振れ止め無しスタッド工法です。

## 主な用途

倉庫、工場、エントランスホール、他

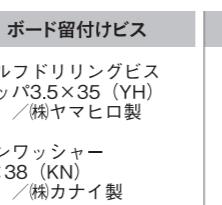
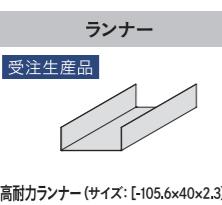
- 強化石膏ボード25mm 1枚張りで耐火構造認定を取得しています。  
※仕上げ材仕様は変更できません。
- スタッドピッチ202mmの場合壁高さ7.8m、スタッドピッチ303mmの場合壁高さ6.5mまで対応が可能で、スタッドピッチを広く取り、施工することができます。

## 壁姿図



## 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。



単位:mm

**その他**

詳細は施工要領書をご確認ください。  
 - 水平目地補強…チヨダワーテ(株)製  
 (T型金属ジョイナー)  
 - 四周処理…スキマナイト 等

倉庫業法(則第3条の4第2項第2号) 2500N/m<sup>2</sup>対応

SQ-BARピッチ303mm仕様

壁高さ 6500mm 以下

SQ-BARピッチ202mm 仕様

壁高さ 7800mm 以下

## 壁仕様

面材	強化セッコウボード タイプV25mm 606×1820mm 縦張り
ランナー	高耐力ランナー (サイズ:L-105.6x40x2.3)
スタッド	SQ-BAR D-100×45×1.2mm @202又は303mm
断熱材	なし (ありも可)
ボード留付けビス	セルフドリリングビス 留付けピッチ:@202mm以下 ラッパ 3.5×35 (YH) (株)ヤマヒロ シンワッシャー 4×38 (KN) KNフジニッティ(株)
水平目地補強	チヨダワーテ(株)製 (T型金属ジョイナー) 5×50×0.6mm
目地処理	不要 (隙間のないよう突きつけ張り)
四周処理	スキマナイト等

## 許容壁高さ

スタッド間隔	303mm	202mm
許容壁高さ	6500mm	7800mm

## 技術データ

### 試験

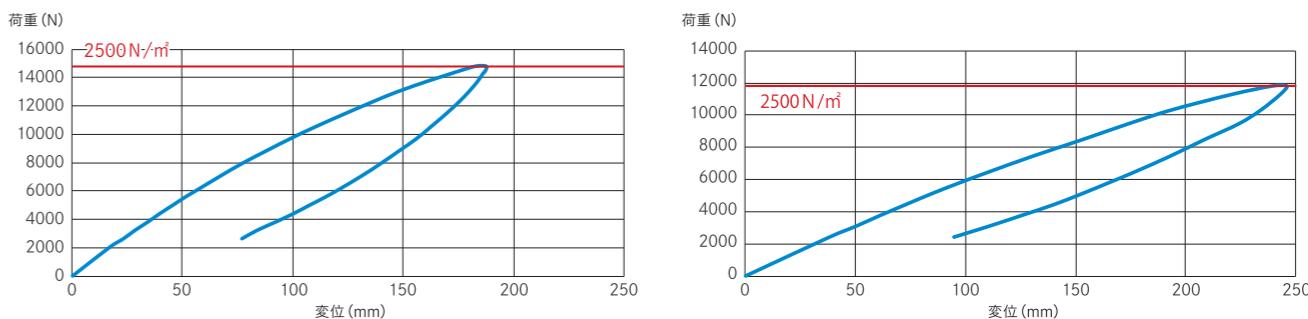
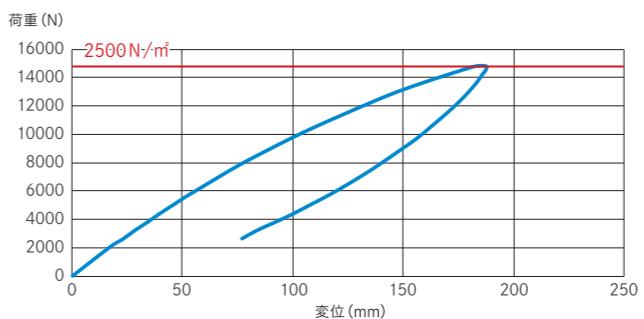
#### 【試験方法】

壁を水平な状態に設置し、壁面上部に2500N/m<sup>2</sup>以上のおもりを載せ、重力により下方向に加力しました。

#### 【試験体概要】

試験 1 幅606mm × 長さ6500mm SQ-BAR ピッチ303mm

試験 2 幅606mm × 長さ7800mm SQ-BAR ピッチ202mm



中央部たわみ ( $\delta$ ) mm			
6500mm (@303mm)		7800mm (@202mm)	
2500N/m <sup>2</sup> 積荷時	残留	2500N/m <sup>2</sup> 積荷時	残留
183.1 (1/35.5)	66.8 (1/97.3)	245.8 (1/31.7)	94.6 (1/82.5)

試験により、2500N/m<sup>2</sup>以上の載荷でも部材に重大な損傷・変形および外れがなく、倉庫業法に規定された2500N/m<sup>2</sup>の荷重に対応できることを確認しました。

#### 【留意事項】

- SQ-BARの長さは高耐力ランナー底部との隙間が原則10mm以内となるようにしてください。
- 高耐力ランナーを取り付ける軸部分は、十分な耐力及び剛性を有するものとしてください。
- 本工法は監理者の承認のもと施工してください。
- 施工上の注意点を考慮して施工計画書を作成の上、安全性に十分に配慮して施工してください。

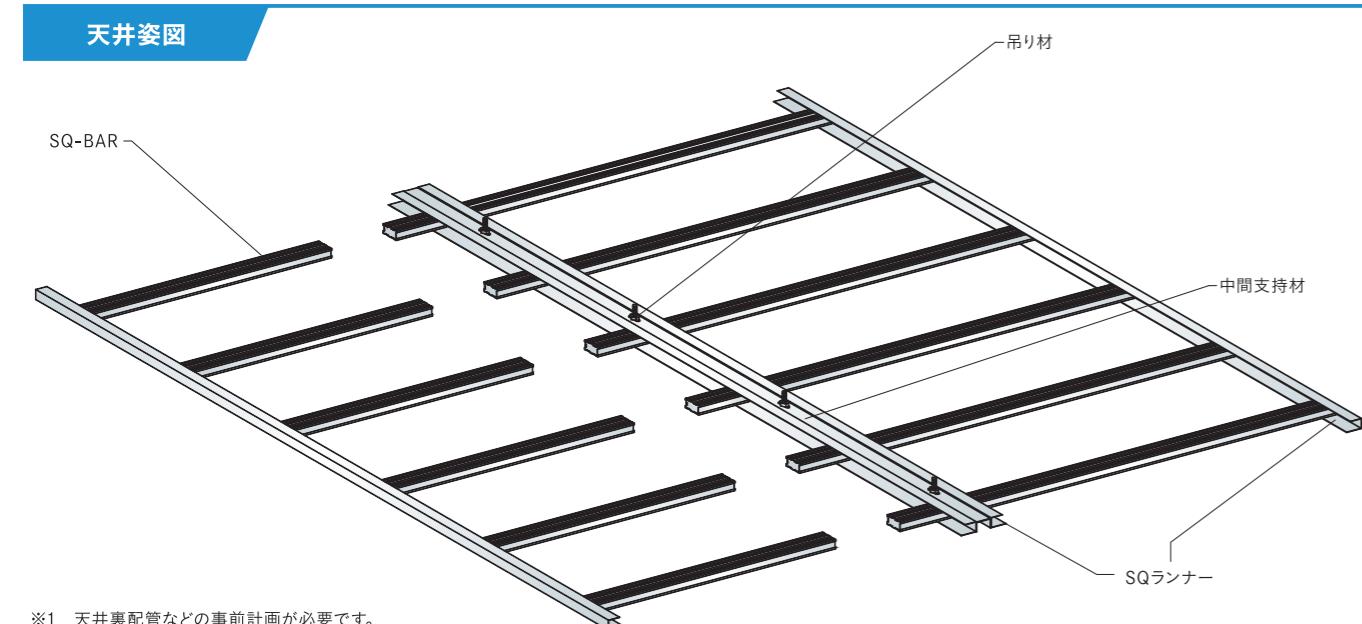
# SQスリムシーリング工法

## 居住空間を広げる設計が可能

天井ふとろ寸法を抑えられた天井設計に対応しています。

主な用途 集合住宅など

中間支持材を使用し、小サイズのSQ-BARで天井が施工できる工法です。  
従来のSQ工法に比べ天井ふとろ寸法を抑えられることで、広い居住空間の設計が可能です。  
スラブ下に断熱材がある場合も天井ふとろ寸法を調整することで対応可能です。



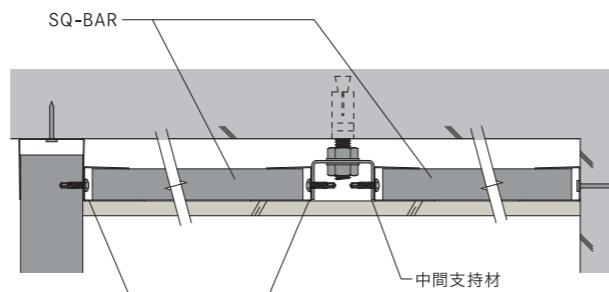
※1 天井裏配管などの事前計画が必要です。  
※2 事前にインサート、あと施工アンカーの計画が必要です。  
※3 居室の間口によって中間支持材が増える場合があります。

### 主な部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

<b>SQ-BAR</b>	<b>SQ-ランナー</b>
SQ-BAR4020 SQ-BAR4025	SQ-ランナー20 SQ-ランナー25
<b>中間支持材</b>	<b>吊り材</b>
受注生産品	3/8"吊りボルト 3/8"ナット、3/8"ワッシャー

### 断面図



天井ふとろ寸法を最小40mmにて施工が可能(仕上材厚さ含まず)

# SQスリムウォール工法

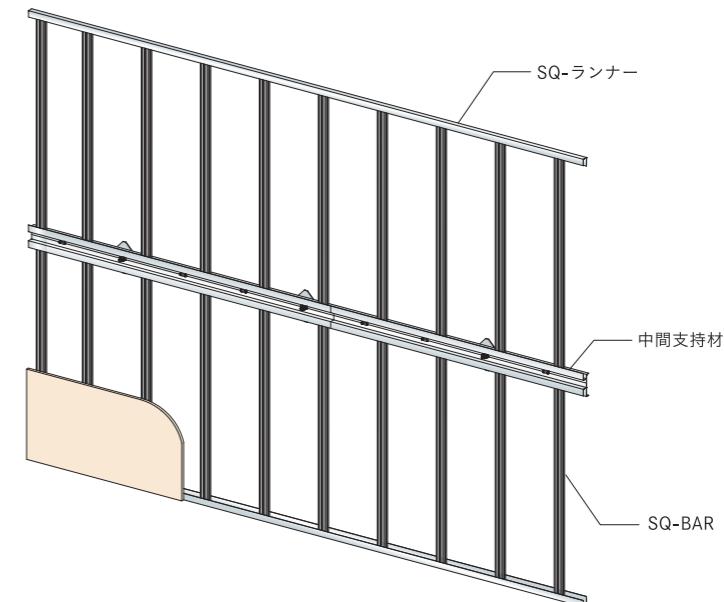
## 従来よりも施工性と強度を向上させたSQフカシ壁工法

強度を兼ね備えたフカシ壁工法です。

主な用途 集合住宅など

中間支持材を設置しSQ-BARを上下に分割することで、従来のSQフカシ壁よりも強度と施工性を向上させた工法です。  
また、フカシ壁のSQ-BARを分割することができる所以、エレベーター搬入が容易です。

### 壁姿図



### 主な部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

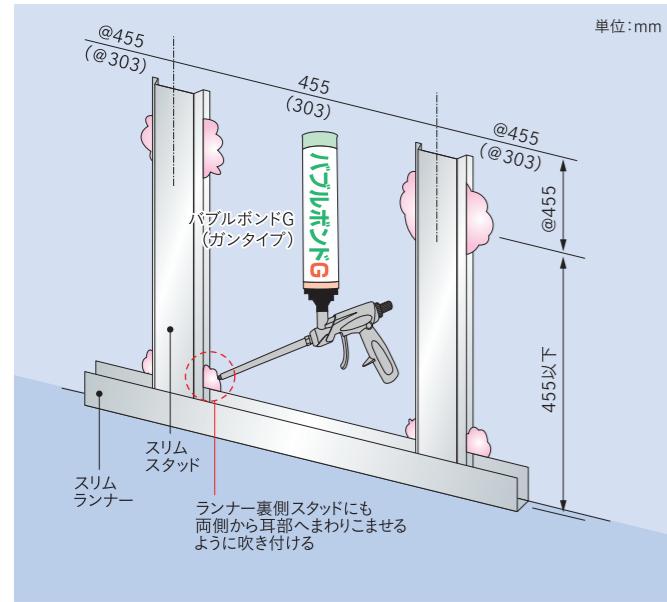
フカシ幅調整用ボルト	中間支持材	フカシ幅調整金具
3/8"ボルト、3/8"ナット 3/8"ワッシャー	受注生産品 SQスリムWall ハットバー SQ-ランナー	受注生産品 SQスリムWall レール
SQ-BAR	SQ-BAR	土台金具
SQ-ランナー20	山形タップ付角ワッシャー	セルフドリリングビス
SQ-BAR4020	KIRII耐震ビス PAN:4.2×16	

# カビノン工法（乾式壁工法）

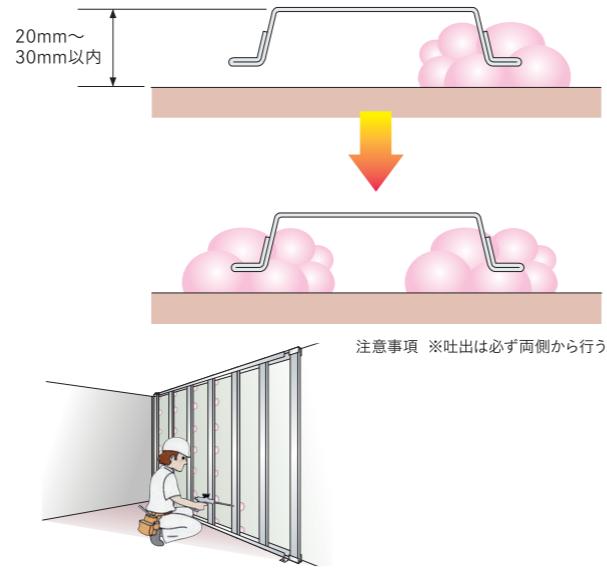
主な用途 廊下、階段スペース、他

- 薄い仕上がり：下地厚さは標準20mm～30mmまで自由な設定が可能です。
- 乾式工法：ウレタン接着剤使用のためカビの発生を抑えます。
- 抜群の施工性：1、ランナーの両端をピン又はアンカーで固定  
2、スリムスタッド建て込み後、ウレタン接着剤で固定  
3、ウレタン吐出後4時間でボード張り可能
- 広範囲の使用用途：RC、PC板、ALC板、ウレタンフォーム、スタイロフォーム、金属、コンパネなどの木材類に有効です。

## 概要図



## ■ウレタンの吐出方法



## 部材一覧

各製品の納期等は、別途お問い合わせください。

スリムスタッド	スリムランナー	スリムコーナー	定規バーサポート	カビノン工法部材
W45/64×H12×7 t0.6 L2500 L2700 L3000	W13.5×H30×20 t0.6 L3000	W38×H12 t0.6	プレート 50×50 ボルト M6 L150	バブルボンドG バブルボンドフラッシュ シルバーガン ウエス

# 関連パート一覧

# パート一覧 目次

吊り材	37
吊りボルト	3/8"吊りボルト・3/8"ナット 1/2"(4分)吊りボルト1/2"ナット
高耐食吊りボルト	3/8"吊りボルト・3/8"ナット(ダクロタイズ処理) 3/8"吊りボルト・3/8"ナット(ステンレス)
平座金	37
平座金	平座金
ナットゆるみ止め・脱落防止金具	37
ナットゆるみ止め・脱落防止金具	インスタンロック
ハンガー	38~40
JISハンガー	CC-19用ハンガー、CC-25用ハンガー
一般ハンガー	ハンガー
高耐食ハンガー	ハンガー(高耐食) ハンガー(ステンレス)
耐震ハンガー	RPハンガー RPフリーハンガー
防振ハンガー	防振TOBANハンガー 桐井防振ハンガー(直吊りタイプ) 圧縮型防振ハンガー(YCシールハンガー) 二重天井等の吊りボルト貫通穴ふさぎ部材(シールブロック)
その他ハンガー	ミニハンガー ボックスハンガー フリーハンガー LGハンガー(ビス付ハンガー)
野縁受け	41
JIS野縁受け	CC-19 CC-25
一般野縁受け	C38チャンネル C19チャンネル C25チャンネル C40×20チャンネル C40×20リップ付チャンネル
高耐食野縁受け	C38チャンネル(高耐食) C38チャンネル(ステンレス)
野縁	42~43
JIS野縁	CS-19 CW-19 CS-25 CW-25
一般野縁	19形Sバー スリット付野縁(ダイレクトSバー) 19形Wバー スリット付野縁(ダイレクトWバー) 25形Wバー(0.8) 25形Sバー(0.8)
高耐食野縁	Sバー(高耐食) Wバー(高耐食) Sバー(ステンレス) Wバー(ステンレス)
野縁受けジョイント	43
JISジョイント	CC-19用ジョイント CC-25用ジョイント
一般ジョイント	チャンネルジョイント
高耐食ジョイント	チャンネルジョイント(高耐食) チャンネルジョイント(ステンレス)

野縁ジョイント	44
JISジョイント	CS-19用ジョイント CW-19用ジョイント CS-25用ジョイント CW-25用ジョイント
一般ジョイント	Sジョイント Wジョイント
高耐食ジョイント	Sジョイント(高耐食) Wジョイント(高耐食) Sジョイント(ステンレス) Wジョイント(ステンレス)
特殊ジョイント	45
特殊ジョイント	LGジョイント 特殊チャンネルジョイント クロスジョイントWS クロスジョイントWW RPチャンネルジョイント(C38) C40用Powerジョイント 25形Sバー(0.8)ジョイント 25形Wバー(0.8)ジョイント
クリップ	45~46
JISクリップ	CS-19用クリップ CW-19用クリップ CS-25用クリップ CW-25用クリップ
一般クリップ	Sクリップ Wクリップ
高耐食クリップ	Sクリップ(高耐食) Wクリップ(高耐食) Sクリップ(ステンレス) Wクリップ(ステンレス)
耐風圧クリップ	耐風圧Sクリップ 耐風圧Wクリップ
耐震クリップ	RP-Sクリップ RP-Wクリップ
クリップ補強	47
クリップ補強	RP-Sカバー RP-Wカバー Revolveロック
特殊クリップ	47~48
特殊クリップ	特殊クリップ(D鋼用) 特殊クリップ(コ鋼用)
特殊クリップ	十字止め金具60×30 ワイヤークリップ ワイヤークリップワイド ビス固定式振れ止めクリップ Revolveクリップ
耐震補強金具	48
ハンガーロック	ハンガーロック
斜め部材(プレース) 下部取付金具	プレース金具RP
水平補強、斜め補強用金具	49
チャンネルホルダー	チャンネルホルダー チャンネルホルダー-C-19-C-25
ボルトホルダー	ボルトホルダー
斜め部材(プレース) 上部取付金具	UE-box プレース金具KF TPプレース(羽子板ボルト同梱)
クロス金具	50
チャンネルクロス金具	チャンネルクロス金具 40×20クロス金具
吊元金具	50
吊元金具	LGフック LGフック補強金具 Power-LGフック LGフック(大) LGフック(木用) 吊元ロック 新吊元ロック
アングルピース	アングルピース

角パイプ	51
圧縮補強材	角パイプ19×19×1.2 角パイプ19×19×1.6 角パイプ25×25×1.6
高耐食圧縮補強材	角パイプ19×19×1.2(高耐食) 角パイプ19×19×1.6(高耐食) 角パイプ25×25×1.6(高耐食)
丸パイプ	51
圧縮補強材	丸P1.6×φ19.1
角型スタッド	52
SQ-BAR	SQ-BAR4020 SQ-BAR4025 SQ-BAR4040 SQ-BAR4045 SQ-BAR4050 SQ-BAR4565 SQ-BAR4575 SQ-BAR4590 SQ-BAR45100
角型スタッド用ランナー	52
SQランナー	SQ-ランナー20 SQ-ランナー25 SQ-ランナー40 SQ-ランナー45 SQ-ランナー50 SQ-ランナー65 SQ-ランナー75 SQ-ランナー90 SQ-ランナー100
SQ-BAR関連部材	53
SQ-BAR関連部材	SQスペーサー 新SQアジャスター SQクリップ 新SQハンガー 新SQ-Tクリップ SQ-BYJ
副資材	O型スペースイン
スタッド	54~55
JISスタッド	WS-50 WS-65 WS-75 WS-90 WS-100
一般スタッド	40形間仕切 45形間仕切 50形間仕切 65形間仕切 75形間仕切 90形間仕切 100形間仕切
高耐食スタッド	スタッド(高耐食) スタッド(ステンレス)
ランナー	55~56
JISランナー	WR-50 WR-65 WR-75 WR-90 WR-100
一般ランナー	20ランナー 25ランナー 40ランナー 45ランナー 50ランナー 65ランナー 75ランナー 90ランナー 100ランナー
高耐食ランナー	ランナー(高耐食) ランナー(ステンレス)

補強材	57~58
一般構造用軽量形鋼 (リップ溝形鋼)	(JIS) 60×30×10×1.6 (JIS) 60×30×10×2.3 (JIS) 65×30×10×1.6 (JIS) 65×30×10×2.3 (JIS) 75×45×15×1.6 (JIS) 75×45×15×2.3 (JIS) 90×45×15×2.3 (JIS) 100×50×20×1.6 (JIS) 100×50×20×2.3
補強材	40補強材 40×20×10×1.6 45補強材 50補強材 65補強材 75補強材 75補強材×1.6 90補強材 90補強材×1.6 100補強材
高耐食補強材	補強材(高耐食) 補強材(ステンレス)
振れ止め	59
JIS振れ止め	WB-19 WB-25
一般振れ止め	振れ止めチャンネル
高耐食振れ止め	振れ止めC38チャンネル(高耐食) 振れ止めC38チャンネル(ステンレス)
スペーサー	59~60
JISスペーサー	スペーサー
一般スペーサー	スペーサー金具
高耐食スペーサー	スペーサー(高耐食) スペーサー(ステンレス)
SQ-PowerBar部材	60~61
スタッド	SQ-PowerBar4045 SQ-PowerBar4050 SQ-PowerBar4565 SQ-PowerBar45100
ランナー	ランナー(SQ-PowerBar用)
振れ止め	SQチャンネル
チャンネルジョイント	SQチャンネルジョイント
SQ-WALL2500工法部材	61
スタッド	SQ-BAR45100(1.2)
ランナー	高耐力ランナー
SQスリムシーリング工法部材	62
中間支持材	SQ-スリムレール
SQスリムウォール工法部材	62
中間支持材	SQスリムWallハットバー SQスリムWallレール
フカン幅調整金具	SQスリムWallプレート
土台金具	山形タップ付角ワッシャー
カビノン工法部材	63
スタッド	スリムスタッド スリムコーナー
スリムランナー	スリムランナー
カビノン工法部材	カビノン工法部材 定規バーサポート(プレート) 定規バーサポート(ボルト)
その他金具	64
下り壁金具	クロスクリップ(C-38用) 下がり壁継手(フリー) 下がり壁継手(90°)
アングルピース	アングルピース
先行ピース取付用金具	C75キャッチャー
足場用金具	ASクラップ(ハンガー上部取付・足場板用) ASクラップ-M(吊りボルト中間部取付・手すり用) ASクラップ-MS(吊りボルト中間部取付・足場板用)

## 吊り材

### 吊りボルト

#### 3/8"吊りボルト・3/8"ナット



**材質**  
JIS G 3505  
軟鋼線材 同等以上

**【注記】**  
JIS H 8610に規定する1級以上、  
JIS H 8625に規定する1級CM1A以上

**JIS規格品**

#### 1/2"(4分)吊りボルト 1/2"ナット

**主な使用工法**

- 建築用鋼製天井下地材
- 新耐震FullPower天井
- その他吊り天井工法全般

### 高耐食吊りボルト

#### 3/8"吊りボルト・3/8"ナット(ダクロタイズド処理)



**材質**  
JIS G 3505  
軟鋼線材 同等以上  
ダクロタイズド処理

#### 3/8"吊りボルト・3/8"ナット(ステンレス)

**主な使用工法**

- 高耐食性天井下地材
- 耐風圧天井TOBAN 他

## 平座金

### 平座金

#### 平座金

**サイズ、ラインアップ**

外形22mm、板厚1.0mm  
外形30mm、板厚1.0mm  
外形40mm、板厚1.0mm その他

**【注記・その他】**  
※緩み止め対策を施す場合はバネ座金を使用してください。

## ナットゆるみ止め・脱落防止金具

### ナットゆるみ止め・脱落防止金具

**主な使用工法**

- 耐風圧天井TOBAN 他

### インスタントロック



**材質**  
JIS G 4314  
SUS304 WPB

**【備考】**  
製造元：株式会社アドバネクス

**【注記】**  
3分ボルト、3分ナットで使用可能

## ハンガー

### JISハンガー

**JIS規格品****材料規格**

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用  
SGHC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

### CC-19用ハンガー、CC-25用ハンガー

**入数****板厚**

300個 2.0mm



**【注記・その他】**  
CC-19用、CC-25用共用  
※通常使用時はビス留め不要

### 一般ハンガー

**材料規格**

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用  
SGC340～570高強度一般用  
SGHC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

### ハンガー

**入数**

300個



### 高耐食ハンガー

**主な使用工法**

- 高耐食性天井下地材
- 耐風圧天井TOBAN 他

### ハンガー(高耐食)

**入数**

300個

**材質/めっき厚**  
溶融亜鉛アルミニウム  
マグネシウム合金めっき鋼板、K27



### ハンガー(ステンレス)

**入数**

300個

**材質**

SUS304



### 耐震ハンガー

**材料規格**

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGHC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

### RPハンガー

**ラインアップ:入数**

3.2mm

79.6-79.9 (C-38用)  
80-80.3 (C-40用)

- 3分用 (C-38) :120個
- 3分用 (C-40×20):100個
- 4分用 (C-38) :120個
- 4分用 (C-40×20):100個

### RPフリーハンガー

**ラインアップ:入数**

3.2mm

82 (C-38用)  
85 (C-40用)

- 3分用 (C-40×20):100個
- 4分用 (C-38) :100個
- 4分用 (C-40×20):100個

## ハンガー

### 防振ハンガー

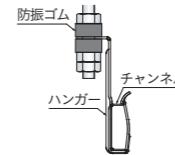
#### 防振TOBANハンガー

共同開発品 ヤクモ株式会社



タイプ	防振性能					1箱数量
	使用荷重	許容荷重	静的ばね定数	動的倍率		
YH-15ST	50N~130N	150N	40N/mm	1.1		20ヶ
YH-30ST	120N~250N	300N	64N/mm	1.4		

#### 桐井防振ハンガー(直吊りタイプ)



**【特長】**  
ハンガーと防振ゴムの一体化により、通常のハンガー取付けと同様に野縁受けを簡単に直吊りできます。

**【使用荷重】**  
~98N (10kgf)

#### 圧縮型防振ハンガー(YCシールハンガー)



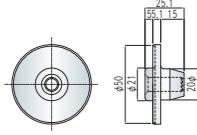
寸法表

タイプ	寸法 (mm)				適用ボルト (共通)	推奨荷重 N	静的ばね定数 N/mm(kgf/cm)	許容荷重 N
	A	B	H	D				
YC-30S	30	35	60	30	M10	3/8"	110~250	100(102)
YC-30W	35	35	90	30	M10	3/8"	110~250	50(51)

動的倍率 1.5

※ハンガー1個あたりにかかる荷重を確認の上、使用する防振ハンガーのタイプを選定してください。

#### 二重天井等の吊りボルト貫通穴ふさぎ部材 (シールブロック)



この商品は貫通穴ふさぎ部材ですので荷重を支持することはできません。

## ハンガー

### その他ハンガー

#### 材料規格

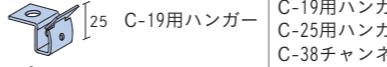
JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGHC 一般用

防錆処理 めっきの両面付着量:Z12

#### 主な使用工法

・建築用鋼製天井下地材  
他

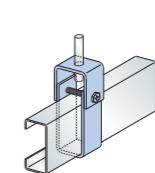
#### ミニハンガー



#### ラインアップ:入数

C-19用ハンガー :400個  
C-25用ハンガー :500個  
C-38チャンネル用:300個

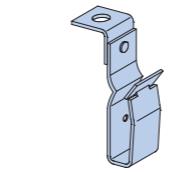
#### ボックスハンガー



#### ラインアップ:入数

ライトゲージ	入数
60×30×10	100個
65×30×10	100個
75×45×15	50個
100×50×20	50個

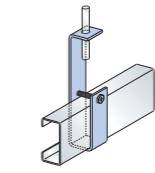
#### フリーハンガー



#### 入数

250個

#### LGハンガー(ビス付ハンガー)



#### ラインアップ:入数

ライトゲージ 及びチャンネル	品名	入数 (内折れ)	入数 (外折れ)
C-38	ビス付ハンガー	200個	200個
40×20	ビス付ハンガー	200個	200個
60×30×10	ビス付ハンガー	100個	100個
65×30×10	LGハンガー	100個	100個
75×45×15	LGハンガー	100個	100個
100×50×20	LGハンガー	50個	50個

【注記・その他】  
ビス付

天井・壁工法

関連バーツ一覧

技術資料

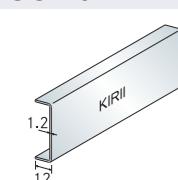
## 野縁受け

### JIS野縁受け

JIS規格品

材料規格			防錆処理		
JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 SGCC 一般用			めっきの両面付着量:Z12		

CC-19



サイズ

C-38×12×1.2

定尺

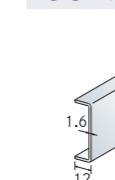
4000mm

5000mm

板厚

1.2mm

CC-25



サイズ

C-38×12×1.6

4000mm

5000mm

定尺

4000mm

5000mm

板厚

1.6mm

### 一般野縁受け

材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SGCC 一般用  
SGC340~570 高強度一般用  
SGHC 一般用  
SGH340~540 高強度一般用

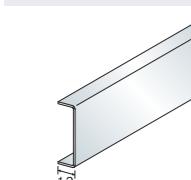
防錆処理

めっきの両面付着量:Z08  
※一部例外あり

主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材
- 耐風圧天井TOBAN
- 他

C38チャンネル



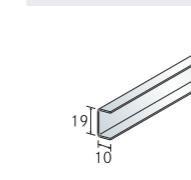
サイズ

38×12

定尺

5000mm

C19チャンネル



サイズ

19×10×1.0

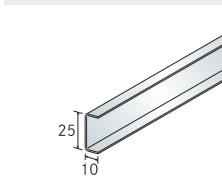
定尺

4000mm

板厚

0.5mm

C25チャンネル



サイズ

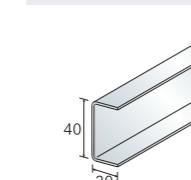
25×10×1.0

定尺

4000mm

5000mm

C40×20チャンネル



サイズ

40×20×1.6

定尺

5000mm

板厚

1.6mm

【注記・その他】

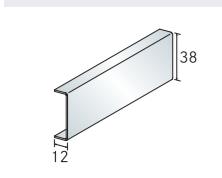
めっきの両面付着量:Z12

### 高耐食野縁受け

主な使用工法

- 高耐食性天井下地材
- 耐風圧天井TOBAN
- 他

C38チャンネル(高耐食)



サイズ、ラインアップ

38×12×1.0

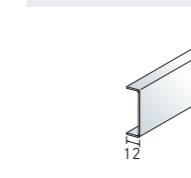
38×12×1.2

38×12×1.6

材質/めっき厚

溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

C38チャンネル(ステンレス)



サイズ、ラインアップ

38×12×1.0

38×12×1.5

材質

SUS304

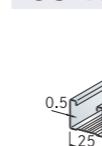
## 野縁

### JIS野縁

JIS規格品

材料規格			防錆処理		
JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 SGCC 一般用			めっきの両面付着量:Z12		

CS-19



サイズ

19×25×0.5

定尺

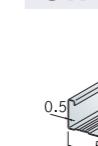
4000mm

5000mm

板厚

0.5mm

CW-19



サイズ

19×50×0.5

定尺

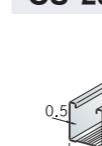
4000mm

5000mm

板厚

0.5mm

CS-25



サイズ

25×25×0.5

定尺

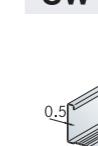
4000mm

5000mm

板厚

0.5mm

CW-25



サイズ

25×50×0.5

定尺

4000mm

5000mm

板厚

0.5mm

### 一般野縁

材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SGCC 一般用  
SGC340~570高強度一般用

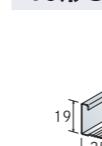
防錆処理

めっきの両面付着量:Z08  
※一部例外あり

主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材
- 耐震Power天井
- 他

19形Sバー



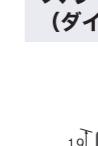
サイズ

19×25

定尺

5000mm

スリット付野縁  
(ダイレクトSバー)



サイズ

19×25

定尺

5000mm

19形Wバー



サイズ

19×50

定尺

5000mm

スリット付野縁  
(ダイレクトWバー)



サイズ

19×50

定尺

5000mm

25形Wバー(0.8)



サイズ

25×50×0.8

板厚

0.8mm

【注記・その他】

めっきの両面付着量:Z12

25形Sバー(0.8)



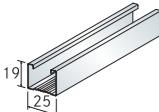
サイズ

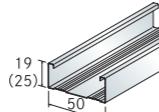
## 野縁

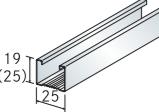
## 高耐食野縁

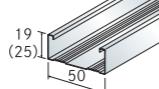
## 主な使用工法

- ・高耐食性天井下地材
- ・耐風圧天井TOBAN  
他

Sバー(高耐食)	サイズ、ラインアップ	材質/めっき厚
	19×25×0.4 19×25×0.5	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

Wバー(高耐食)	サイズ、ラインアップ	材質/めっき厚
	19×50×0.4 19×50×0.5 25×50×0.8	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

Sバー(ステンレス)	サイズ、ラインアップ	材質
	19×25×0.4 25×25×0.5	SUS304

Wバー(ステンレス)	サイズ、ラインアップ	材質
	19×50×0.4 25×50×0.5	SUS304

## 野縁受けジョイント

## JISジョイント

JIS規格品

材料規格
JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶 SGCC 一般用

防錆処理 めっきの両面付着量:Z12

主な使用工法
・建築用鋼製天井下地材 ・新耐震FullPower天井 他

## CC-19用ジョイント

入数

板厚



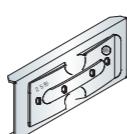
300個

1.0mm

## CC-25用ジョイント

入数

板厚



300個

1.0mm

## 一般ジョイント

## 材料規格

JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶 SGCC 一般用
---

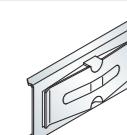
防錆処理 めっきの両面付着量:Z08

主な使用工法
・建築用鋼製天井下地材 他

## チャンネルジョイント

入数

板厚

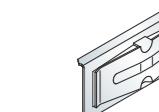


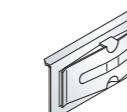
300個

## 高耐食ジョイント

## 主な使用工法

- ・高耐食性天井下地材
- ・耐風圧天井TOBAN  
他

チャンネルジョイント(高耐食)	入数	材質/めっき厚
	300個	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

チャンネルジョイント(ステンレス)	入数	材質
	300個	SUS304

## 野縁ジョイント

## JISジョイント

JIS規格品

材料規格
JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶 SGCC 一般用

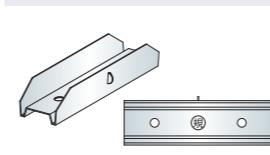
防錆処理 めっきの両面付着量:Z12

主な使用工法
・建築用鋼製天井下地材 ・新耐震FullPower天井 他

## CS-19用ジョイント

入数

板厚



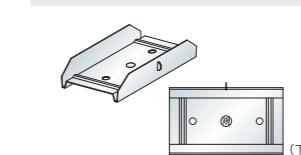
400個

0.5mm

## CW-19用ジョイント

入数

板厚



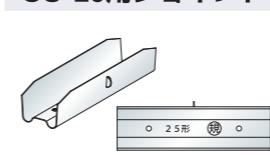
200個

0.5mm

## CS-25用ジョイント

入数

板厚



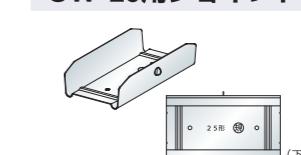
300個

0.5mm

## CW-25用ジョイント

入数

板厚



160個

0.5mm

## 一般ジョイント

## 材料規格

JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶 SGCC 一般用
---

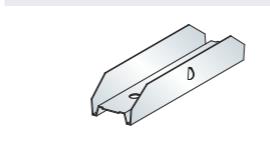
防錆処理 めっきの両面付着量:Z08

主な使用工法
・建築用鋼製天井下地材 他

## Sジョイント

入数

板厚

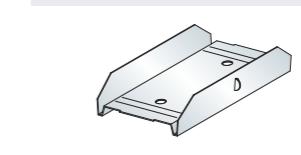


400個

## Wジョイント

入数

板厚



200個

0.5mm

## 高耐食ジョイント

主な使用工法
・高耐食性天井下地材 ・耐風圧天井TOBAN 他

## Sジョイント(高耐食)

入数

材質/めっき厚



400個

溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27
-------------------------------

## Wジョイント(高耐食)

入数

材質/めっき厚



200個

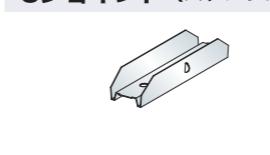
溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27
-------------------------------

【注記・その他】  
25形Wバーのジョイント耐食表面処理です。

## Sジョイント(ステンレス)

ラインアップ:入数

材質



19形用:400個

25形用	受注生産品
------	-------

受注生産品

19形用:200個

25形用	受注生産品
------	-------

受注生産品

## Wジョイント(ステンレス)

ラインアップ:入数

材質

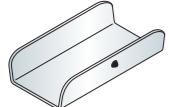


SUS304

## 特殊ジョイント

### 特殊ジョイント

#### LGジョイント

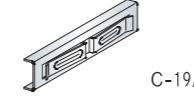


##### ラインアップ:入数

LG60×30×10用 :100個  
LG75×45×15用 :50個  
LG100×50×20用:25個  
LG65×30×10用 :100個

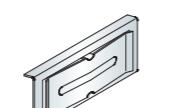
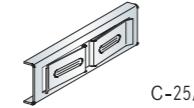
**【使用方法】**  
ライトゲージ同士をつなぐ金具

#### 特殊チャンネルジョイント

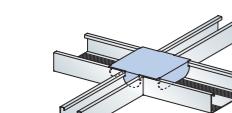


C-19用:500個  
C-25用:500個  
C-40用:200個

**【使用方法】**  
チャンネル同士をつなぐ金具



#### クロスジョイントWS



##### 入数

300個

**【使用方法】**  
SバーとWバーを十字に交差させ固定する金具

#### RPチャンネルジョイント(C38)



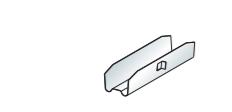
##### ラインアップ

C38用

##### 入数

100個

#### 25形Sバー(0.8)ジョイント



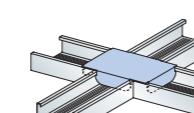
##### 入数

300個

##### 板厚

0.5mm

#### クロスジョイントWW

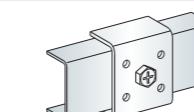


##### 入数

250個

**【使用方法】**  
Wバー同士を十字に交差させ固定する金具

#### C40用Powerジョイント



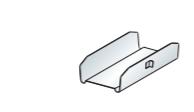
##### ラインアップ

C40用

##### 入数

100個

#### 25形Wバー(0.8)ジョイント



##### 入数

200個

##### 板厚

0.5mm

## クリップ

### JISクリップ

#### JIS規格品

**材料規格**  
JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

**主な使用工法**  
・建築用鋼製天井下地材  
・耐震Power天井  
他

#### CS-19用クリップ



##### 入数

1000個

##### 板厚

0.6mm

#### CW-19用クリップ



##### 入数

500個

##### 板厚

0.6mm

#### CS-25用クリップ



##### 入数

1000個

##### 板厚

0.8mm

#### CW-25用クリップ



##### 入数

500個

##### 板厚

0.8mm

## クリップ

### 一般クリップ

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z08

#### 主な使用工法

・建築用鋼製天井下地材  
他

#### Sクリップ



##### 入数

1000個

#### Wクリップ



##### 入数

500個

### 高耐食クリップ

#### Sクリップ(高耐食)



##### 入数

1000個

##### 材質/めっき厚

溶融亜鉛-アルミニウム-  
マグネシウム合金めっき鋼板、K27

#### Wクリップ(高耐食)



##### 入数

500個

##### 材質/めっき厚

溶融亜鉛-アルミニウム-  
マグネシウム合金めっき鋼板、K27

#### Sクリップ(ステンレス)



##### 入数

1000個

##### 材質

SUS304

#### Wクリップ(ステンレス)



##### 入数

500個

##### 材質

SUS304

### 耐風圧クリップ

#### 耐風圧Sクリップ



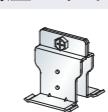
##### 入数

C38用:300個  
C40用:100個

##### 板厚

1.6mm

#### 耐風圧Wクリップ



##### 入数

C38用:200個  
C40用:200個

##### 板厚

1.6mm

### 耐震クリップ

#### RP-Sクリップ



##### 入数

C38用:200個

##### 板厚

上板:3.2mm  
下板:2.3mm

**【施工動画】**  
<https://www.kirii.co.jp/movie/>

#### RP-Wクリップ



##### 入数

C38用:150個

##### 板厚

上下板:2.3mm

**【施工動画】**  
<https://www.kirii.co.jp/movie/>

#### 主な使用工法

・耐風圧天井TOBAN  
他

#### 主な使用工法

・耐風圧天井TOBAN  
他

#### 主な使用工法

・耐風圧天井TOBAN  
他

#### 技術資料

## クリップ補強

### クリップ補強

#### RP-Sカバー

PAT.



入数

200個

板厚

1.6mm



#### RP-Wカバー

PAT.



入数

150個

板厚

1.6mm

#### 主な使用工法

- ・耐風圧天井TOBAN  
(耐震・防振タイプ)  
他

許容荷重  
引張方向 : 900N  
野縁方向 : 1000N  
野縁受け方向: 800N  
※RP-Wクリップ+RP-Sカバー



#### Revolveロック

PAT.



入数

200個

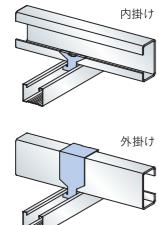
#### 【使用方法】

Revolveクリップで野縁と野縁受けに  
交差角度が付いている箇所をクリップ補強  
する金具

## 特殊クリップ

### 特殊クリップ

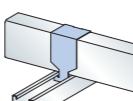
#### 特殊クリップ(□鋼用)



#### ラインアップ、入数

ライトゲージ	内掛け	入数	外掛け	入数
60×30×10	10mm Sクリップ	2000個	60mm Sクリップ	500個
	10mm Wクリップ	1000個	60mm Wクリップ	300個
65×30×10	10mm Sクリップ	2000個	65mm Sクリップ	500個
	10mm Wクリップ	1000個	65mm Wクリップ	300個
75×45×15	15mm Sクリップ	2000個	75mm Sクリップ	500個
	15mm Wクリップ	1000個	75mm Wクリップ	300個
100×50×20	20mm Sクリップ	2000個	100mm Sクリップ	200個
	20mm Wクリップ	1000個	100mm Wクリップ	100個

#### 特殊クリップ(□鋼用)



#### ラインアップ、入数

チャンネル	外掛け	入数
C19×10	19mm Sクリップ	1500個
	19mm Wクリップ	1000個
C25×10	25mm Sクリップ	1000個
	25mm Wクリップ	500個
C40×20	40mm Sクリップ	1000個
	40mm Wクリップ	500個
C50×20	50mm Sクリップ	1000個
	50mm Wクリップ	500個

## 施工動画

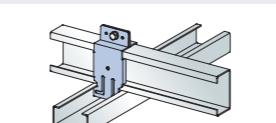
### 施工動画

#### 施工動画

## 特殊クリップ

### 特殊クリップ

#### 十字止め金具60×30

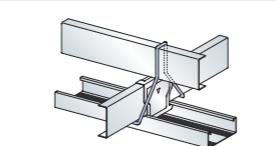


入数

100個

【使用方法】  
LG60×30×10同士を十字に交差させ固定する金具

#### ワイヤークリップワイド

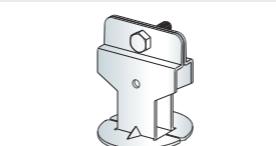


入数

500個

【使用方法】  
C-38同士を直交させて固定する金具（真下にWバーが来る場合）

#### Revolveクリップ



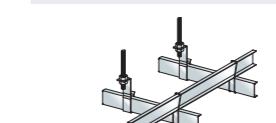
入数

C38用 : 100個

C40用 : 100個

【使用方法】  
野縁と野縁受けの交差角度を調整し固定する金具

#### ワイヤークリップ

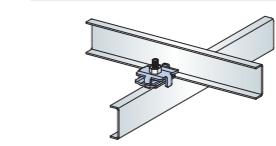


入数

1000個

【使用方法】  
C-38同士を直交させて固定する金具

#### ビス固定式振れ止めクリップ



入数

200個

【使用方法】  
C-38同士を直交させて固定する金具

## 施工動画

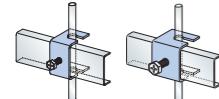
### 施工動画

#### 施工動画

## 水平補強、斜め補強用金具

### チャンネルホルダー

#### チャンネルホルダー



#### ラインアップ:入数

ラインアップ	入数
3/8"(3分)、1/4"(2分)兼用	300個
1/2"(4分)、5/8"(5分)兼用	200個

**【使用方法】**  
吊りボルトにC-38を水平補強として固定する金具

#### 主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材
- 耐震Power天井 他

#### チャンネルホルダー C-19・C-25



#### 入数

300個

#### 【使用方法】

3/8"吊りボルトにC-19、もしくはC-25を水平補強として固定する金具

### ボルトホルダー

#### ボルトホルダー



#### 入数

200個

#### 許容荷重

900N

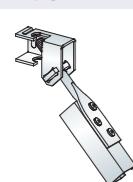
**【使用方法】**  
3/8"吊りボルトと水平補強材、平行補剛材を固定する金具  
ダクト等で吊りボルトスパンが長くなる場合、追加野縁受け等の接合に最適

#### 主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材
- 耐震Power天井 他

### 斜め部材(プレース)上部取付金具

#### UE-box



#### 適用角度

30°~60°

#### 入数

100個

#### プレース金具KF



#### 適用角度

15°~60°

#### 入数

100個

#### 主な使用工法

- 耐風圧天井TOBAN  
(耐震・防振タイプ) 他

#### 【注記・その他】

※天井吊り元での取付作業が必要となります。



#### TPプレース (羽子板ボルト同梱)



#### 入数

200個

#### 付属品

羽子板ボルト

**【使用方法】**  
3/8"吊りボルトにななめ補強を取付ける金具

#### 主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材  
他

## クロス金具

### チャンネルクロス金具



#### チャンネルクロス金具

#### 入数

500個

**【使用方法】**  
C-38同士を直交させて固定する金具

#### 40×20クロス金具



#### 入数

200個

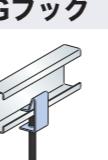
**【使用方法】**  
C40×20同士を直交させて固定する金具

#### 主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材  
他

## 吊元金具

### 吊元金具



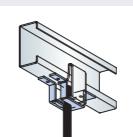
#### LGフック

#### 入数

400個 960 N (97kgf)

**【使用方法】**  
リップ付みぞ形鋼から3/8"吊りボルトを吊り下げる金具

#### LGフック補強金具



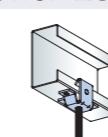
#### 入数

300個

鉛直方向引張 : 2400N(244kgf)  
水平方向せん断: 1220N(124kgf)

**【使用方法】**  
LGフックに使用する補強金具  
※当製品は当社製のLGフックのみ使用できます。

#### Power-LGフック



#### 入数

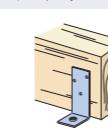
100個

#### 許容荷重

鉛直方向引張 : 4600N  
水平方向せん断: 2600N

**【使用方法】**  
LGフックとLGフック補強金具が一体となった吊り金具

#### LGフック(木用)



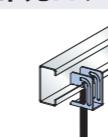
#### 入数

400個

#### 許容荷重

木の梁から3/8"吊りボルトを吊り下げる金具

#### 新吊元ロック



#### 入数

250個

#### 許容荷重

1274N (130kgf)

**【使用方法】**  
LG60×30~LG100×50またはH形鋼から3/8"吊りボルトを吊り下げる金具

### アングルピース

#### アングルピース



#### ラインアップ

L-t6.0×(75×75)×75L  
L-t6.0×(50×40)×50L  
※KIRII耐震ビスを使用

**【使用方法】**  
鉄骨から3/8"吊りボルトを吊り下げる金具

#### 主な使用工法

- 建築用鋼製天井下地材  
他

## 角パイプ

### 圧縮補強材

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用  
SGC340~570 高強度一般用  
SGHC 一般用

#### 防錆処理

めっきの両面付着量:Z12

角パイプ19×19×1.2	定尺	板厚
	5500mm	1.2mm

角パイプ19×19×1.6	定尺	板厚
	5500mm	1.6mm

角パイプ25×25×1.6	定尺	板厚
	5500mm	1.6mm

### 高耐食圧縮補強材

角パイプ19×19×1.2 (高耐食)	板厚	材質/めっき厚
	1.2mm	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

角パイプ19×19×1.6 (高耐食)	板厚	材質/めっき厚
	1.6mm	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

角パイプ25×25×1.6 (高耐食)	板厚	材質/めっき厚
	1.6mm	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板、K27

## 丸パイプ

### 圧縮補強材

#### 丸P1.6×φ19.1



【使用方法】  
吊り材: 圧縮補強用

主な使用工法  
・耐風圧天井TOBAN  
他

## 角型スタッド

### SQ-BAR

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

#### 防錆処理

めっきの両面付着量:Z08

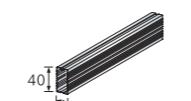
#### 主な使用工法

・SQ工法  
・コリッド天井  
他

### SQ-BAR4020

#### 板厚

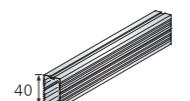
0.45mm



### SQ-BAR4025

#### 板厚

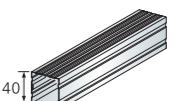
0.45mm



### SQ-BAR4040

#### 板厚

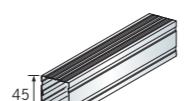
0.45mm



### SQ-BAR4045

#### 板厚

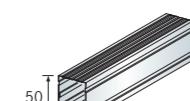
0.45mm



### SQ-BAR4050

#### 板厚

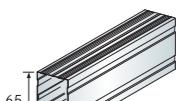
0.45mm



### SQ-BAR4565

#### 板厚

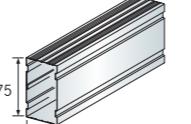
0.45mm



### SQ-BAR4575

#### 板厚

0.45mm



### SQ-BAR4590

#### 板厚

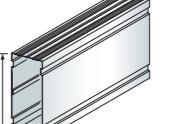
0.45mm



### SQ-BAR45100

#### 板厚

0.45mm



## 角型スタッド用ランナー

### SQランナー

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

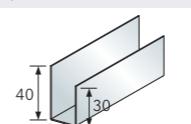
#### 防錆処理

めっきの両面付着量:Z08

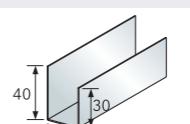
#### 主な使用工法

・SQ工法  
・コリッド天井  
他

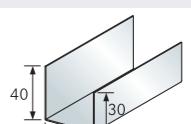
### SQ-ランナー20



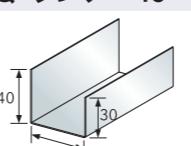
### SQ-ランナー25



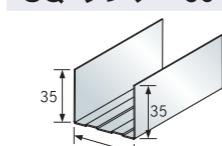
### SQ-ランナー40



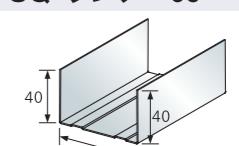
### SQ-ランナー45



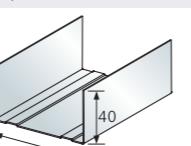
### SQ-ランナー50



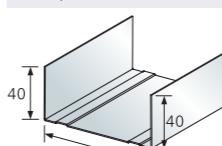
### SQ-ランナー65



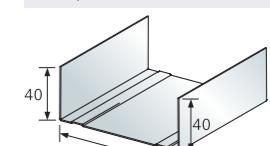
### SQ-ランナー75



### SQ-ランナー90



### SQ-ランナー100



## SQ-BAR関連部材

### SQ-BAR関連部材

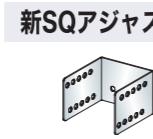
**【注記・その他】**  
※4040に各SQパーツを使用する場合は、かならずハゼ折り面を側面にして取付けてください。

**主な使用工法**  
・SQ工法



SQスペーサー	ラインアップ:入数	材質
	W10:800個 W15:500個 W20:500個 W25:400個 W30:400個 W35:400個	溶融亜鉛めっき鋼板

**【使用方法】**  
耐火遮音間仕切り（千鳥組）：千鳥組みの隙間に入れる金物



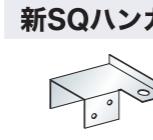
新SQアジャスター	材質
	溶融亜鉛めっき鋼板

**【使用方法】**  
フカシ壁：スタッドの振れ止め金具。ふかし寸法を予め設定し新SQアジャスターを切断し、H=1200前後にセットする金具。（ふかし寸法30～45mm）



SQクリップ	ラインアップ:入数	材質
	4040用:150個 4045用:150個	溶融亜鉛めっき鋼板
	※その他サイズについてはご相談ください	

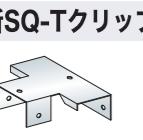
**【使用方法】**  
野縁受け使用天井：野縁受け[-19×10～[-38×12とSQ-BAR各種を緊結する留金具。



新SQハンガー	ラインアップ:入数	材質
	新SQハンガー <sup>※1</sup> :240個 新SQハンガー-4020用 <sup>※2</sup> :200個	溶融亜鉛めっき鋼板

**【使用方法】**  
SQ-BAR直吊り天井：SQ-BARを直接吊り上げる金具。開口部の補強にも適応出来ます。

**【注記・その他】**  
※1:4040、4045、4050兼用  
※2:4025兼用



新SQ-Tクリップ	ラインアップ:入数	材質
	新SQ-Tクリップ <sup>※1</sup> :130個 SQ-Tクリップ(4020用) <sup>※2</sup> :200個	溶融亜鉛めっき鋼板

**【使用方法】**  
開口補強：SQ-BARをクロスに組む場合の緊結金具。天井・壁組にご使用ください。

**【注記・その他】**  
※1:4040、4045、4050兼用  
※2:4025兼用

## 副資材

O型スペースイン	ラインアップ
	タイプ40

主な使用工法
・SQ工法

## スタッド

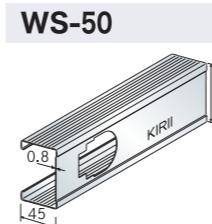
### JISスタッド

#### JIS規格品

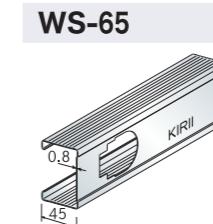
**材料規格**  
JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

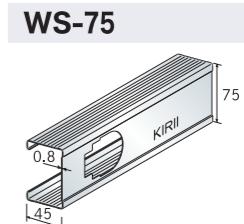
**主な使用工法**  
・建築用鋼製壁下地材



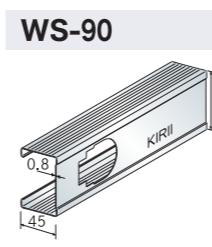
**WS-50**  
定尺  
2400mm  
2700mm  
板厚  
0.8mm



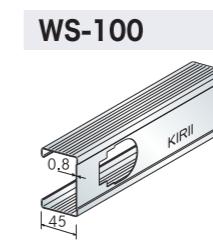
**WS-65**  
定尺  
2700mm  
3000mm  
3500mm  
4000mm  
板厚  
0.8mm



**WS-75**  
定尺  
3000mm  
3500mm  
4000mm  
板厚  
0.8mm



**WS-90**  
定尺  
4000mm  
4500mm  
板厚  
0.8mm



**WS-100**  
定尺  
4500mm  
5000mm  
板厚  
0.8mm

## 一般スタッド

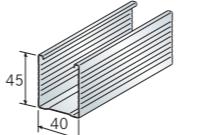
### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z08

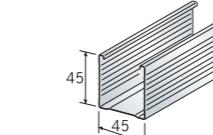
**主な使用工法**  
・建築用鋼製壁下地材

### 40形間仕切



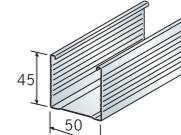
40  
45  
40

### 45形間仕切



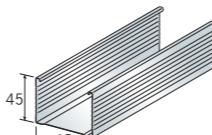
45  
45  
45

### 50形間仕切



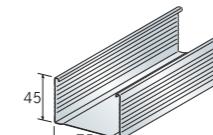
45  
50  
45

### 65形間仕切



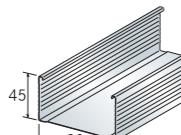
45  
65  
45

### 75形間仕切



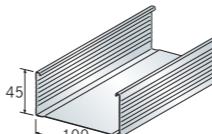
45  
75  
45

### 90形間仕切



45  
90  
45

### 100形間仕切



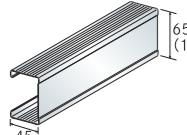
45  
100  
45

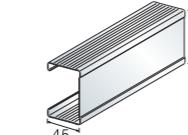
## スタッド

### 高耐食スタッド

**【注記・その他】**  
※一部、受注生産品のため、最寄りの営業所に  
ご相談ください。

**主な使用工法**  
・高耐食性壁下地材

スタッド(高耐食)	ラインアップ	板厚	材質/めっき厚
	65×45×0.6 100×45×0.6	0.6mm	溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板、K27

スタッド(ステンレス)	ラインアップ	板厚	材質
	65×45×0.6 100×45×0.6	0.6mm	SUS304

## ランナー

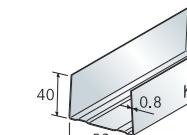
### JISランナー

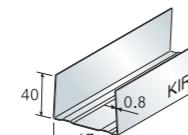
JIS規格品

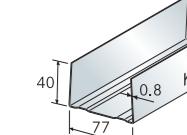
**材料規格**  
JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC一般用

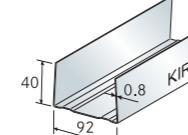
**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

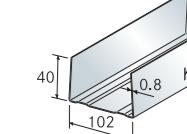
**主な使用工法**  
・建築用鋼製壁下地材

WR-50	定尺	板厚
	4000mm	0.8mm

WR-65	定尺	板厚
	4000mm	0.8mm

WR-75	定尺	板厚
	4000mm	0.8mm

WR-90	定尺	板厚
	4000mm	0.8mm

WR-100	定尺	板厚
	4000mm	0.8mm

## ランナー

### 一般ランナー

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z08

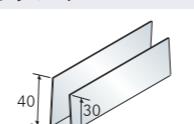
#### 主な使用工法

・建築用鋼製壁下地材

### 20ランナー

#### 定尺

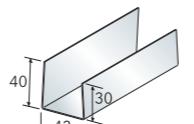
4000mm



### 40ランナー

#### 定尺

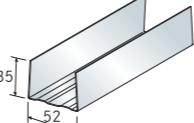
4000mm



### 50ランナー

#### 定尺

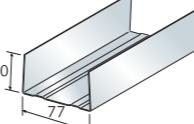
4000mm



### 75ランナー

#### 定尺

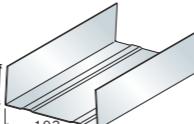
4000mm



### 100ランナー

#### 定尺

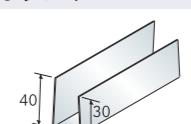
4000mm



### 25ランナー

#### 定尺

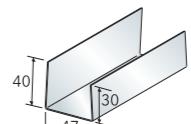
4000mm



### 45ランナー

#### 定尺

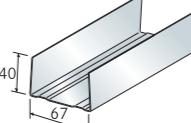
4000mm



### 65ランナー

#### 定尺

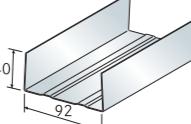
4000mm



### 90ランナー

#### 定尺

4000mm



## 高耐食ランナー

**【注記・その他】**  
※一部、受注生産品のため、最寄りの営業所に  
ご相談ください。

#### 主な使用工法

・高耐食性壁下地材

### ランナー(高耐食)

#### ラインアップ

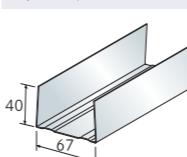
67×40×0.6  
102×40×0.6

#### 板厚

0.6mm

#### 材質/めっき厚

溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板、K27



### ランナー(ステンレス)

#### ラインアップ

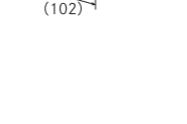
67×40×0.6  
102×40×0.6

#### 板厚

0.6mm

#### 材質

SUS304



## 補強材

### 一般構造用軽量形鋼 (リップ溝形鋼) JIS規格品

#### 材料規格

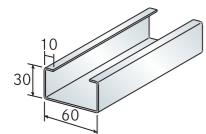
JIS G 3350  
一般構造用軽量形鋼  
SSC400

防錆処理 めっきの両面付着量:Z12

#### 主な使用工法

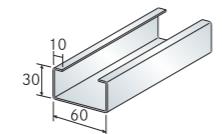
- ・建築用鋼製壁下地材  
他

(JIS)60×30×10×1.6



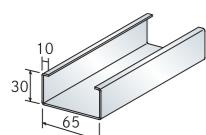
定尺	板厚
4000mm 6000mm	1.6mm

(JIS)60×30×10×2.3



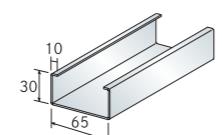
定尺	板厚
4000mm 6000mm	2.3mm

(JIS)65×30×10×1.6



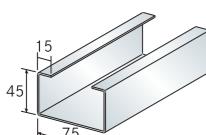
定尺	板厚
(3000)mm 4000mm 6000mm	1.6mm

(JIS)65×30×10×2.3



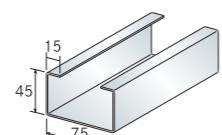
定尺	板厚
(3000)mm 4000mm 6000mm	2.3mm

(JIS)75×45×15×1.6



定尺	板厚
4000mm 6000mm	1.6mm

(JIS)75×45×15×2.3



定尺	板厚
4000mm 6000mm	2.3mm

(JIS)90×45×15×2.3



定尺	板厚
4000mm 6000mm	2.3mm

## 補強材

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SGCC一般用  
SGC340～570高強度一般用  
SGH340～540高強度一般用

防錆処理 めっきの両面付着量:Z08  
※一部例外あり

【注記・その他】  
※一部、受注生産品のため、最寄りの営業所にご相談ください。

#### 主な使用工法

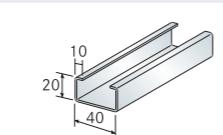
- ・建築用鋼製壁下地材  
他

40補強材

定尺

4000mm  
5000mm

40×20×10×1.6



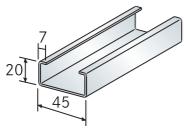
定尺

4000mm

45補強材

定尺

3000mm  
4000mm  
6000mm



## 補強材

50補強材

定尺

3000mm  
4000mm  
6000mm

65補強材

定尺

3000mm  
4000mm  
6000mm

75補強材

定尺

4000mm  
6000mm

90補強材

定尺

3000mm  
4000mm  
6000mm

100補強材

定尺

3000mm  
4000mm  
6000mm

75補強材×1.6

定尺

4000mm  
6000mm

【注記・その他】  
めっきの両面付着量:Z12

90補強材×1.6

定尺

4000mm  
6000mm

【注記・その他】  
めっきの両面付着量:Z12

## 高耐食補強材

【注記・その他】  
※一部、受注生産品のため、最寄りの営業所にご相談ください。

#### 主な使用工法

- ・高耐食性壁下地材  
他

補強材(高耐食)

ラインアップ

板厚

材質/めっき厚  
溶融亜鉛-アルミニウム-  
マグネシウム合金めっき  
鋼板、K27

10(20) (50)	65×30×10×1.6 100×50×20×1.6	1.6mm	溶融亜鉛-アルミニウム- マグネシウム合金めっき 鋼板、K27
----------------	-------------------------------	-------	---------------------------------------

補強材(ステンレス)

ラインアップ

板厚

材質  
SUS304

10(20) (50)	60×30×10×2.0 100×50×20×2.0	2.0mm	SUS304
----------------	-------------------------------	-------	--------

## 振れ止め

### JIS振れ止め

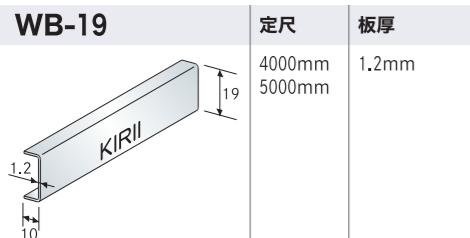
JIS規格品

**材料規格**  
JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

**主な使用工法**  
・建築用鋼製壁下地材  
・新耐震FullPower天井  
(プレース材として)  
他

### WB-19



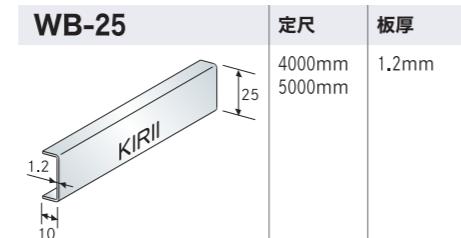
定尺

板厚

4000mm  
5000mm

1.2mm

### WB-25



定尺

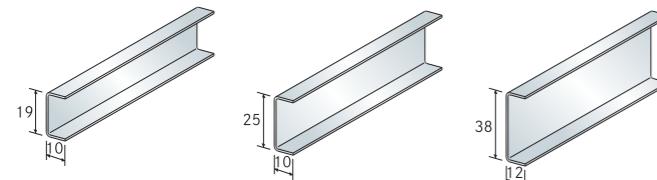
板厚

4000mm  
5000mm

1.2mm

## 一般振れ止め

### 振れ止めチャンネル



### ラインアップ

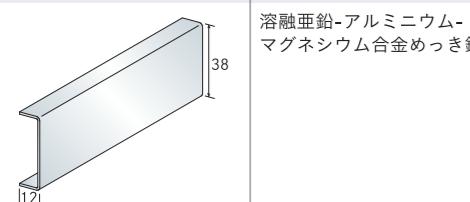
C19チャンネル  
C25チャンネル  
C38チャンネル

**主な使用工法**  
・建築用鋼製壁下地材  
他

## 高耐食振れ止め

### 振れ止めC38チャンネル (高耐食)

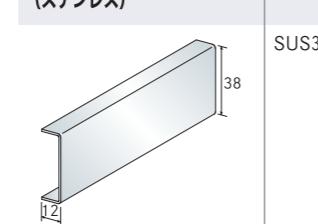
材質/めっき厚



溶融亜鉛-アルミニウム-  
マグネシウム合金めっき鋼板、K27

### 振れ止めC38チャンネル (ステンレス)

材質



SUS304

**主な使用工法**  
・高耐食性壁下地材  
他

## スペーサー

### JISスペーサー

材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

**防錆処理** めっきの両面付着量:Z12

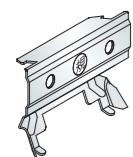
### 主な使用工法

・建築用鋼製壁下地材

### スペーサー

ラインアップ:入数

板厚  
WS-50スペーサー :1500個  
WS-65スペーサー :800個  
WS-75スペーサー :600個  
WS-90スペーサー :500個  
WS-100スペーザー:400個



### 主な使用工法

・建築用鋼製壁下地材

## スペーサー

### 一般スペーサー

**主な使用工法**

・建築用鋼製壁下地材

### スペーサー金具

### ラインアップ:入数

40形 :1500個  
45形 :1500個  
50形 :1500個  
65形 :800個  
75形 :600個  
90形 :500個  
100形:400個



### 高耐食スペーサー

#### 【注記・その他】

※一部、受生産品のため、最寄りの営業所に  
ご相談ください。

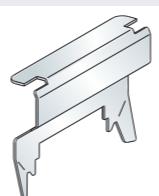
**主な使用工法**

・高耐食性壁下地材

### スペーサー(高耐食)

### ラインアップ:入数

65用 :800個  
100用:400個



材質/めっき厚

溶融亜鉛-アルミ  
ニウム-  
マグネシウム合  
金めっき鋼板、  
K27

### スペーサー (ステンレス)

### ラインアップ:入数

65用 :800個  
100用:400個



材質

SUS304

### SQ-PowerBar部材

### スタッド

#### 材料規格

JIS G 3302  
溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帶  
SGCC 一般用

#### 【注記・その他】

※耐火仕様で振れ止めの板厚0.9mm以上は、別途ご相談ください。

**主な使用工法**

・SQ-PowerBar

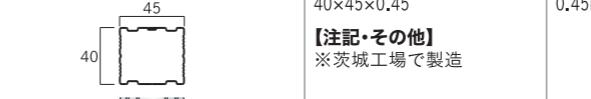
### SQ-PowerBar4045

### サイズ

40×45×0.45

#### 【注記・その他】

※茨城工場で製造



板厚

0.45mm

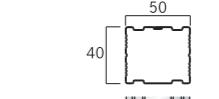
### SQ-PowerBar4050

### サイズ

40×50×0.45

#### 【注記・その他】

※KMC大阪工場で製造



板厚

0.45mm

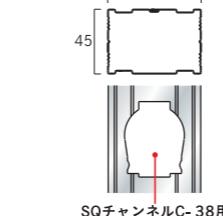
### SQ-PowerBar4565

### サイズ

45×65×0.45

#### 【注記・その他】

※KMC大阪工場で製造



板厚

0.45mm

### SQ-PowerBar45100

### ラインアップ

SQ-PowerBar45100 (0.45) ※1  
SQ-PowerBar45100 (1.0) ※2  
SQ-PowerBar45100 (1.2) ※2 ※3

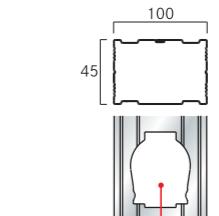
#### 【注記・その他】

※1 KMC大阪工場で製造

※2 茨城工場で製造

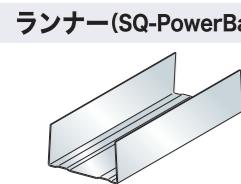
SQ-PowerBar45100 (1.0) 及び (1.2)  
は形状が異なります。

※3 めっきの両面付着量 : Z12



## SQ-PowerBar部材

### ランナー



ランナー(SQ-PowerBar用)	ラインアップ	定尺
45ランナー	4000mm	
50ランナー	※板厚1.0mmは定尺 が異なります。	
65ランナー		
100ランナー		

【注記・その他】  
※板厚1.0mmの場合  
亜鉛鉄板折り曲げ加工又は、100CN10

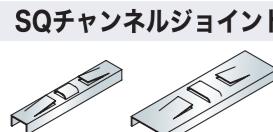
### 振れ止め

### SQチャンネル

SQチャンネル	ラインアップ:板厚	定尺
19	SQチャンネルC-19:0.8mm	5000mm
38	SQチャンネルC-38:0.6mm	

19  
12  
5.5  
5.5  
5  
5  
38  
12  
5

### チャンネルジョイント



SQチャンネルジョイント	ラインアップ:入数
SQ-C19ジョイント:500個	
SQ-C38ジョイント:400個	

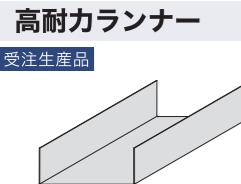
### SQ-WALL2500工法部材

### スタッド



SQ-BAR45100 (1.2)	板厚
受注生産品	1.2mm

### ランナー



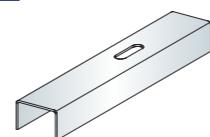
高耐力ランナー	サイズ	定尺	板厚
受注生産品	[ -105.6×40×2.3 ] [ -105.6×50×2.3 ]	3000mm	2.3mm

## SQスリムシーリング工法部材

### 中間支持材

#### SQスリムレール

受注生産品

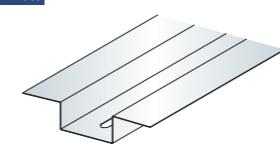


#### SQスリムウォール工法部材

### 中間支持材

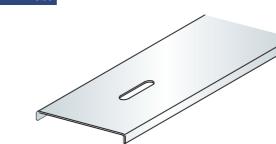
#### SQスリムWallハットバー

受注生産品



#### SQスリムWallレール

受注生産品



### フカシ幅調整金具

#### SQスリムWallプレート

受注生産品



### 土台金具

#### 山形タップ付角ワッシャー



主な使用工法  
・SQスリムシーリング工法

主な使用工法  
・SQ-PowerBar

主な使用工法  
・SQスリムウォール工法

主な使用工法  
・SQスリムウォール工法

## カビノン工法部材

### スタッド

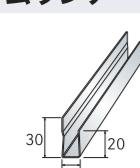


サイズ	定尺	板厚
W45(内寸)/W64(外寸) xH12x7	2500mm	0.6mm
	2700mm	
	3000mm	



主な使用工法  
・カビノン工法

### スリムランナー

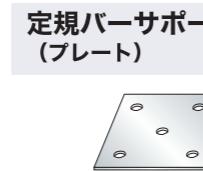


サイズ	定尺	板厚
W13.5×H30×20	3000mm	0.6mm

## カビノン工法部材



付属品
バブルボンドG
バブルボンドフラッシュ
シルバーガン
ウエス



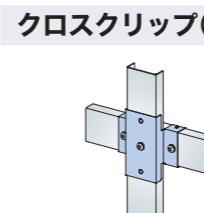
サイズ
50x50mm



サイズ	定尺
M6	150mm

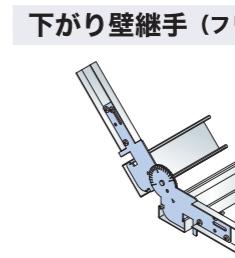
## その他金具

### 下り壁金具



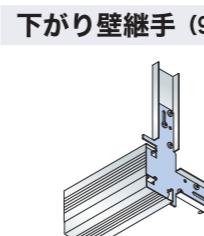
入数
100個

【使用方法】  
C-38チャンネル同士を十字に交差させ固定する金具



入数
50個

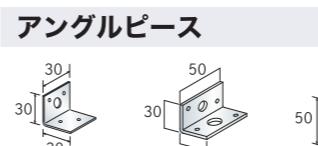
【使用方法】  
C-38同士を10~170度までの下がり壁に無溶接で組む金具



入数
50個

【使用方法】  
C-38同士を90度固定の下がり壁に無溶接で組む金具

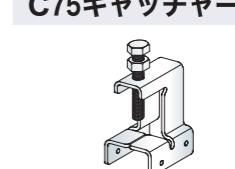
### アングルピース



ラインアップ:入数
L-t3.2x30x30L:200個
L-t3.2x30x50L:200個
L-t4.5x50x50L:100個

【使用方法】  
壁:開口補強取付用金物

### 先行ピース取付用金具



入数	許容荷重
20個	鉛直方向引張: 2000N
	面外方向: 1500N
	面内方向: 800N

【使用方法】  
H鋼に先行ピース(C鋼)を留め付ける金具

### 足場用金具

許容荷重  
集中荷重200kg載荷:異常なし  
足場解体作業及び部材回収後:異常なし  
※単体引張試験グラフ掲載

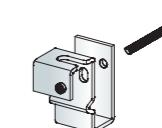
#### ASクランプ (ハンガー上部取付・足場板用)

PAT.



#### ASクランプ-M (吊りボルト中間部取付・手すり用)

PAT.



#### ASクランプ-MS (吊りボルト中間部取付・足場板用)

PAT.



受注生産品  
※ASクランプ-MS 1つに対し、中間挿入式ナットSNE-W3を2つ使用します。

# 足場用金具パート

安全・安心 天井裏に簡単に足場が組める

(ハンガー上取付・足場板用)

**ASクランプ** PAT.

(吊りボルト中間部取付・手すり用)

**ASクランプ-M** PAT.

## 用途

天井の耐震改修工事・天井裏の設備配管改修工事

## 特長

吊り足場不要、ローリングタワー不要

- 天井裏（鋼製天井下地材）の作業足場設置
- 角パイプを使用することにより足場板を確実に支持します（足場板と角パイプは固定を前提とします）
- 施工が容易（鋼製下地施工業者以外でも施工可能）
- あと施工が可能
- 使用後、転用可能（マジックナットは転用不可）

## 試験結果

### 組み合せ試験

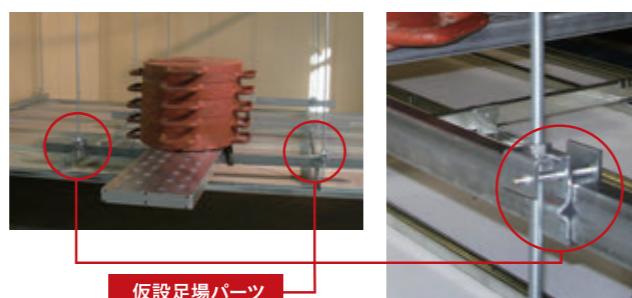
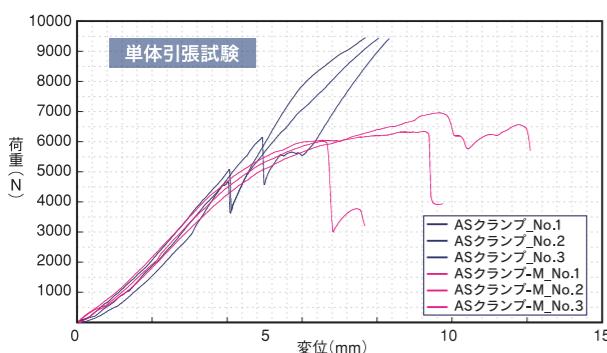
実験概要 実大部分天井を施工し、仮設足場の実施工及び耐荷重試験

- 天井仕様
- 野線受け：CC-19@900
  - 野線：CS-19@300・CW-19@300
  - ハンガー：CC-19用ハンガー
  - クリップ：CS-19 (JIS) クリップ・CW-19 (JIS) クリップ
  - 天井ふとこ：2000mm・仕上げ材：ケイカル6mm

実験結果 集中荷重200kg載荷：異常なし

足場解体作業及び部材回収後：異常なし

### 単体試験



別途手配品

- マジックナット（株）シグテックファスナー製（写真左）  
ASクランプ及びASクランプ-M固定用
- スモール角パイプSTKMR 40×20×1.6（写真右）足場板支持用
- 足場板固定部材（足場ゴムバンド、番線等）足場板と角パイプ固定用
- 足場板



※再利用不可

■天井下地自体に乗ったり、ぶら下がったりすると落下、脱落によりケガをすることがあります。■吊りボルトが垂直に垂れ下がっていることを確認願います。  
■施工にあたっては法令を遵守願います。（労働安全衛生法等）  
・労働安全衛生規制改正（平成21年6月1日）により足場等からの墜落防止等施工例：手摺（高さ=85cm以上の位置）十中さん（高さ=30～50cmの位置）十下さん等（高さ=10cm以上）下さん等：物体の落下防止措置の為に必要な幅木等  
・足場板は、金属製足場板の仮設工業会認定合格品として足場板の使用最大荷重を遵守願います。（例 片面使用型：120kg、両面使用型：200kg）  
・足場板は、必ず3箇所以上の支持物（角パイプ）で受けてください。・足場板は、角パイプと強固に固定願います。（足場ゴムバンド等）  
・足場板は、幅40cm以上、隙間3cm以下に願います。  
・足場板の上で脚立、はしご等を用いて作業はしないでください。・足場板の使用最大荷重に伴い、吊り元強度を確認願います。  
・計算例：吊り元強度>足場板最大荷重200kg÷2箇所支持=2（吊りボルトが支持1箇所につき2本）  
・施工前に必ず部材の点検（部材の損傷・腐食、締結部のゆるみ状態の確認等）を行ってください。・施工には必ず保護帽及び安全帯を使用願います。  
■マジックナット等は強固に締めつけ願います。  
※足場板のはね出し部分には絶対に手をかけたり乗ったりしないようお願いします。

## 注意事項

(吊りボルト中間部取付・足場板用)

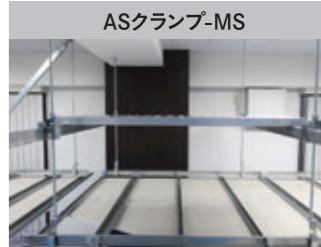
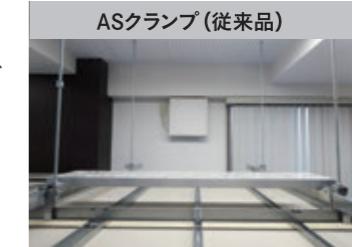
**ASクランプ-MS** PAT.

受注生産品

## 特長

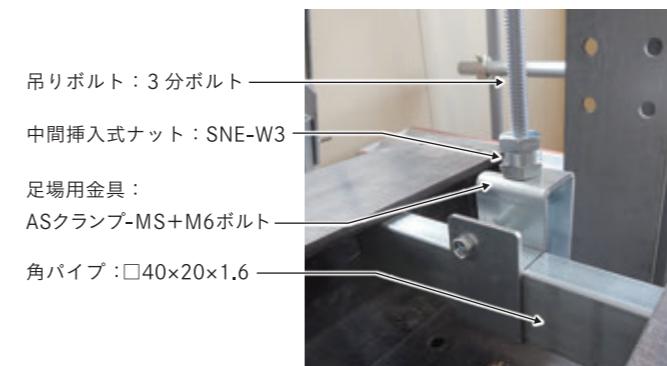
### 吊りボルトの任意の高さに設置可能

- 中間挿入式ナットを使用することで、高さを自由に変えられるため、階段状の足場を設置できます
- 単クランプとの併用で、単管パイプの取り付けも可能です



### パーツ試験（角パイプ仕様）

## 使用部材

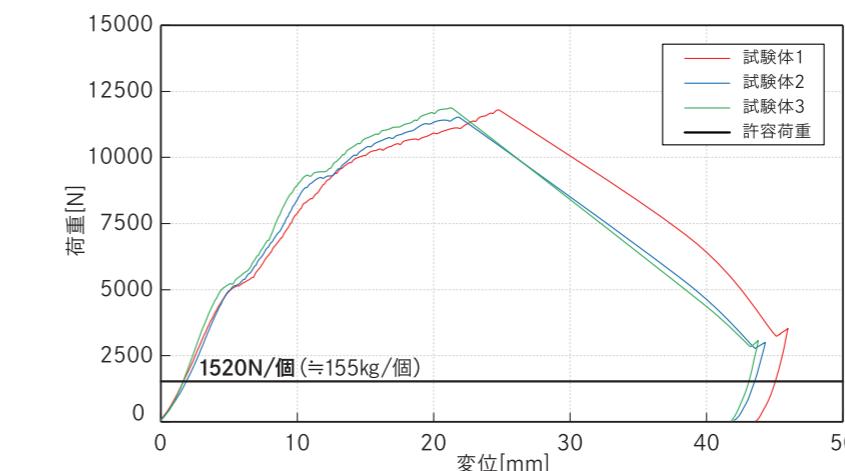


## 試験方法

足場用金具に取付けた角パイプを試験治具に固定し、吊りボルトを鉛直上向きに加力した時の荷重とシリンダーの変位を計測する。



## 試験結果



許容荷重=155.0 kg/個

※単管パイプ仕様の場合：  
許容荷重=76.0 kg/個

## 別途手配品

・中間挿入式ナット  
ネグロス電工(株) SNE-W3  
ASクランプ-MS固定用



・スモール角パイプ  
STKMR 40×20×1.6  
足場板支持用



・足場板固定部材（足場ゴムバンド、番線等）  
足場板と角パイプ固定用  
・足場板

## 関連部材

### C75キャッチャー

#### 特長

- 先行ピースの両端ビス固定により高耐力を実現
- H鋼フランジ厚さ10~45mmに対応
- C75×45×15 (t1.6、t2.3) 専用金具

#### 金具詳細

品名	C75キャッチャー	許容荷重
規格・材質	JIS G 3302 SGHC	鉛直方向引張 2000N 面外方向 1500N
表面処理	Z12	面内方向 800N
入数	20個	

#### 注意事項

- ・金具の取付け間隔は、工事管理者や設計者にご確認ください。
- ・C75キャッチャーを取付ける際は、H鋼フランジに対して直角に隙間なく取付けてください。
- ・斜めに取付けるなど隙間が生じる場合、耐力低下の原因となります。
- ・ビスはKIRII耐震ビスPAN : 4.2×16mmの使用を推奨します。
- ・付属ボルトの抜留め、本締めを行う際は、緩み止めナットが金具に干渉しない状態であることをご確認ください。
- ・金具形状から先行ピースをH鋼と平行に取付けることはできません。
- ・先行ピースをハネ出した納まりはできません。



### Revolveクリップ

#### 特長

- 野縁と野縁受けの交差角度を自由に調整可能

※角度制限はありません

- 平面上複雑な天井に最適

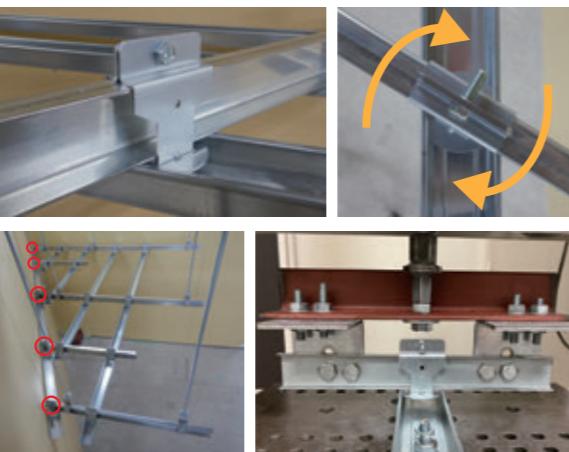
<使用例>  
・野縁と野縁受けが直交しない天井の壁際、曲面壁等が取り合う天井の壁際  
・天井全体で放射状に野縁を配置する場合

#### 金具詳細

品名	Revolveクリップ (C38用、C40用)
規格・材質	JIS G 3302 SGHC
表面処理	Z12
入数	100個

#### 許容耐力 (鉛直)

C38用	440N
C40用	280N



### Revolveロック

#### 特長

- Revolveクリップと組み合わせることで天井のクリップ補強が可能

#### 金具詳細

品名	Revolveロック
規格・材質	JIS G 3302 SGCC
表面処理	Z12
入数	200個

#### 注意事項

- ・補強部1箇所の負担荷重が許容耐力以下であることをご確認ください。
- ・1補強箇所に対し、Revolveロックを2個ご使用ください。

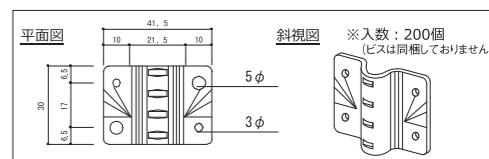


## 関連部材

### ボルトホルダー

#### 用途

- 3/8" 吊りボルトと水平補強材、平行補剛材を固定
- ダクト等で吊りボルトスパンが長くなる場合、追加野縁受け等の接合に最適



#### 特徴

- 耐震天井用に使用可能
- 高さ寸法38mm以上の部材でも使用可能



#### 許容荷重

許容荷重 900N

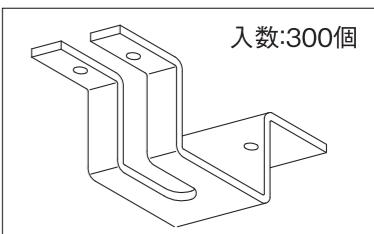
#### 注意事項

- 1) ボルトホルダーの接合にはビス (KIRII耐震ビス4.2×16) 2本を使用願います。
- 2) ビス (KIRII耐震ビス4.2×16) を打つ場所は中5の孔としてください。

### LGフック補強金具

#### 用途

吊り元にLGフックを使用する時に追加で設置する補強金具です。



#### 設置箇所

C型鋼から吊り元を取る耐震天井に使用してください。  
プレース材上下の端部が付く吊りボルトの吊り元に設置します。

#### 許容荷重

鉛直方向引張 2400N (244kgf)  
水平方向せん断 1220N (124kgf)

### Power-LGフック

#### 用途

C型鋼から吊りボルトを吊り下げる金具です。



#### 設置箇所

LGフックと補強金具が一体となった吊り金具です。鉛直・水平方向の荷重がかかる吊元に使用可能です。

#### 許容荷重

鉛直方向引張 4600N  
水平方向せん断 2600N

## 作業靴

## 『コンバース』から 作業靴が登場

世界中で支持されるスニーカーブランド『コンバース』に、作業靴のラインナップが登場しました。

定番のオールスターのハイカット、ローカットのデザイン性はそのままに、安全かつ快適に現場作業を行うための機能性を兼ね備えています。



### ① つま先保護

JSAA A 種認定基準の耐衝撃性と耐圧迫性を備えたつま先保護のための硬質樹脂先芯を内蔵

### ② 摩耗に強い靴紐

耐摩耗性に優れ、オールスターらしいクラシックな風合いの出るコットンライクなボリュームテル製シューレースを採用

### ③ 耐久性に優れた素材

**Clarino.**

軽くて丈夫な(株)クラレのクラリノをアッパー素材に採用  
※「クラリノ」は(株)クラレの人工皮革の登録商標です

### ④ 反射材

作業時の視認性向上のためのリフレクター素材をストレートな形状のかかと紐部分に採用することでオールスターらしいデザイン性と安全性を両立

### ⑤ 抗菌・防臭

抗菌・防臭加工を施したアッパーのライニングとインソールの表面材を採用し、靴内部の清潔さを保持

### ⑥ 耐衝撃性

JSAA A 種の認定付加性能であるかかと部の耐衝撃性を備えたE. V. A. ミッドソールとカップインソールを採用した仕様

### ⑦ 防じん性

作業時の細かいチリなどの侵入を防ぐ防じんガセットと網目状のハトメを採用することで作業時の快適性を実現

### ⑧ 通気性

作業時の蒸れを逃がす通気性のあるWメッシュ素材のタンと、網目状の通気ハトメを採用することで作業時の快適性を実現

### ⑨ 耐滑性

JSAA A 種の認定付加性能である耐滑性を備えた、オールスターのアウトソールデザインをベースに広い接地面や屈曲溝の意匠を配したオリジナルデザインのアウトソールを採用

### ⑩ つまずきにくい

トウスプリングを高めに設定することで転倒の要因にもなるつまずきを軽減



33700570



33700571



33700581



33700580



33700590



33700591

**CONVERSE**  
ALL STAR® PS HI

■価格 ¥12,100(税抜価格¥11,000)

■カラー / 品番 ブラックモノクローム / 33700570

■ブラック / 33700571

■アッパー素材 シンセティックレザー / メッシュ

■中敷き 圧縮E. V. A.

■靴底 ラバー

JSAA規格 A種 人工皮革製プロスニーカー **Clarino.** カップインソール

米国サイズ 4.5 5 5.5 6 6.5 7 7.5 8 8.5 9 9.5 10.5

日本サイズ 23.0 23.5 24.0 24.5 25.0 25.5 26.0 26.5 27.0 27.5 28.0 29.0

※「クラリノ」は(株)クラレの人工皮革の登録商標です。

※一部取扱いのないサイズもございます。

### ALL STAR® PS OX

■価格 ¥12,100(税抜価格¥11,000)

■カラー / 品番 ブラックモノクローム / 33700581

■ブラック / 33700580

■アッパー素材 シンセティックレザー / メッシュ

■中敷き 圧縮E. V. A.

■靴底 ラバー

JSAA規格 A種 人工皮革製プロスニーカー **Clarino.** カップインソール

米国サイズ 4.5 5 5.5 6 6.5 7 7.5 8 8.5 9 9.5 10.5

日本サイズ 23.0 23.5 24.0 24.5 25.0 25.5 26.0 26.5 27.0 27.5 28.0 29.0

※「クラリノ」は(株)クラレの人工皮革の登録商標です。

※一部取扱いのないサイズもございます。

### ALL STAR® PS V-3 HI

■価格 ¥13,200(税抜価格¥12,000)

■カラー / 品番 ブラックモノクローム / 33700590

■ブラック / 33700591

■アッパー素材 シンセティックレザー / メッシュ

■中敷き 圧縮E. V. A.

■靴底 ラバー

JSAA規格 A種 人工皮革製プロスニーカー **Clarino.** カップインソール

米国サイズ 4.5 5 5.5 6 6.5 7 7.5 8 8.5 9 9.5 10.5

日本サイズ 23.0 23.5 24.0 24.5 25.0 25.5 26.0 26.5 27.0 27.5 28.0 29.0

※「クラリノ」は(株)クラレの人工皮革の登録商標です。

※一部取扱いのないサイズもございます。

シーズン品もホームページに掲載しております。  
QRコードからご覧ください。

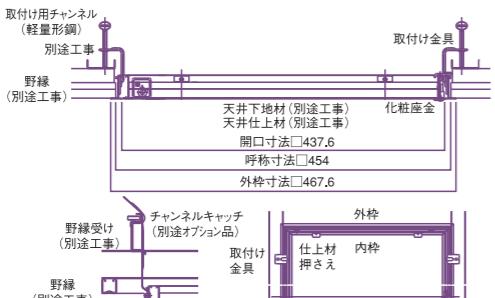
カタログ掲載ページ  
<https://www.kirii.co.jp/>



## 天井点検口



下記参考図は、オーバーレハッチ45角です。



### 天井仕上げ後でも取り付けられる簡易タイプ

#### バリエーション

額縁タイプ	枠縁の広いタイプ
気密タイプ	クリーンルーム等向けの気密性の高いタイプ
目地タイプ	枠縁の少ないすっきりとしたタイプ

※この他にも、バリエーションがございますので、別途ご確認ください。

#### 材質・仕上げ

内枠・外枠	耐食アルミニウム合金(A6063S-T5)押出形材にアルマイト仕上げ
仕上材押さえ・取付金具	冷間圧延鋼板JIS G 3141に電気亜鉛めっき光沢クロメート処理

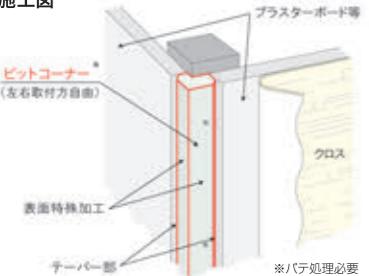
☆☆開口部補強については強度を充分検討して施工願います。

注1.) 国土交通省使用の場合は「公共建築工事標準仕様書」に則り補強をしてください。

注2.) 軒天井・キャノピー天井など外部に面している場所に使用する際は風の影響及び防犯上の配慮から鍵付タイプをご使用するようお願いします。

## ピットコーナー®

### ■施工図



### プラスチック製 クロス下地コーナー

特長	・美しい角仕上り ・施工効率アップ ・等間隔ビス穴付
----	----------------------------------

### ■ピットコーナー 9.5

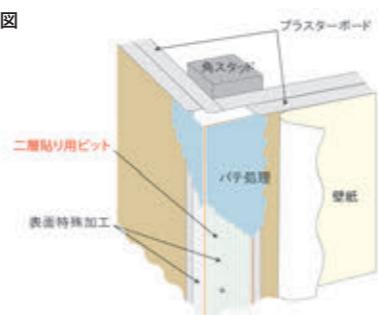
長さ 2.6m 入数 50本/ケース  
ビス穴φ3.3/ピッチ200mm

### ■ピットコーナー 12.5

長さ 2.6m 入数 40本/ケース  
ビス穴φ3.3/ピッチ200mm

## 二層貼り用ピット

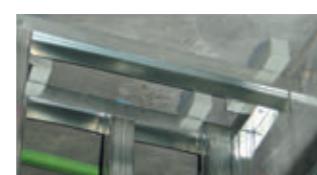
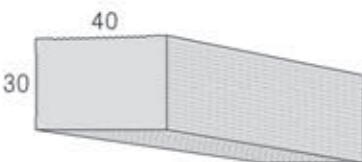
### ■施工図



## プラレン®

接着面(2面)特殊加工

※ビスは、長さ20mm以上をご使用下さい。



\*30X40 (L80mm) 500個入/袋  
(包装形態:pp不織布袋)  
\*30X40 (L150mm) 250個入/ケース  
(包装形態:段ボール)



## プラスチック製モクレンガ

### 特長

軽天・壁内装間仕切りに適した耐水・耐腐蝕のプラスチック製レンガ/パッキン材です。  
躯体への一斉貼り付け後、スムーズな断熱対策が図れ、作業効率の向上に最適です。

# 技術資料

### ■ 日本産業規格適合認証書—73

### ■ 建築用鋼製下地材(壁・天井)取扱注意事項—74

### ■ JIS A6517:2010建築用鋼製下地材(壁・天井)概要—75、76

### ■ JIS G3302:2019溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯概要—77

### ■ JIS G3323:2019 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯概要—78

### ■ 公共建築工事標準仕様書

建築工事編(抜粋、令和7年版)概要—79、80

### ■ 天井の標準的な施工手順—81

### ■ 壁の標準的な施工手順—82

### ■ 天井・壁納まり図—83~86

### ■ 天井野縁割付例/天井・壁標準使用数量—87、88

### ■ 断面性能一覧—89、90

### ■ 社内試験概要—91、92

# 日本産業規格適合認証書

JISマーク表示制度は、認証を受けた上で生産者が自己責任のもとで製品にJISマークの表示を行うものです。

「安定的、かつ、継続的に製造し得る能力を有すること」が要求されており、これを確認する為に審査が行われます。

この具体的な審査基準は「鉄工業品及びその加工技術に係る日本産業規格への適合性の認証に関する省令」によって定められています。



# 建築用鋼製下地材(壁・天井)取扱注意事項

## KIRI ブランドの基礎となる建築用鋼製下地材

### 建築用鋼製下地材(壁・天井)

#### 取扱注意事項

日本鋼製下地材工業会

#### 建築用鋼製下地材(壁・天井)取扱注意事項

#### 警 告 取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

- 搬入時、資材の落下やずり落ちによるケガを防ぎ、腰を痛めないようにして下さい。(現場での小運搬は無理のないようご注意下さい。)
- 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時にはパリも生じ易いので、手を傷つけないようにして下さい。(軍手等の保護手袋を着用して下さい。)
- 素手による取扱い、または素肌の露出部はケガをするおそれがありますのでご注意下さい。(素肌はなるべくさけるような服装にして下さい。)
- 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時はねあがり等によるケガが生じますのでご注意下さい。(梱包をとく場合は状況判断して作業をして下さい。)
- 搬入時や保管時について次のような事項にご注意して下さい。
  - 原則として、屋内の湿気をよばない場所に保管して下さい。(やむを得ず屋外に置く場合には防水シート等をかけて下さい。)
  - 製品は、地面に直接置かないで平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を施して荷崩れを起こさないよう置いて下さい。
- クレーン荷揚げ等の運搬に際しては、布製平形吊りバンドを使用するなど製品の角や表面の損傷に注意して下さい。また、製品の上に重い物を乗せないで下さい。
- 壁に重量物を固定すると落下、脱落により、思わぬケガをしたり壁面を破損する事があります。(必要に応じ所定の補強をして下さい。)
- 壁に重量物を立てかけたりすると倒壊により思わぬケガをすることがあります。(壁には重量物を立てかけないようにして下さい。)
- 天井に乗ったり、ぶら下がったりすると落下、脱落によりケガをすることがあります。(危険な行為はしないで下さい。)
- 天井から物を吊るしたり、物を載せたりすると落下、脱落により、ケガをしたり、また、天井周辺を破損することがあります。(所定の強度を有する構造にして下さい。)
- その他

#### 設計上の留意事項

##### 1. 鋼製壁下地材について

- 鋼製壁下地材は、建物内部の間仕切壁に適用し、外壁の下地材として用いるのは不適当です。
- 鋼製壁下地材は、非構造体であり、特に、強度面を考慮し設計して下さい。
- 鋼製壁下地材のスタッドは、間仕切壁の高さに合わせそれぞれの種類の長さの上限内とする。(上限長さは50形は2.7m、65形は4.0m、75形は4.0m、90形は4.5m、100形は5.0mとする。)ただし、同一の間仕切壁でスタッドの長さが異なる場合には、高い方の種類に合わせ統一して下さい。
- その他

##### 2. 鋼製天井下地材について

- 鋼製下地材の19形は屋内、25形は屋外用とします。

#### 施工上の留意事項

##### 1. 鋼製下地材のく(軸)体への取付けやインサートとの接合は確実に堅ろうに行って下さい。

- 開口部の補強は、所定の補強方法によって施工して下さい。
- 配管、空調ダクト、空調機器、照明器具等と鋼製下地材とはそれぞれ独立して取付けを行って下さい。
- 溶接した箇所は、防せい処理(亜鉛めっき鋼面錆止め塗料を塗布)を施して下さい。
- 建築物の屋外で特に強度が必要な場所に使用される天井下地材は、強度、安全性を更に増した所定の構造によって施工して下さい。
- その他標準施工に必要な事項。
  - 床版などのコンクリートは、所定の強度を確保して下さい。
  - コンクリートは、所定の養生期間を確保して乾燥も十分に行って下さい。
  - 床版、壁面等には、大きな突起・不陸がないようにして下さい。
  - 床面などは水や湿気だまりが生じないように考慮して下さい。
  - 鋼製下地材の部分の接合部のボルトナット、ねじおよび固定金物、溶接などは確実に固定して下さい。

- 水平精度は、仕上げ材の施工に支障とならないよう適切に行って下さい。

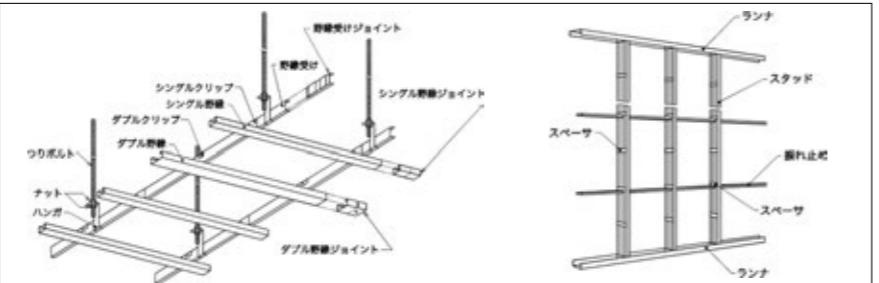
**1 適用範囲**

この規格は、建築物の主として屋内に使用する鋼製下地材の壁用鋼製下地材（以下、壁下地材といふ。）及び天井鋼製下地材（以下、天井下地材といふ。）について規定する。

**2 鋼製下地材の名称・種類**

壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物の名称は、図1による。

図1



鋼製下地材は、使用用途によって壁下地材と天井下地材とに区分し、壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物並びに構成部材の組合せは、次による。

表1 構成部材の種類

鋼製下地材	構成部材の種類	記号	構成部材の種類	記号
壁下地	スタッド	WS-50	WR-50	
		WS-65	WR-65	
		WS-75	WR-75	
		WS-90	WR-90	
		WS-100	WR-100	
天井下地	振れ止め	WB-19	WB-25	
	シングル野縁	CS-19	CW-19	
	ダブル野縁	CS-25	CW-25	
	野縁受け	CC-19	CC-25	

表3 附属金物の種類

鋼製下地	種類
壁下地材附属金物	スペーサ
	つりボルト
	ナット
天井下地材附属金物	ハンガ
	クリップ
	シングル野縁ジョイント
	ダブル野縁ジョイント
	野縁受けジョイント

**3 品質**

外観 壁下地材及び天井下地材の外観は、規定どおりに試験を行い、次の規定に適合しなければならない。

- a) 壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上支障のあるねじれ及び変形があつてはならない。
- b) 壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上有害な引っかききず、凹凸及び汚れがあつてはならない。

性能 壁下地材及び天井下地材の性能は、規定どおりに試験を行い、表4及び表5の規定に適合しなければならない。

表4 性能(壁下地材)

性能項目	50形	65形	75形	90形	100形
亜鉛の付着量※1	JIS G 3302 Z12 (120g/m <sup>2</sup> ) 以上	JIS G 3321 AZ90 (90g/m <sup>2</sup> ) 以上			
部材の形状安定性	横曲がり (A) mm (B) mm	ランナ及びスタッドはL/1000以下、 振れ止めは2L/1000以下 2L/1000以下			
載荷強さ	最大残留たわみ量は2mm以下				
耐衝撃性	最大残留たわみ量は10mm以下で、 部材の折れ及び外れがあつてはならない。				

※1 亜鉛の付着量の規定は、JIS G 3302の（両面等厚めきの最小付着量）3点平均付着量による。

又は、JIS G 3321も（両面等厚めきの最小付着量）の3点平均付着量による。

表5 性能(天井下地)

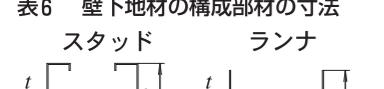
性能項目	19形	25形
亜鉛の付着量※1	Z12 (120g/m <sup>2</sup> ) 以上	AZ90 (90g/m <sup>2</sup> ) 以上
部材の形状安定性	横曲がり (A) mm (B) mm	2L/1000以下
截荷強さ	野縁 野縁受け 上向き載荷	最大たわみ量は10mm以下、 最大たわみ量は5mm以下、 最大たわみ量は5mm以下
	野縁	最大たわみ量は5mm以下

**4 形状及び寸法**

壁下地材及び天井下地材の構成部材の寸法は、規定どおりに測定したとき、表6及び表7の規定に適合しなければならない。

壁下地材の附属金物（スペーサ）の板厚は、規定どおりに測定したとき、0.7mm以上（板厚の許容差は、JIS G 3302又はJIS G 3321による。）とする。天井下地材の附属金物の寸法は、規定どおりに測定したとき、表8の規定に適合しなければならない。

表6 壁下地材の構成部材の寸法

**5 材料**

鋼製下地材	構成部材	附属金物	適用JIS <sup>a)</sup>
壁下地材	スタッド、ランナ、振れ止め	スペーザ	JIS G 3302:種類及び記号は、冷延原板のSGCC又はSGC400とし、熱延原板はSGHC又はSGH400とする。 JIS G 3321:種類及び記号は、冷延原板のSGLCC又はSGLC400とし、熱延原板はSGLHC又はSGLH400とする。 めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号のZ12以上とする。
天井下地材	シングル野縁、ダブル野縁、野縁受け	ハンガ、クリップ、シングル野縁ジョイント、ダブル野縁ジョイント、野縁受けジョイント	JIS G 3321:種類及び記号は、冷延原板のSGLCC又はSGLC400とし、熱延原板はSGLHC又はSGLH400とする。 めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号のAZ90以上とする。
	—	つりボルト、ナット	JIS G 3505:種類及び記号は、SWRM8、SWRM10又はSWRM12とする。また、JIS H 8610に規定する1級以上、JIS H 8625に規定する1級CM1A以上又はこれと同等以上の防せい処理を施したものとする。

注 a) 受入れ時の鋼材検査証明書などによって確認する。

表7 天井下地材の構成部材の寸法



野縁受け

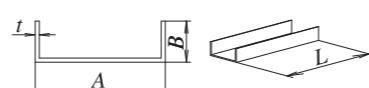


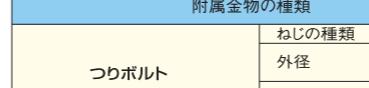
表8 天井下地材の附属金物の寸法

構成部材	記号	幅(A)		高さ(B)		板厚(t) <sup>b)</sup>		長さ(L) <sup>a)</sup>		単位:mm
		基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	
シングル野縁	CS-19	25		19						
	CS-25		±1.5		25					
ダブル野縁	CW-19	50		19						
	CW-25		±1.5		25					
野縁受け	CC-19	38	±0.5	12	±1.5	0.5		4,000, 5,000	+40, 0	
	CC-25		±0.5		16					

注 a) 長さ(L)は、それぞれの記号の長さの上限内において受渡当事者間の協定によって定めてよい。

b) 板厚(t)の許容差は、JIS G 3302及びJIS G 3321による。

野縁受け



天井材の種類	天井材の種類	幅(A)		高さ(B)		板厚(t) <sup>b)</sup>		長さ(L) <sup>a)</sup>		単位:mm
		19形	25形	19形	25形	19形	25形	19形	25形	
19形	25形	9.0	11.5	17	20	0.5	0.5	2.0	2.0	
25形	25形	17	20	20	25	0.5	0.5	2.0	2.0	

注 a) 板厚の許容差は、JIS G 3302又はJIS G 3321によるものとし、他の寸法（幅、高さなど）については、受渡当事者間の協定による。

## 1 適用範囲

この規格は、溶融亜鉛めっき鋼板（以下、板という。）、溶融亜鉛めっき鋼帯（以下、コイルという。）及び板をJIS G 3316に規定する形状及び寸法に加工した波板（以下、波板という。）について規定する。

## 2 種類の記号及び適用する表示厚さ

板及びコイルの種類は、熱間圧延鋼板及び鋼帯（以下、熱延原板という。）を用いた2種類、及び冷間圧延鋼板及び鋼帯（以下、冷延原板という。）を用いた3種類とし、種類の記号及び適用する表示厚さは、表1及び表2による。

表1 種類の記号及び適用する表示厚さ(熱延原板の場合) 単位:mm		
種類の記号	表示の厚さ	適用
SGHC	1.6以上 6.0以下	一般用
SGH400	1.6以上 6.0以下	高強度一般用

表2 種類の記号及び適用する表示厚さ(冷延原板の場合) 単位:mm		
種類の記号	表示の厚さ	適用
SGCC	0.19以上 3.2以下	一般用
SGC400	0.25以上 3.2以下	高強度一般用
SGC570	0.25以上 2.0以下	高強度一般用

## 3 めっきの付着量

めっきは、両面等厚めっきとし、めっきの付着量表示記号は、次による。  
a) 板、コイル波板のめっきの付着量は、両面の合計付着量によって表し、表3の3点平均最小付着量及び1点最小付着量の規定値以上とする。

表3 めっきの付着量(両面の合計)			
めっきの区分	めっきの付着量表示記号	3点平均付着量	1点最小付着量
非合金化めっき	Z08 Z12	80 120	68 102

## 4 寸法許容差

- a) 製品厚さの許容差は、表示厚さを小数点以下3桁で表した数値に、表6に規定する相当めっき厚を加え、JIS Z 8401の規則Aによって小数点以下2桁に丸めた数値とする。  
b) 製品厚さの許容差は、表4、表5による。  
c) 製品厚さの許容差は、縁（幅方向端部）から25mm以上内側に適用する。  
d) コイルの場合、表面きず、折れなどの欠点部分には、厚さの許容差を適用しない。

## 5 質量及びその許容差

- (1) 板及び波板の質量は、特に指定のない場合、計算質量とし、キログラムで表す。  
(2) コイルの質量は、実測質量又は計算質量とし、キログラムで表す。  
(3) 板、コイル及び波板の質量の計算方法は、表8による。

表4 製品厚さの許容差(熱延原板を用いた場合) 単位:mm

表示厚さ	幅				
	1200未満 1500未満	1200以上 1800未満	1500以上 1800未満	1800以上 2300以下	構造用 1600未満 2000未満
1.60以上 2.00未満	±0.17	±0.18	±0.19	±0.22	±0.20
2.00以上 2.50未満	±0.18	±0.20	±0.22	±0.26	±0.21
2.50以上 3.15未満	±0.20	±0.22	±0.25	±0.27	±0.23
3.15以上 4.00未満	±0.22	±0.24	±0.26	±0.28	±0.30

※幅2000mm未満について適用する。

表5 製品厚さの許容差(冷延原板を用いた場合) 単位:mm

表示厚さ	幅				
	630未満 1000未満	630以上 1250未満	1000以上 1600未満	1250以上 1600未満	1600以上
0.25未満	±0.04	±0.04	±0.04	—	—
0.25以上 0.40未満	±0.05	±0.05	±0.05	±0.06	—
0.40以上 0.60未満	±0.06	±0.06	±0.06	±0.07	±0.08
0.60以上 0.80未満	±0.07	±0.07	±0.07	±0.07	±0.08
0.80以上 1.00未満	±0.07	±0.07	±0.08	±0.09	±0.10
1.00以上 1.25未満	±0.08	±0.08	±0.09	±0.10	±0.12
1.25以上 1.60未満	±0.09	±0.10	±0.11	±0.12	±0.14
1.60以上 2.00未満	±0.11	±0.12	±0.13	±0.14	±0.16
2.00以上 2.50未満	±0.13	±0.14	±0.15	±0.16	±0.18
2.50以上 3.15未満	±0.15	±0.16	±0.17	±0.18	±0.21
3.15以上 3.20以下	±0.17	±0.18	±0.20	±0.21	—

表6 相当めっき厚さ 単位:mm

めっきの付着量表示記号	Z08	Z12
相当めっき厚さ	0.017	0.026

表7 質量の計算に用いるめっき量定数

めっきの付着量表示記号	Z08	Z12
めっき量定数	0.120	0.183

表8 質量の計算方法 単位:mm

計算順序	計算方法	結果のけた数
原板の基本質量 kg/mm <sup>2</sup> m <sup>2</sup>	7.85(厚さ1mm・面積1m <sup>2</sup> )	—
原板の単位質量 kg/m <sup>2</sup>	基本質量(kg/mm <sup>2</sup> m <sup>2</sup> ) × 表示厚さ(mm)	有効数字4桁に丸める
めっき後の単位質量 kg/m <sup>2</sup>	原板の単位質量(kg/m <sup>2</sup> ) + めっき量定数	有効数字4桁に丸める
板の面積 m <sup>2</sup>	幅(mm) × 長さ(mm) × 10 <sup>-6</sup>	有効数字4桁に丸める
板の質量 kg	めっき後の単位質量(kg/m <sup>2</sup> ) × 面積(m <sup>2</sup> )	有効数字3桁に丸める
板の1枚の質量 kg	板の質量(kg) ÷ 同一寸法の1枚の枚数	kgの整数値に丸める
板の1枚の質量 kg	板の質量(kg) ÷ 同一寸法の1枚の枚数	kgの整数値に丸める
板の総質量 kg	各板の質量(kg)の総和	kgの整数値
コイルの単位質量 kg/m	めっき後の単位質量(kg/m <sup>2</sup> ) × 幅(mm) × 10 <sup>3</sup>	有効数字3桁に丸める
コイルの1コイルの質量 kg	コイルの単位質量(kg/m) × 長さ(m)	kgの整数値に丸める
コイルの総質量 kg	各コイルの質量(kg)の総和	kgの整数値

備考：1. 数値の丸め方は、JIS Z 8401の規則Aによる。  
2. 波板の面積の計算に用いる幅は、波付け前の寸法による。  
3. 結束質量が指定された場合の枚数は、指定質量を同一形状、同一寸法、同一めっき付着量ごとに板1枚の質量で除して求め、整数値に丸める。

## 1 適用範囲

この規格は、溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板（以下、板という。）及び溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼帯（以下、コイルという。）並びに板をJIS G 3316に規定する形状及び寸法に加工した波板（以下、波板という。）について規定する。

## 2 種類の記号及び適用する表示厚さ

板及びコイルの種類は、熱間圧延鋼帶（以下、熱延原板といふ。）を用いた1種類、及び冷間圧延鋼帶（以下、冷延原板といふ。）を用いた1種類とし、種類の記号及び適用する表示厚さは、表1及び表2による。

表1 種類の記号及び適用する表示厚さ(熱延原板の場合) 単位:mm

種類の記号	表示の厚さ	適用
SGMHC	1.6以上 9.0以下	一般用

表2 種類の記号及び適用する表示厚さ(冷延原板の場合) 単位:mm

種類の記号	表示の厚さ	適用
SGMCC	0.20以上 3.2以下	一般用

## 3 めっきの付着量

めっきは、両面等厚めっきとし、めっきの付着量表示記号は、次による。

- a) 板、コイル及び波板のめっきの付着量は、両面の合計付着量によって表し、表3の3点平均最小付着量及び1点最小付着量の規定値以上とする。

表3 めっきの付着量 単位:g/m<sup>2</sup>

めっきの付着量表示記号	3点平均付着量	1点最小付着量
K27	275	234

## 4 寸法許容差

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（一社）公共建築協会

## CEILING

## 軽量鉄骨天井下地

## 1. 一般事項

屋内及び屋外の軽量鉄骨天井下地に適用する。ただし、次の天井を除く。

- (ア)「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年8月5日 国土交通省告示第771号)に定める特定天井  
 (イ)天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が $20\text{kg}/\text{m}^2$ を超える天井  
 (ウ)傾斜、段差、曲面等の水平でない天井  
 (エ)システム天井

## 2. 材 料

(1)天井下地材は、JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））による。

(2)野縁等は表1により、種類は特記による。特記がなければ、屋内は19形、屋外は25形とする。

表1 野縁等の種類

部材	種類	19形	25形
シングル野縁		$25 \times 19 \times 0.5$	$25 \times 25 \times 0.5$
ダブル野縁		$50 \times 19 \times 0.5$	$50 \times 25 \times 0.5$
野縁受け		$38 \times 12 \times 1.2$	$38 \times 12 \times 1.6$
ハンガー		厚さ2.0以上	
クリップ		板厚0.6以上	板厚0.8以上
吊りボルト		転造ねじ、ねじ外径9.0（有効径8.1以上）	
ナット		高さ8.0	

(3)補強に用いる部材等は、防錆処理されたものとする。

(4)インサートは、鋼製とし、防錆処理されたものとする。

## 3. 形式及び寸法

(1)野縁受け、吊りボルト及びインサートの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。ただし、屋外の場合は、特記による。

(2)野縁の間隔は、表2による。ただし、屋外の場合は、特記による。

表2 野縁の間隔

天井仕上げの種類	野縁の間隔	ダブル野縁の間隔
下地張りのある場合	360程度	1800程度
仕上材料となるボードの直張り、壁紙又は塗装の下地となるボードの直張り	300程度	900程度
ボードの一辺の長さが450mm程度以下の場合の直張り	225程度以下	450程度以下
金属成形板張りの場合	360程度	—

## 4. 工 法

(1)インサートは、型枠組立時に配置する。

(2)吊りボルトの軸体への取付けは、コンクリート等の場合、埋込みインサートに十分ねじ込み、固定する。鉄骨の場合、溶接等の適切な工法を用いて取り付ける。

なお、ダクト等のため、軸体に直接吊りボルトが取り付けられない場合は、アングル等の鋼材を別に設けて、吊りボルトを取り付ける。

(3)野縁の吊下げは、吊りボルト下部のハンガーに野縁受けを取り付け、これに野縁をクリップで留め付ける。

なお、クリップのつめの向きは、野縁受けに対し交互にして留め付ける。また、クリップの野縁受けへの留付けは、つめが溝側に位置する場合、野縁受けの溝内に確実に折り曲げる。

(4)下地張りがなく野縁が壁等に突き付く場合で、天井目地を設ける場合は、厚さ0.5mm以上のコ形又はL形の亜鉛めっき鋼板を、野縁端部の小口に差し込むか、又は、添え付けて留め付け、天井目地の目地底とする。また、下地張りがなく野縁が壁に平行する場合は、端部の野縁をダブル野縁とする。

(5)開口部の補強は、次による。

(ア)照明器具、ダクト吹出し口、天井点検口等の開口のために、野縁又は野縁受けを切断する場合は、同材で補強する。また、ダクト等によつて吊りボルトの間隔が900mmを超える場合は補強を行うこととし、補強方法は特記による。

(イ)天井点検口等の開口部は、取付け用の補強材を設ける。

(6)野縁は、野縁受けから150mm以上はね出してもならない。また、野縁受けは、ハンガから300mm以上はね出してもならない。

(7)下がり壁、間仕切壁等を境として、天井に段違いがある場合は、野縁受けと同材又はL-30×30×3 (mm)程度の部材で、間隔2.7m程度に斜め補強を行う。

(8)天井のふところが1.5m以上の場合は、原則として、施工用補強部材等を用いて、次により、吊りボルトの補強を行う。ただし、(10)又は(11)

により補強を行う場合は、必要に応じて、省略することができる。

なお、天井のふところが3mを超える場合は、特記による。

(ア)水平補強は、縦横方向に間隔1.8m程度で配置する。

(イ)斜め補強は、相対する斜め材を1組とし、縦横方向に間隔3.6m程度で配置する。

(9)溶接した箇所は、仕様書の「18章塗装工事」に記載の〔亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別〕のAz種の錆止め塗料を塗り付ける。

(10)天井下地材における耐震性を考慮した補強は、特記による。

(11)屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強は、特記による。

## WALL

## 軽量鉄骨壁下地

## 1. 一般事項

屋内の間仕切壁等の軽量鉄骨壁下地に適用する。

## 2. 材 料

(1)壁下地材は、JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））による。

(2)開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理されたものとする。

(3)組立及び取付け用打込みピン、小ねじ、ボルト等は、防錆処理されたものとする。

## 3. 形式及び寸法

(1)スタッド、ランナー等は、表3により、種類は特記による。特記がなければ、スタッドの高さによる区分に応じた種類とする。

表3 スタッド、ランナー等の種類

部材等種類	スタッド	ランナー	振れ止め	出入口及びこれに準ずる開口部の補強材	補強材取付け用金物	スタッドの高さによる区分
50形	$50 \times 45 \times 0.8$	$52 \times 40 \times 0.8$	$19 \times 10 \times 1.2$	—	—	高さ2.7m以下
65形	$65 \times 45 \times 0.8$	$67 \times 40 \times 0.8$		$\square-60 \times 30 \times 10 \times 2.3$	L-30×30×3	高さ4.0m以下
90形	$90 \times 45 \times 0.8$	$92 \times 40 \times 0.8$	$25 \times 10 \times 1.2$	$\square-75 \times 45 \times 15 \times 2.3$		高さ4.0mを超え4.5m以下
100形	$100 \times 45 \times 0.8$	$102 \times 40 \times 0.8$		$2\square-75 \times 45 \times 15 \times 2.3$	L-50×50×4	高さ4.5mを超え5.0m以下

(注) 1. ダクト類の開口部の補強材は、それぞれ使用した種類のスタッド又はランナーとする。

2. スタッドの高さに高低がある場合は、高い方を適用する。

3. 50形は、ボード片面張りの場合に適用する。

4. スタッドの高さが5.0mを超える場合は、特記による。

(2)スタッドの間隔は、下地張りのある場合、450mm程度とする。また、仕上材料となるボード又は壁紙若しくは塗装下地となるボードを直張りする場合、300mm程度とする。

## 4. 工 法

(1)ランナーは、端部を押さえ、間隔900mm程度に打込みピン等で、床、梁下、スラブ下等に固定する。ただし、鉄骨、軽量鉄骨天井下地等に取り付ける場合は、タッピンねじの類又は溶接で固定する。

(2)スタッドの上下は、ランナーに差し込む。

(3)振れ止めは、床面ランナー下端から約1.2mごとに設ける。ただし、上部ランナー上端から400mm以内に振れ止めが位置する場合は、その振れ止めを省略することができる。

(4)スペーサーは、各スタッドの端部を押さえ、間隔600mm程度に留め付ける。

(5)出入口及びこれに準ずる開口部の補強は、特記による。特記がなければ、次による。

(ア)縦枠の補強材は、上は梁下、スラブ下の類に達するものとし、上下とも、あと施工アンカー等で固定した取付け用金物に溶接又はボルトの類で取り付ける。

なお、65形で補強材が4.0mを超える場合は、2本抱き合せて、端部を押さえ、間隔600mm程度に溶接等で組み立てたものを用いる。

(イ)上枠等の補強材は、縦枠の補強材に取付け用金物を用いて、溶接又は小ねじの類で取り付ける。

(ウ)開口部のために切断されたスタッドは、上下枠の補強材にランナーを固定し、これに取り付ける。

(6)ダクト類の開口部の補強は、次による。

なお、開口部の補強にあたり、取付け強度を必要とする場合は、監督職員との協議による。

(ア)開口部の上下の補強材は、スタッドに取付け用金物を用いて、溶接又は小ねじの類で取り付ける。

(イ)縦の補強材は、開口部の上下の補強材に取付け用金物を用いて、溶接又は小ねじの類で取り付ける。

(ウ)開口部のために切断されたスタッドは、開口部の上下の補強材にランナーを固定し、これに取り付ける。

(7)スタッドがコンクリート壁等に添え付く場合は、スペーサーで振れ止め上部を押さえ、必要に応じて、振れ止め上部のスタッドは、打込みピン等で固定する。

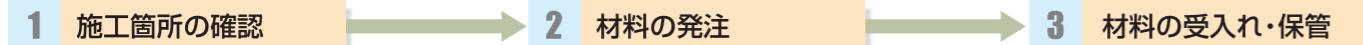
(8)そこで壁の端部は、(5)(ア)により、スタッドに縦枠の補強材と同材を添えて補強する。

(9)溶接した箇所は、仕様書の「18章塗装工事」に記載の〔亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別〕のAz種の錆止め塗料を塗り付ける。

# 天井の標準的な施工手順

## 天井施工フローチャート

### 施工フロー



#### 4 墨出し(施工墨)

建物の基準墨、FLより1.0m上がりの陸墨から各スパンの壁面または、柱面などに野縁面(野縁の下端)の水平墨(天井下地墨)出しを行う。

#### 5 吊りボルトの取付け

所定の長さの吊りボルト下部にハンガーをナット2個にて締付け天井スラブ等のインサートに十分ねじ込み固定する。  
 ①吊りボルト及びインサートの間隔は、900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。また、インサートは鋼製とし、防錆処理を行ったものとする。  
 ②インサートは、型枠組立時に配置してコンクリートに埋め込む。(別途工事)  
 ③吊りボルトの上部は、埋め込みインサートに取付ける。  
 埋め込みインサート以外への取付けは適切な工法で堅牢に行うものとする。  
 ④吊りボルトの下部には、高さを調整できるハンガーに野縁受けを取付ける。  
 ⑤吊りボルトは、天井下地材専用とし他の用途に使用する場合は、別に設けるものとする。  
 ⑥吊りボルトは、垂直に正しく保つよう施工する。

#### 6 野縁受けの取付け

野縁受けの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。野縁受けは、一方方向に配して、ハンガーに確実に取り付け、連結には、野縁受けジョイントを使用する。野縁受けのジョイントは、1.0m以上離して千鳥に配置することが望ましい。また、野縁受けの端部は必ず軸体までとどくように配列し、野縁受けは、水平に保つよう施工することが重要である。

#### 7 補強材の取付け

天井の窓が、屋内1.5m以上の場合は、公共建築工事標準仕様書に準じて吊りボルトの補強を行う。これらの補強材は、防錆処理を施すこと。下がり壁、間仕切壁などを境にして天井に段違いがある場合は、野縁受けと同材またはL-30×30×3程度の補強材を入れる。なお、ここでいう水平補強及びブレース(斜め補強)は、必ずしも耐震性を付与することを意図したものではない。特別に、耐震性を付与する必要がある天井の場合には、建物との共振の検討や周辺骨組みとのクリアランスの確保等の検討をしたうえで、適切に補強材を設置するなどの対策を考える必要がある。

#### 8 野縁の取付け

野縁のピッチを野縁受けに墨を出し、シングル野縁、ダブル野縁をボードの割付けにより所定の間隔で一方向に野縁受けと直角方向に配置する。野縁と野縁受けの留付けは、クリップ留めとし、クリップは、野縁受けに対し交互の向きにかける。また、野縁のジョイントは、野縁ジョイントを使用する。野縁ジョイントの位置は、千鳥に配置しジョイントの位置を約1.0m以上離し野縁受け近くに設け、同列になったり、ねじれ、目違いが生じないように施工する。また野縁は、野縁受けから150mm以上のはね出しをしてはならない。壁に平行にする場合の、端部の野縁は、必ずダブル野縁を使用する。

#### 9 開口部補強

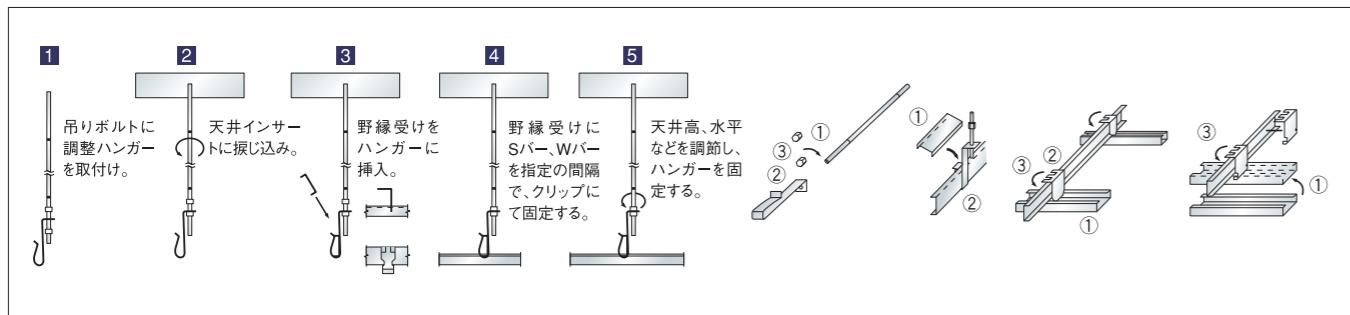
照明器具、ダクト吹出口類の開口のために野縁が切断される場合は、野縁または野縁受けと同材で補強する。(野縁は、野縁受けから150mm以上はね出さないこと。また野縁受けの持出しが300mm以上のときは、増しづりを行う。)天井改め口類の人の出入りする開口部は、野縁受けと同材で補強する。

#### 10 レベルの調整・確認

野縁取付完了後、すでに壁面や柱面などに出してある天井下地墨に合わせ、下地レベルを調整し、ハンガーのナットを本締めする。次に、基点と基点に水糸を張り、中間部の天井下地面のレベルを調整し、さらに全体のレベルを調整し、各々のハンガーのナットを本締めする。

#### 11 点検・検査

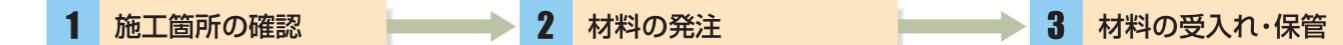
『参考:水平面精度・基準レベルに対し10mm以下、3mにつき3mm以下程度とする。』JASS26  
 溶接又は溶断した箇所は、規定の錆止め塗料を塗り付ける。発生音や振動などを防止するため天井下地材が直接ダクト等に触れないように注意して施工する。繰り返し外力等を受ける部分は、ゆるみ止めなどを講じた施工を行う。



# 壁の標準的な施工手順

## 壁施工フローチャート

### 施工フロー



#### 4 墨出し(施工墨)

建物の基準墨や地墨などにより設計図や施工図に基づき間仕切・壁下地材の芯墨、逃げ墨などを所定の位置に墨出しを行う。また出入口など開口部の位置も事前にマークする。

#### 5 上、下ランナーの固定

ランナーを芯墨、逃げ墨に合わせ、端部を押さえ900mm程度に打込みピンなどで、床、梁下、床版下などに固定する。ただし、鋼製天井下地材などに取付ける場合は、タッピングビスの類または溶接で固定する。ランナー両端部は端部より約50mm内側を固定する。  
 打込みピンは、建設用びょう打銃による発射固定びょうであり、安全管理及び保管には注意が必要である。

#### 6 スタッドの切断

スタッドは、間仕切壁の高さに合わせて切断する。スタッドの長さ(高さ)は、上部ランナー上端より10mm程度短いものを限度とする。また、振れ止めが水平に通るよう、スタッドに設けられた振れ止め用の貫通孔を正しい位置に設けること。

#### 7 スペーサーの取付

スペーサーは、各スタッドの端部を押さえ間隔600mm程度に留め付ける。スタッド両端のスペーサーは、スタッドの建込みを容易にするため端よりずらしておき、建込み後に上下のランナーの近くにセットする。  
 また、スペーサーが正しくセットされているかチェックすること。

#### 8 スタッドの建込み

スタッドの間隔は、施工図に基づき下地貼りのある場合は450mm程度、仕上げ材料を直貼りするか、壁紙または塗装下地の類を張付ける場合には300mm程度とし、スタッドを上下ランナーに建て込む。また、スタッドがコンクリート壁などに据え付く場合は、振れ止め上部に打込みピン等で固定する。

#### 9 振れ止めの取付け

振れ止めは、床面ランナー下端から約1.2m毎に設ける。ただし、上部ランナーから400mm以内に振れ止めが位置する場合は、その振れ止めは、省略することができる。振れ止めは、フランジ側を上向きにしてスタッドに通し、振れ止めに浮きが生じないようにスペーサーで押さえ取付ける。

#### 10 開口部補強

JASS26-1991参照  
 開口部の補強材及び取付用金物 (単位: mm)

種類	部材	開口部の補強材	開口部補強材取付用金物
50形			
65形			L-30×30×3
75形		□-60×30×10×2.3	
90形		□-75×45×15×2.3	
100形		2□-75×45×15×2.3	L-50×50×4

\*上記表は、日本鋼製下地材工業会参照。

\*公共建築標準仕様書: 50形の開口部の補強材の明記はなし。

\*JASS26: 50形の開口部の補強材は□-50×30×10×1.6とする。

\*ダクト類の小規模な開口部の補強材は、開口部のある壁に使用したスタッドまたはランナーと同材とする。

\*スタッドの高さに高低がある場合は、高い方を適用する。

\*開口部補強材及びその取付用金物は、錆止め塗装または亜鉛めっきを行ったものとする。

\*組立及び取付用打込みピン・タッピングねじ・ボルトなどは、亜鉛めっきを行ったものとする。

\*スタッドの高さが5.0mを超える場合は、特記による。

65形・75形で補強材の長さが400mmを超える場合は、同材の補強材を2本抱き合わせ、上下端部及び間隔600mm程度に溶接したものを用いる。垂直方向の補強材は、上部ランナーが鋼製天井下地に取り付けられる場合でも、上部は梁下・スラブ下に固定する必要があるが、階高が大きく補強材が長くなりすぎる場合は、垂直方向の補強材を支持するための鉄骨梁などを設け、これに固定する場合もある。但し、十分な支持強度を確保する必要がある。

出入口などの開口部の補強材は、補強材の断面性能などから開口幅は2000mm程度、扉などが取り付く場合の重量も一般的なものを対象に選定されているため、開口幅が大きい場合や重量物が取り付く場合などは、別途強度計算などによって補強材を選定する必要がある。

溶接又は溶断した箇所は、規定の錆止め塗料を塗り付ける。発生音や振動などの防止のためダクト類の四周については、下地材・補強材などがダクト等に触れないように注意して施工する。  
 繰り返し外力等を受ける部分は、ゆるみ止めなどを講じた施工を行うこと。

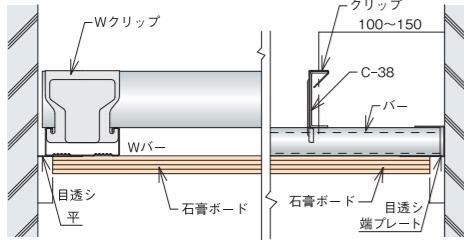
#### 11 点検・検査

#### 12 次工程へ

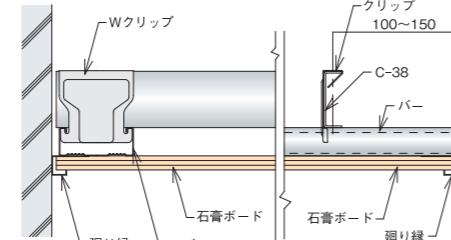
# 天井納まり図

## 1 壁(躯体)際納まり

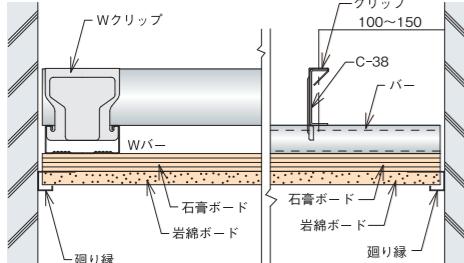
壁納まり(目地板使用の場合)



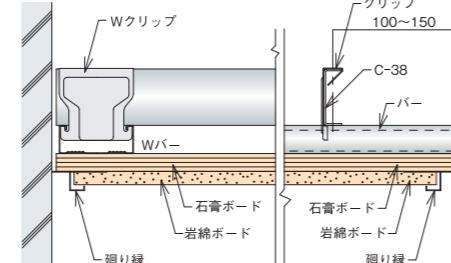
壁納まり(廻り縁使用の場合)



壁納まり(廻り縁使用の場合)



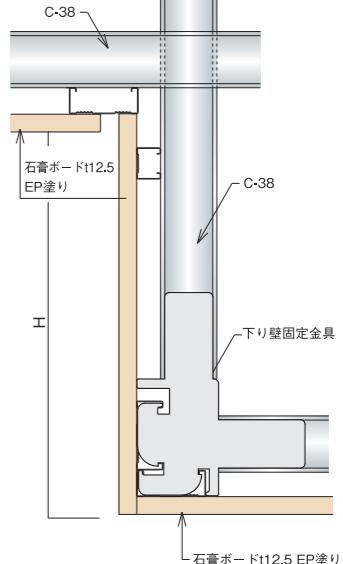
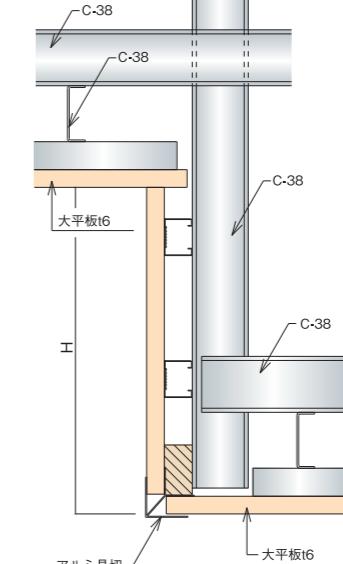
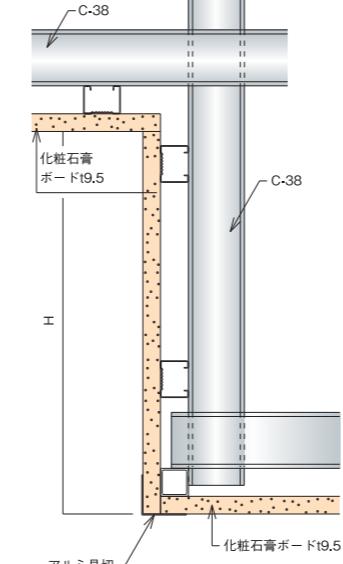
壁納まり(廻り縁使用の場合)



※耐震を考慮する場合は、クリアランスが必要

単位:mm

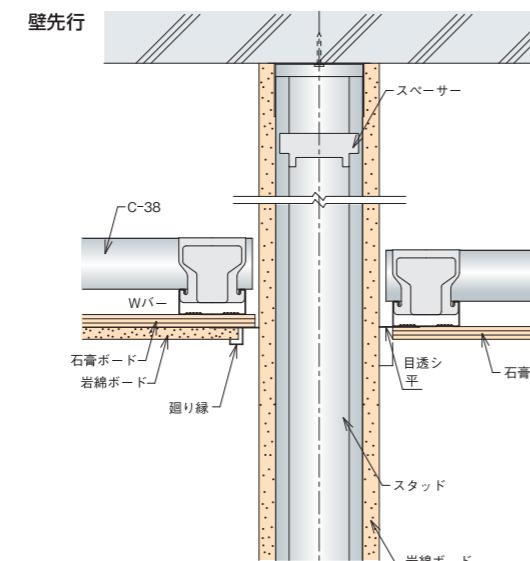
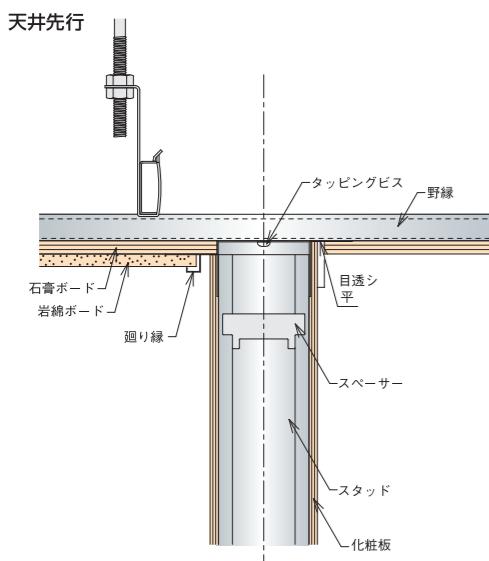
## 3 下がり天井



※耐震を考慮しない場合 (耐震を考慮する場合は別途ご検討ください)

単位:mm

## 2 壁納まり(天井先行、壁先行)

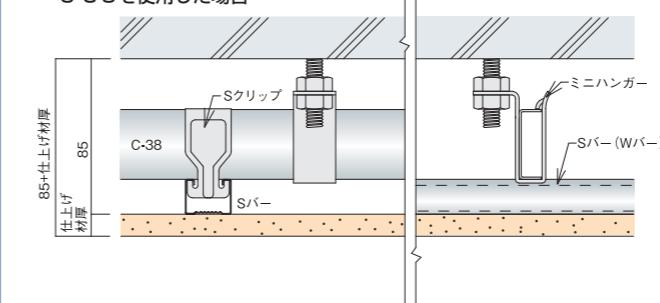


※耐震を考慮しない場合 (耐震を考慮する場合は別途ご検討ください)

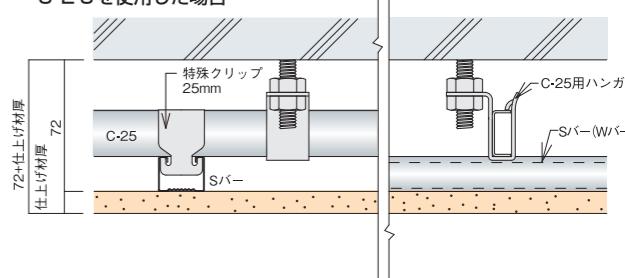
単位:mm

## 4 狹天井納まり

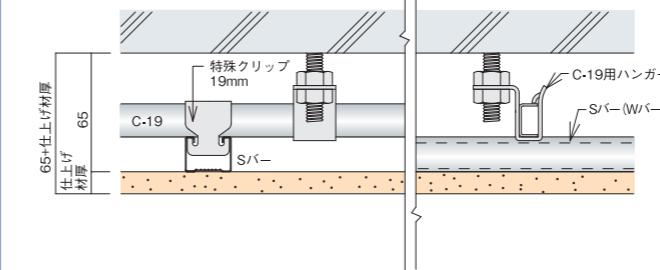
C-38を使用した場合



C-25を使用した場合



C-19を使用した場合



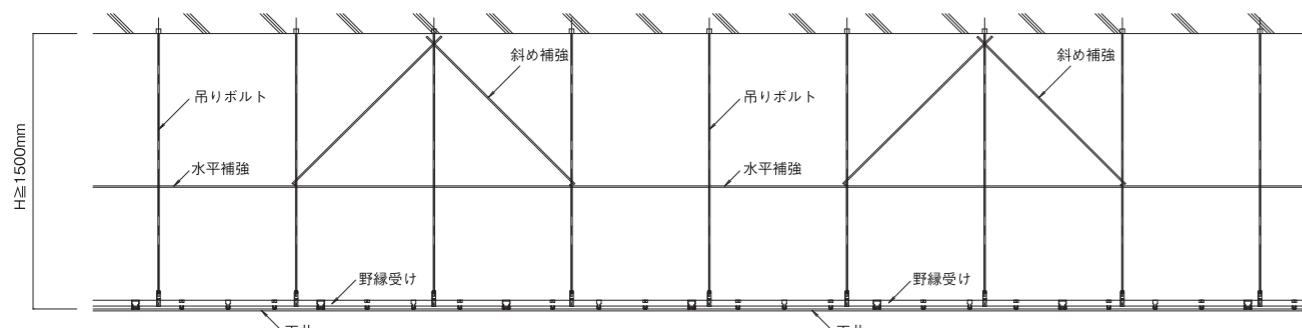
**注意**  
ここに記載されている施工方法は公共建築工事標準仕様書の規定外になりますのでご注意願います。  
又、吊りボルトのピッチは計算の上、設定願います。

# 天井納まり図

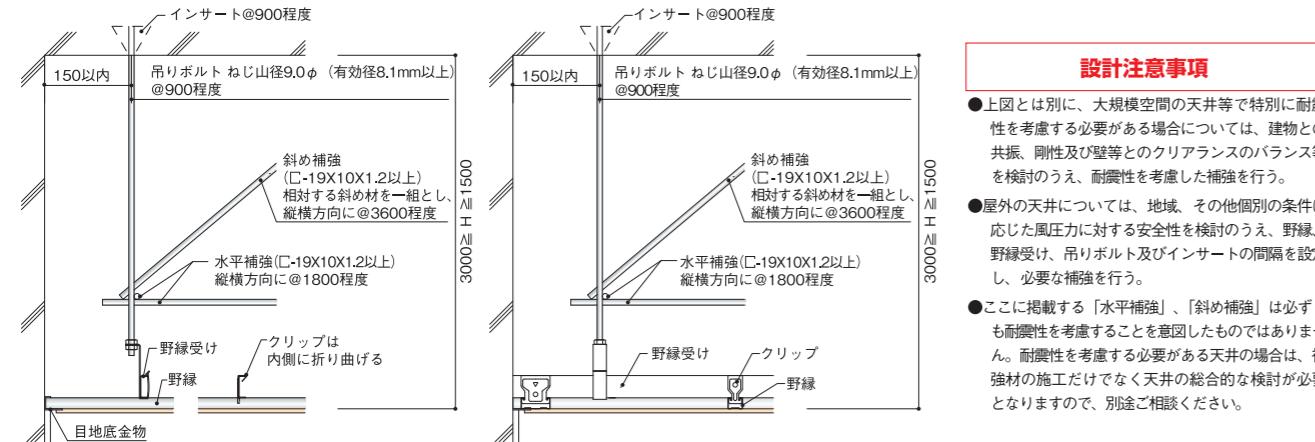
## 5 補強材（天井ふとろが大きい場合）

周辺部の天井下地の組み方（天井のふとろが大きい場合）

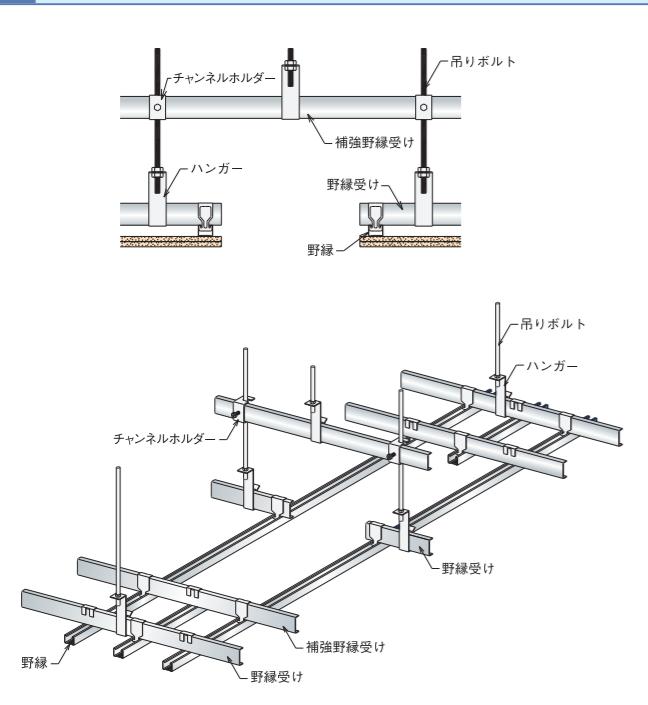
建築工事監理指針令和4年度版 図14.4.8



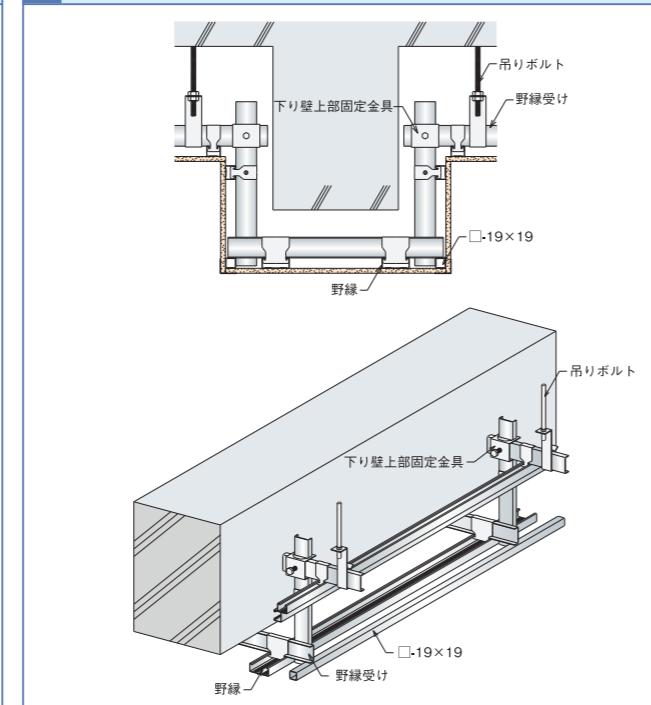
建築工事標準詳細図 令和4年版3-21



## 6 開口補強

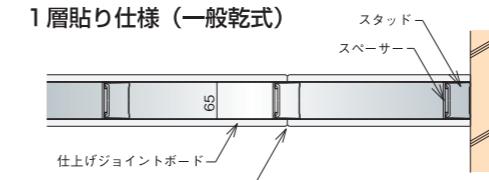


## 7 梁囲い

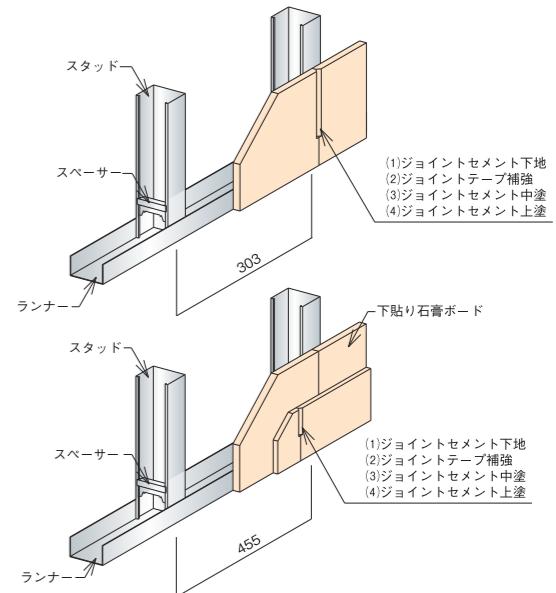
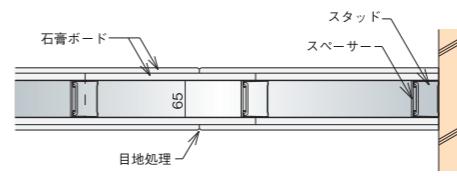


# 壁納まり図

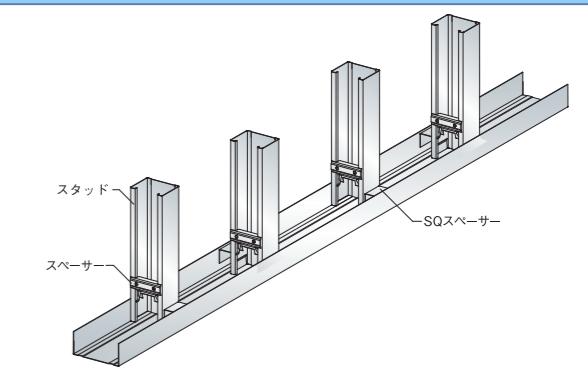
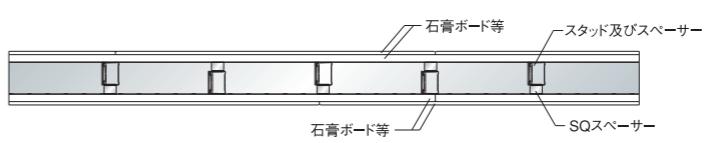
## 1 一般壁（W65）



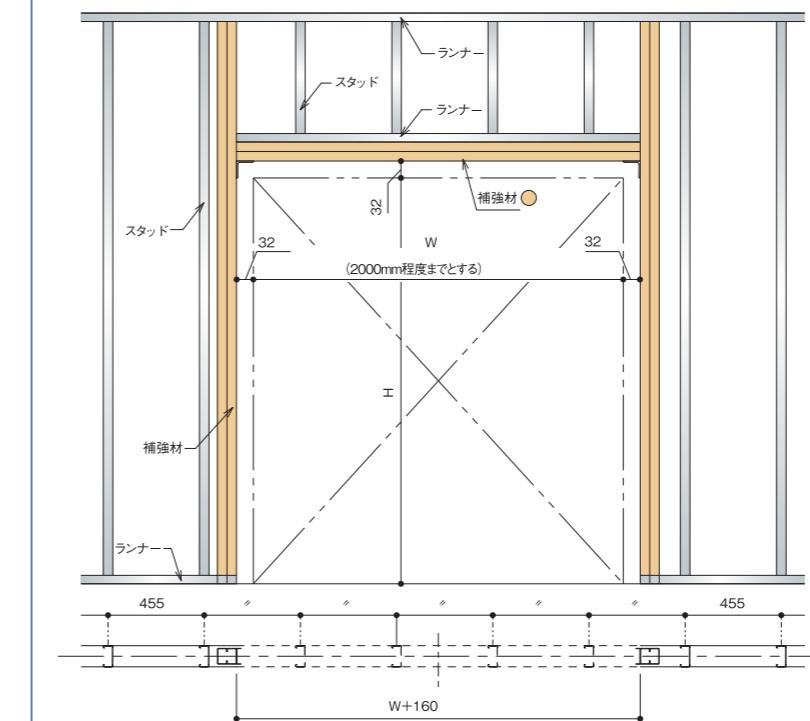
### 2層貼り仕様（一般乾式）



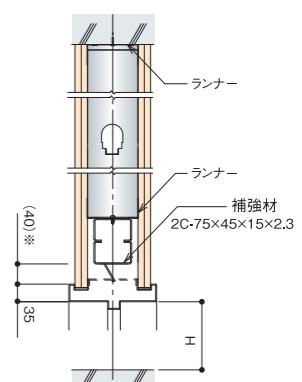
## 2 耐火遮音間仕切り（千鳥組）



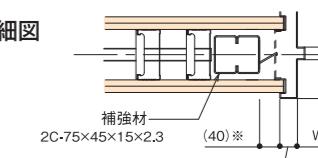
## 3 開口回り



詳細図



詳細図



※クリアランスの詳細は現場で確認してください

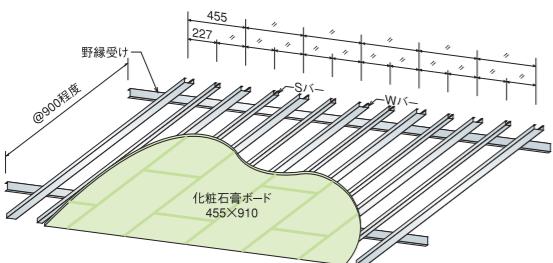
単位:mm

# 天井野縁割付例／天井・壁標準使用数量



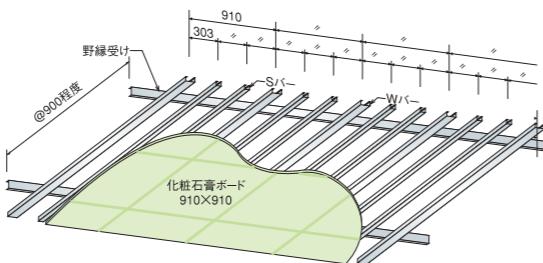
化粧石膏ボード①

Wバー野縁間隔…227交互 ボード寸法…455×910  
Sバー野縁間隔…227交互



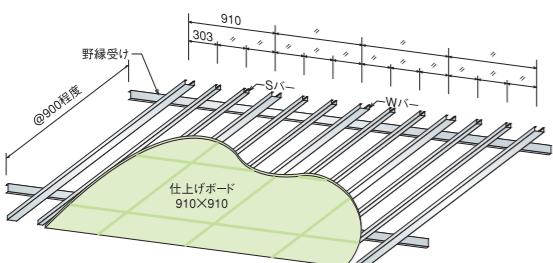
化粧石膏ボード②

Wバー野縁間隔…910 ボード寸法…910×910  
Sバー野縁間隔…303



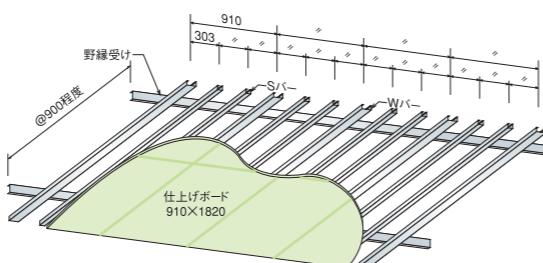
仕上げボード①

Wバー野縁間隔…910 ボード寸法…910×910  
Sバー野縁間隔…303



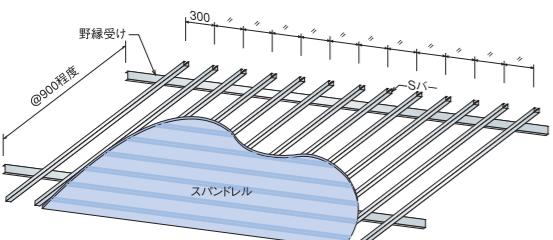
仕上げボード②

Wバー野縁間隔…910 ボード寸法…910×1820  
Sバー野縁間隔…303



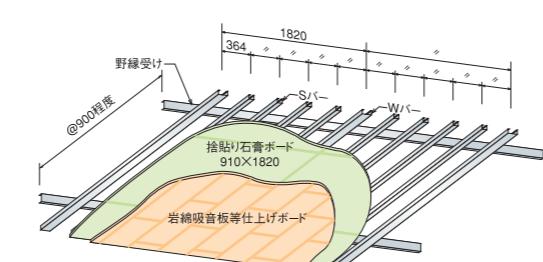
金属パネル

Wバー野縁間隔…両端部に必要  
Sバー野縁間隔…300  
金属天井板…スパンドレル



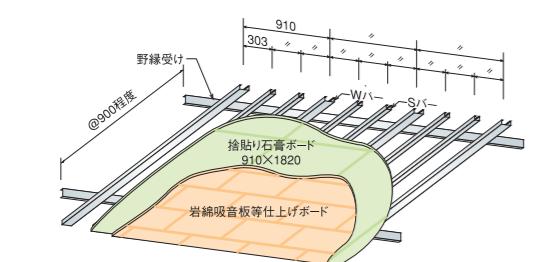
捨貼り仕様①

Wバー野縁間隔…1820 捨貼り石膏…910×1820  
Sバー野縁間隔…364 ボード寸法



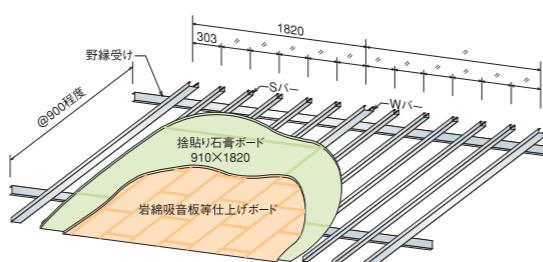
捨貼り仕様②

Wバー野縁間隔…910 捨貼り石膏…910×1820  
Sバー野縁間隔…303 ボード寸法



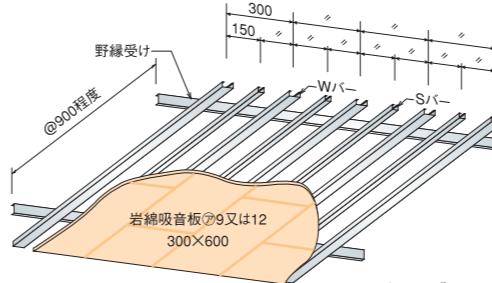
捨貼り仕様③

Wバー野縁間隔…1820 捨貼り石膏…910×1820  
Sバー野縁間隔…303 ボード寸法



岩綿吸音板(直貼り仕様)①

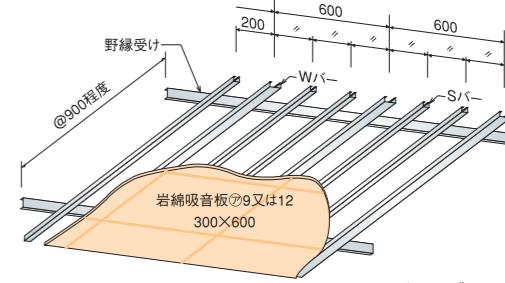
Wバー野縁間隔…150交互 ボード…300×600 レンガ貼り  
Sバー野縁間隔…150交互



※野縁はダイレクトバー使用

岩綿吸音板(直貼り仕様)②

Wバー野縁間隔…600 ボード…300×600 流し貼り  
Sバー野縁間隔…200



※野縁はダイレクトバー使用

天井下地材100m<sup>2</sup>標準使用数量(口ス率10%)・質量表

	ボード捨貼り 910×1820	ボード仕上貼り 455×910/450×900	ボード仕上貼り 910×910/900×900	直貼り 300×600	スパンドレル (野縁材@300の場合)
	使用数	使用数	使用数	使用数	使用数
野縁受け L5000	30本	30本	30本	30本	30本
野縁Sバー L5000	50本	50本	50本	75本	75本
野縁Wバー L5000	15本	50本	25本	75本	両端部に必要
Sクリップ	300個	300個	280個	420個	430個
Wクリップ	80個	300個	150個	420個	—
Sジョイント	50個	50個	50個	75個	75個
Wジョイント	15個	50個	25個	75個	—
Cジョイント	30個	30個	30個	30個	30個
ハンガー	150個	150個	150個	150個	150個
ボルト	150本	150本	150本	150本	150本
ナット	300個	300個	300個	300個	300個
仕様例	PBt9.5捨貼/PB仕上貼	化粧PB/穴明吸音PB	化粧PB/穴明吸音PB	岩綿板直貼	スパンドレル
インサート	@900×@900	@900×@900	@900×@900	@900×@900	@900×@900
3/8分ボルトL500	@900×@900	@900×@900	@900×@900	@900×@900	@900×@900
野縁受け□-38×12	@900	@900	@900	@900	@900
野縁 Sバー	@364	@227	@303	@300	@300
野縁 Wバー	@1820	@455	@910	@300	@300
下地材の単位質量	2.0~2.2kg/m <sup>2</sup>	2.5~2.8kg/m <sup>2</sup>	2.2~2.5kg/m <sup>2</sup>	3.4~3.6kg/m <sup>2</sup>	2.1~2.5kg/m <sup>2</sup>

間仕切材100m<sup>2</sup>標準使用数量(口ス率10%)

	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m
455ピッチ	スタッド	100本	80本	75本	60本	55本
	スペーサー	590個	570個	560個	490個	490個
303ピッチ	スタッド	145本	120本	110本	90本	80本
	スペーサー	880個	860個	830個	730個	730個
共通材料	ランナー(4m)	24本	20本	18本	14本	12本
	振れ止め(5m)	10本	16本	16本	18本	16本

※現場の状況に応じて増減願います。

# 断面性能一覧

断面性能一覧

軽量天井・壁主要部材の種類とその断面性能表

2024年7月改訂

品種	断面積		断面2次モーメント		断面係数		断面2次半径		重心位置		板厚 (mm)	単位重量 (kg/m)
	A(mm <sup>2</sup> )	Ix(mm <sup>4</sup> )	Iy(mm <sup>4</sup> )	Zx(mm <sup>3</sup> )	Zy(mm <sup>3</sup> )	ix(mm)	iy(mm)	Cx(mm)	Cy(mm)			
野縁受け	CC-19	69.0	13380.0	835.4	704.2	91.5	13.9	3.5	19.0	2.9	1.200	0.553
	CC-25	91.1	17290.0	1066.0	910.0	118.5	13.8	3.4	19.0	3.0	1.600	0.725
	C-40×20×1.6	119.5	28970.0	4647.0	1448.0	325.8	15.6	6.2	20.0	5.7	1.600	0.952
	CS-19	36.7	1934.0	3866.0	175.5	309.2	7.3	10.3	8.0	12.5	0.500	0.302
	CS-25	42.7	3744.0	4766.0	263.7	381.2	9.4	10.6	10.8	12.5	0.500	0.351
	CW-19	49.0	2395.0	19220.0	184.8	768.8	7.0	19.8	6.0	25.0	0.500	0.403
	CW-25	55.0	4578.0	23040.0	276.5	921.6	9.1	20.5	8.4	25.0	0.500	0.452
	25形Sバー(0.8)	66.8	5635.0	7282.0	391.1	582.5	9.2	10.4	10.6	12.5	0.800	0.540
	25形Wバー(0.8)	86.4	6852.0	35870.0	410.0	1434.0	8.9	20.4	8.3	25.0	0.800	0.698
	WS-50	128.0	56370.0	37290.0	2254.0	1441.0	21.0	17.1	25.0	19.1	0.800	1.034
スタッド	WS-65	140.0	101900.0	41140.0	3135.0	1497.0	27.0	17.1	32.5	17.5	0.800	1.131
	WS-75	148.0	140900.0	43360.0	3757.0	1526.0	30.9	17.1	37.5	16.6	0.800	1.196
	WS-90	160.0	213500.0	46270.0	4744.0	1562.0	36.5	17.0	45.0	15.4	0.800	1.293
	WS-100	168.0	271800.0	47980.0	5436.0	1581.0	40.2	16.9	50.0	14.7	0.800	1.357
	WB-19	41.4	392.5	2145.0	57.5	225.7	3.1	7.2	3.2	9.5	1.200	0.332
	WB-25	48.6	434.0	4179.0	60.2	334.3	3.0	9.3	2.8	12.5	1.200	0.389
	WR-50	103.5	17920.0	49970.0	651.9	1921.0	13.2	22.0	12.5	26.0	0.800	0.836
	WR-65	115.5	19500.0	87930.0	678.4	2624.0	13.0	27.6	11.3	33.5	0.800	0.933
	WR-75	123.5	20380.0	120300.0	692.0	3124.0	12.8	31.2	10.6	38.5	0.800	0.998
	WR-90	135.5	21510.0	180700.0	708.8	3928.0	12.6	36.5	9.7	46.0	0.800	1.095
ライトゲージ	WR-100	143.5	22160.0	229300.0	718.0	4496.0	12.4	40.0	9.1	51.0	0.800	1.159
	LG 60×30×10×1.6	207.1	116300.0	25560.0	3876.0	1318.0	23.7	11.1	30.0	10.6	1.600	1.650
	LG 60×30×10×2.3	287.2	155900.0	33120.0	5196.0	1704.0	23.3	10.7	30.0	10.6	2.300	2.278
	LG 75×45×15×1.6	295.1	271400.0	87100.0	7237.0	3133.0	30.3	17.2	37.5	17.2	1.600	2.351
	LG 75×45×15×2.3	413.7	371100.0	117000.0	9896.0	4202.0	30.0	16.8	37.5	17.2	2.300	3.281
	LG 100×50×20×1.6	367.1	584100.0	139800.0	11680.0	4462.0	39.9	19.5	50.0	18.7	1.600	2.924
	LG 100×50×20×2.3	517.2	806900.0	190000.0	16130.0	6058.0	39.5	19.2	50.0	18.6	2.300	4.101
	角パイプ1.2×19×19	81.7	4213.0	4213.0	443.4	443.4	7.2	7.2	9.5	9.5	1.200	0.660
	角パイプ1.2×40×20	134.5	27250.0	9230.0	1362.0	923.0	14.2	8.3	20.0	10.0	1.200	1.077

主要SQ-BAR断面性能表

2024年7月改訂

品種	H寸法 H(mm)	断面積 A(mm <sup>2</sup> )		断面2次モーメント Ix(mm <sup>4</sup> )		断面係数 Iy(mm <sup>4</sup> )		断面2次半径 Zx(mm <sup>3</sup> )		断面係数 Zy(mm <sup>3</sup> )		重心位置 ix(mm)	重心位置 iy(mm)	板厚 (mm)	単位重量 (kg/m)
		A(mm <sup>2</sup> )	Ix(mm <sup>4</sup> )	Iy(mm <sup>4</sup> )	Zx(mm <sup>3</sup> )	Zy(mm <sup>3</sup> )									
SQ-BAR4020	20	57.0	3741.0	12630.0	374.1	575.7	8.1	14.9	10.0	18.1	0.450	0.464	Y 40	X	
	25	61.3	6104.0	14330.0	488.3	657.2	10.0	15.3	12.5	18.2	0.450	0.498			
SQ-BAR4040	40	76.8	17780.0	20440.0	889.0	944.7	15.2	16.3	20.0	18.4	0.450	0.624	Y 40	X	
	45	81.1	23340.0	22130.0	1037.0	1027.0	17.0	16.5	22.5	18.5	0.450	0.659			
SQ-BAR4050	50	85.4	29840.0	23830.0	1193.0	1109.0	18.7	16.7	25.0	18.5	0.450	0.694	Y 45	X	
	65	102.5	59490.0	37280.0	1830.0	1560.0	24.1	19.1	32.5	21.1	0.450	0.833			
SQ-BAR4575	75	111.1	83590.0	41560.0	2229.0	1747.0	27.4	19.3	37.5	21.2	0.450	0.903	Y 45	X	
	90	124.0	129600.0	47990.0	2880.0	2029.0	32.3	19.7	45.0	21.4	0.450	1.009			
SQ-BAR45100	100	134.0	169400.0	52940.0	3387.0	2247.0	35.6	19.9	50.0	21.4	0.450	1.090	Y 100	X	
	100	283.4	371000.0	108700.0	7420.0	4831.0	36.2	19.6	50.0	22.5	1.000	2.259			
SQ-PowerBar 45100(1.0)	100	339.3	442300.0	129100.0	8846.0	5737.0	36.1	19.5	50.0						

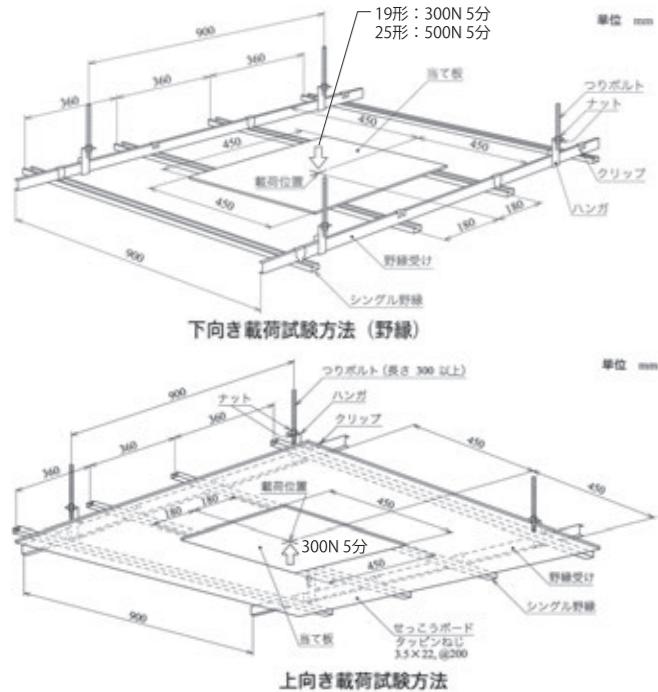
# 社内試験概要

**コンセプト** 市場のニーズを考慮した、安全性の高い新製品の開発。

## 天井

JIS A6517の試験方法に準拠した天井試験です。

1200×1200程度の天井を組み、野縁・野縁受けに載荷して、たわみ量を測定します。



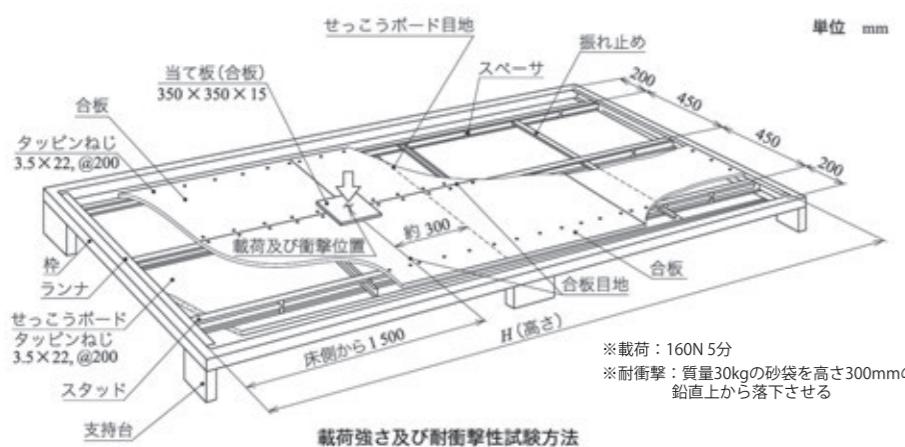
## 性能(天井下地材)

性 能 項 目		1 9 形	2 5 形
載 荷 強 さ	下向き載荷	野縁	最大たわみ量は10mm以下、残留たわみ量1mm以下
	野縁受け		最大たわみ量は5mm以下、残留たわみ量1mm以下
	上向き載荷	野縁	最大たわみ量は5mm以下

## 壁

JIS A6517の試験方法に準拠した壁試験です。

スタッドの規格別に壁高さを変えた試験体に荷重、衝撃を与え、たわみ・残留たわみを測定します。



## 性能(壁下地材)

性 能 項 目	50形	65形	75形	90形	100形
載 荷 強 さ	最大残留たわみ量は2mm以下				
耐 衝 撃 性	最大残留たわみ量は10mm以下で、部材の折れ及び外れがあつてはならない。				

## 旧 優良住宅部品性能試験 (BLT WU-01準拠)



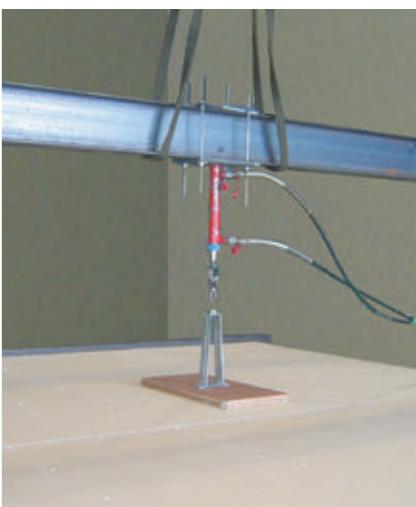
財団法人ベターリビングのBL部品「壁ユニット」の試験に準じたもので、壁に人が寄りかかった場合や衝突を想定した試験です。

## 水平加速度 1G 対応試験



寝かせた状態の壁に重力(1G)をかけることにより、実際の立っている状態の壁に地震時の水平加速度(1G)がかかる場合を想定した試験です。

## 集中荷重試験



寝かせた状態の壁に集中荷重をかけ、たわみ量の測定および破壊状況の確認を行う試験です。

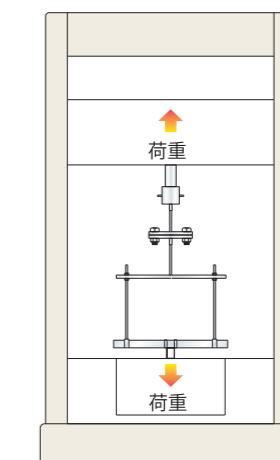
## 部材試験

### ■試験機

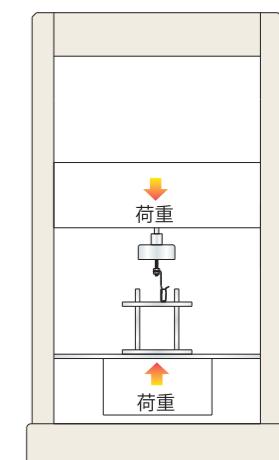


### ■試験種類・試験方法

#### 引張試験



#### 圧縮試験



### ■試験機仕様

- 1.許容試験力 10kN
- 2.試験速度 0.5mm/min~500mm/min
- 3.試験力測定精度 ±1% (ロードセル容量の1/1~1/250の範囲内)
- 4.有効試験幅 420mm